

全國社會教育機關概況

(二十一年十月全國社會教育概況)

省市別	社教機關數	經費	職員數	在學或觀覽參加人數
省	二,八八八	一,〇六八,九四三.三	六〇,六三二	六,一七七
江蘇	四八四	六八,七六四	四,九四六	四一,八三三
浙江	一,〇〇六	一七〇,〇八七	一六,一四四	一一,〇八八
安徽	二,二〇九	二二四,五〇七	一八,八八九	二二,〇一六
湖北	四二七	五九,二五六	九,一九九	五,二二五
湖南	九三二	九一,一四九	一〇,四七九	八〇,六四五
四川	七三〇	一〇五,七三〇	一三,四九九	九四,五七九
福建	六二七	三六,六九三	一,九三三	二二,〇九三
山西	二,二九九	三〇,九〇二	一,七四二	二二,〇三六
陝西	六九	六,八八九	一,二二九	一四,三三六
河南	二,六六六	二九,四〇八	三,四〇六	五,五三六
河北	八八〇	四三,八五五	一六,五〇九	二〇,四三六
山東	四一四	四六,〇六二.〇	五,〇六九	八,六三四〇
廣東	三,一七〇	八六,四九七	四,〇三二	四九,〇四九
雲南	一,八三四	一七,〇三九.七	三,八〇八	二二,〇八九
貴州	二五六	二四,五五九	五,四三三	三,一三三
甘肅	二七	二八,四九九.三	五,五二一	四,五八八

各省市民眾學校統計表

省市別	民校數	經費數	教員數	學生數
省	一,二八三	一〇一,三三三	二,八六五	六三,三三三
江蘇	一,〇三四	四一,七三四	二,二五〇	三八,七九九
浙江	二,九九	一〇,七六一	五,六三三	一〇,七三二
安徽	六三三	二六,七三二	九,一〇一	一七,九九九
湖北	一,一七	一〇,七三四	二,四七七	四,一三三
湖南	三,〇六四	一五,八七一	五,二九八	六,七三四
四川	一,二七六	三三,〇四八	三,二五六	七,八三一
天津	二〇六	一六,四八四.八	六,五七	六,七八四
漢口	一五	七,八六〇	六	五,〇一六
北平	三〇	七,九六〇.五〇	一,〇六六	八,〇五五
青島	一四〇	七,七三四.七	六九	一,三三八
上海	一五	二,五二八.〇	一,五〇七	六,四七五
南京	四〇	四,二四〇.四〇	二,五	四,五九四
東省特別區	一四	八,七四〇.九三〇	一,四七	一,七四五
察哈爾	三	一,三〇.八	一五	一
西康	五	四,六三〇	一〇〇	二,七九
寧夏	三	一,三〇.八	一五	一
察哈爾	六	四,六三〇	一〇〇	二,七九
綏遠	九	一八,四三三	一,二	三,一四七

省市別	民校數	經費數	教員數	學生數
福建	二五	三,八三三	八五二	一,二四九
山西	六二〇	一四,七〇五	七,九四九	一三,六三〇
陝西	四〇	一八,六一六	七九	一四,〇一八
河南	一,二一七	一〇,七四五	一,〇一六	五,一七七
河北	六六五	二九,七七七	二,三〇七	一,九七八
山東	二,四八九	八,六七一	三,五六〇	七,四一九
廣東	一,〇三六	一五,二六六	二,一八〇	四,〇八六
雲南	七五	六,三九九	一,〇八八	一,八五五
貴州	三〇	五,八四三	九七	二,五三八
甘肅	一九	三,五三七	二八五	四,五八八

運動

支那の運動界は其國情が漂搖不安の狀態にあるのど、其國民性が運動に對し適合してゐない爲め運動に對する研究を怠り只僅かに外人宣教師乃至教育者の新式運動を紹介指導によつて運動界に黎明を迎へたと云ふ狀態で、現代各國の運動界に比し非常に低いレベル

に在る、新運動競技の全國的に行はれたのは今を去る二十四年即ち前清宣統二年の九月十六日——二十日南京に於て開かれたのが嚆矢である、其後も國內政情不安の影響をうけて、各般の事物に亘り進歩を認められなかつたが、運動界は特に著るしいものであつた隨

つて支那の運動界としては些して特記すべき事項もない、因つて茲には所謂全國運動會の歴史を紹介して支那運動界を知る一助としたい。

全國運動會の歴史

全國運動會が初めて開かれたのは今を去る二十四年前の宣統二年である、そして今日まで全運大會の開かれたのは五回に過ぎない、即ち
第一回大會 宣統二年九月、南京で

第二回大會 民國三年五月北京天壇
第三回大會 民國十三年五月、武昌
第四回大會 民國十九年四月、杭州
第五回大會 民國二十二年十月南京

右の中第一第二回大會の出席の團體
と選手及競技規則や競技種目は支那獨
自のもので現行の規則と相違してなり
殊に運動會の委員は殆んど西洋人で支
那人は運動に對する智識がないので只
員に備はのみであつた、それから十年
を隔て、民國十三年の第三回大會が武
昌に開かれた時から漸く組織が完備し
凡ての規則は極東オリンピックの規則
に遵據することとなつた、故に正式の
全國運動は第三回大會からと云つてい
、その後民國十四年の第七回極東オリ
ンピック大會と十六年の同上第八回
大會の際全國的な豫選會を開いたが之
は全國運動會とは言へない性質のもの
であつた、次で中華全國體育協進會は
第四回大會を民國十八年廣東で開くこ

とを決議したが同時に浙江省政府も全
國運動會を發起したので遂に廣東の方
を取消し翌民國十六年杭州で第四回大
會を開いた、茲で今迄の大本大會の異
つて来たことは從來の大會は民間の主
催であつたが、第四回大會から政府で
主催し出したことである、そして分區
制を分省制とし全國各地の運動選手に
大會參加の機を多く與えることとした
ことだ、そして政府主催になつてから
經費も十分となり大規模の運動場も出
來設備は充實して來た、そして競技は
男子の外本大會から女子も出場するこ
とに正式決定しトラック、フィールド
水泳、各種球技も凡て行はれて從來に
ない盛會で、體育旺盛の端を啓いた。
此に於て政府も體育の重要性を知り五
十萬元を支出して首都南京に國立運動
場を建築するに決定した、今年第五回
大會の開かれるや未完成の同運動場で
舉行したが前回を遙かに凌駕する盛會

で各種競技に新記録を出し、支那運動
界の前途に曙光を認めしむるに至つた
第一回大會の成績

宣統二年九月十六日—二十日、南
京の南洋勸業博覽會々場の一部を借り
て開會した、當時は全國學校區分隊第
一回體育同盟會と云つてゐた、運動の
種類はトラックフィールド、蹴球、籃球
庭球の四つでトラックフィールドは之
を高等組分區競技、中等組分區競技及
全國各學校聯合競技の三種に分けられ
採點は一着五點、二着三點、三着一點
と云ふ風であつた、又選手の參加種目
は無制限で高等組の者も中等組に加入
することが出來たものだ、全國學校聯
合會の競技に参加した主な學校は上海
のセントジョンユニヴァーシティ(支那
名約翰大學)南洋公學、天津青年會學
校、武昌の文華大學、天津工業學校及
協和文書院の六校であつた。

▲高等組の成績

種目 優勝者 記録

- 一〇〇碼 黃 瀾(上海)十秒五分四
 - 二二〇碼 章 蕙章(上海)二五秒
 - 三磅砲丸 李樹池(北支)三呎四分ノ三
 - 走巾飛 潘文炳(上海)一九呎五分四
 - 三〇碼低障 潘文炳(上海)一五秒五分四
 - 八〇八碼 郭兆仁(南支)二分廿秒
 - 走高飛 赫從光(吳寧)五呎四吋
 - 四〇〇碼 郭兆仁(南支)五八秒
 - 棒高飛 古熊彪(上海)九呎八吋
 - 八〇碼 上海組 一分四八秒五
- 各區の得點は上海五十二點、北支十
五點、南支十三點と云ふ順序であつた
- ▲中等組の成績
- 五〇碼 郭兆仁(南支)六秒
 - 一〇〇碼 同上 二秒五分ノ一
 - 一五〇碼 同上 二秒五分ノ四
 - 四四〇碼 同上 五六秒
 - 走巾飛 程承修(北支)一八呎三半
 - 走高飛 孫寶信(北支)四呎十一吋半
 - 八磅砲丸 孫寶信(同上)四〇呎九吋

八八〇リ 北支組 一分四七秒

各區の得點は北支の三十一點南支の
二十四點、上海の六點と云ふ順序であ
つた。

▲學校組の成績

- 一〇〇碼 章蕙章(約翰)一一秒
 - 二二〇碼 同上 二五秒
 - 四四〇碼 唐榕炳(南洋)五八秒
 - 八八〇碼 馬約翰(約翰)二分二五秒五
 - 一三〇低障 潘文炳(同上)一五秒五分二
 - 三磅砲丸 李樹池(工業)三八呎九吋四
 - 走高飛 孫寶信(青年會)五呎五吋四
 - 走巾飛 潘文炳(約翰)一九呎八吋三
 - 棒高飛 唐榕錦(南洋)九呎八吋
 - 八八〇碼 約翰大學 一分四四秒五
- 各學校の得點は約翰大學三十七點南
洋公學三十四點、天津青年會十點、文
華大學九點と云ふ順序であつた。
- 尙蹴球は南支組優勝し庭球は約翰大
學の潘文炳馬約翰、林全誠及許某の四
名が優勝し籃球の成績は不明である。

第二回大會の成績

第二回大會は民國三年五月二十一
の兩日北京の天壇廣場で舉行された、
北京體育競進會主催であつた、競技方
法は全國東西南北の四部に分け、競技
種目もトラックフィールド、蹴球、野球
排球、庭球、籃球の六種で採點もト
ックフィールドも十種競技は前回大會と
同様各項に選手權を設け一等三點二等
二點三等一點と云ふ風にし蹴球、野球
籃球にも一等五點二三等無得點とした
庭球はシングルとダブル共に一等三點
二等二點と云ふ支那式の採點法であつ
た、本大會の選手は僅か九十六名にす
ぎなかつた、名譽審判長は時の教育總
長であつた湯化龍で審判長は凌善昭で
あつた、第二日目には北京在住の米人
が排球の來賓競技をやつたことは觀衆
の注意を惹いた、成績左の如し

- 一〇〇碼 李如松(北支)一〇秒五分二
- 二二〇碼 同上 二五秒

四四〇碼 同上(同上)五六秒五分一
 八八〇碼 吳輝明(西支)三分二秒五分一
 一哩 周展(北支)五分一三秒

五哩 白葆珉(同上)卅分元秒五分三
 半哩リレ 東部支那 一分四秒五分三
 一哩リレ 同上 四分三秒五分一

一〇〇碼 黃元道(北支)一八秒五分一
 高障 同上 二八秒五分一
 低障 同上 二八秒五分一

走高飛 袁慶祥(同上)五呎五吋八分一
 走巾飛 楊景鐸(同上)八呎二吋四分三

砲丸 俞時績(同上)二八呎九吋
 圓盤投 吉子英(同上)金呎八吋四分三

棒高飛 楊錦魁(東支)九呎十吋八分七
 五種競技 吉子英(北支)二五八點
 十種競技 黃元道(北支)六三九點

蹴球は東支 野球は北支
 籃球は北支 排球は北支
 庭球シソナルは南支、ダブルスは北

支と云ふ風に優勝した。
 本大會で北支は九十一點と云ふ最高

點で斷然群を抜いてをり次で東支の二
 十九點、西支の十二點、南支の五點と
 云ふ順序だつた。

第三回大會の成績

第三回大會は民國十三年の五月二十
 二日から四日まで武昌で開かれた熊希
 齡氏が會長で張伯苓氏が審判長であつ
 た審判員は游泳と野球に三四名の外國
 人が當つた外は全部支那人が擔任して
 從來の例を破つた、此の大會から極東
 オリソピック大會の規則を採用し凡て
 の會務を支那人自身で處理することに
 なつた、之は十年間の進歩を語るもの
 である、競技は分區及分省を單位とし
 種目は從來のものに今回から水泳と女
 子の球技とボーイスカウトと器械體操
 及支那の國術が加へられた、トラツク
 フィールドと水泳は極東オリソピック
 の規則により米制を採用した、ファイ
 ツピンの華僑青年會からも籃球の選手
 を参加せしめると云ふ風で規模の大き

は前二回の比でなかつた、競技の結果

は東部支那が、蹴球と野球と庭球のダ
 ブルスに優勝し、北支はトラツクフー
 ルドと籃球と庭球のシソナルに優勝し

中部支那は水泳に、南支は排球に優勝
 し、東部支那と北支は各二ヶ半の選手
 權を獲得した(半とは庭球のシソナル
 とダブルスを一づ、得た、めだ)當
 時の極東オリソピックの規則では成績
 が同じ時はトラツクフィールドの選手權

を得た者が大會の總選手權としてあつ
 たから本大會では北支が總選手權を得
 ることになつた、故に第二が東支、第
 三が中支、第四が南支と云ふ順序であ
 つた、成績は次の如し

一〇〇米 朱寶章(直隸)一二秒
 二〇〇米 同上(同上)二四秒二
 四〇〇米 同上(同上)五七秒六

八〇〇米 張恒(江蘇)二分一六秒六
 一五〇〇米 張煥龍(直隸)四分四七秒二
 五〇〇〇米 張紀成(直隸)八分三秒四

は時間と經費の關係から廣東での開會
 を取消し杭州で開會するのを極力援助
 するに決定しその結果第四回大會は民
 國十九年四月一日から十日まで杭州に
 開會された。

本大會は主催者が政府機關であるた
 め經費が裕かであつたので廣大な運動
 場を建築した、國民政府主席蔣介石氏
 は名譽會長、戴天仇、何應欽、張人傑
 などの政府首腦者が正副會長として參
 加し政府の要人連も凡ての事務を分担
 したので未曾有の盛會となつた、大會
 競技種目は前回と大差なく二十餘省市
 の男女代表選手二千餘名が參加した、
 選手權を男女二組に別け男子は八項目
 女子は四項目とした男子組は上海が五
 種十種と蹴球に優勝し、廣東は庭球と
 野球に、香港は排球と水泳に奉天はト
 ラツクフィールドに、天津は籃球に各優
 勝した、女子組は廣東が排球とトラツ
 クフィールドに優勝して大會の選手權

二〇米高障 季駿耀(江蘇)一七秒六
 三〇〇米低障 陳啓東(同上)二八秒二
 八〇〇米リ 北支組 一分四三秒六
 一六〇〇米 東支組 四分一秒
 砲丸投 張穎初(直隸)一二米六二
 圓盤投 張鳳瀛(同上)三一米五二
 槍投 尹商屏(同上)四三米八七
 走巾飛 黃炳坤(江蘇)六米二五五
 走高飛 馬湘波(湖南)一米七二
 棒高飛 夏翔(江蘇)三米二五五
 三段飛 遙明(直隸)一米四三
 五種競技 吳德懋(江蘇)
 十種競技 吳德懋(同上)四〇〇五三點
 各區の得點は北支百十三點、東支百
 八點、中支二十八點。

各省の得點は江蘇百一點、隸直八十
 三點半、湖南二十二點、山東二十一
 半と云ふ順序である。

水泳も區と省を單位として行はれ中
 支區は最高四十二點で選手權を獲た、
 第二は南支の二十七點、第三は東支の

八點で省別にすると湖南の三十九點、
 廣東の二十一點半、江蘇の八點の順序
 であつた。

五十米自 傅啓述(湖南)四一秒四
 一〇〇米 劉煥新(廣東)一分三三秒八
 自由型 趙大敏(江蘇)二分二秒四
 二〇〇米背泳 劉煥新(廣東)四分十三秒
 三〇〇米平泳 同上(同上)八分四五秒八
 四〇〇米自 龍 鑫(湖南)三九分四五秒
 一五〇〇米 中支組 二分二五秒
 二〇〇米 中支組 二分二五秒

又蹴球野球は東支組、籃球は北支組
 排球は南支組優勝し庭球は單複共に北
 支組が優勢した。

第四回大會の成績
 武昌の第三回大會後全國運動會は又
 暫らく國內不穩の状態のため中止した
 が中華全國體育協進會は民國十八年を
 期して廣東で第四大會開會すべく決議
 した、所が浙江省政府でも杭州で大會
 開催の計畫を進めてゐたので協進會で

を得、哈爾濱はトラツクフィールドに北平は籃球に、天津は庭球に優勝した

- 男子トラツクフィールド成績
- 一〇〇米 劉長春(奉天) 一一秒八
 - 二〇〇米 同上 二二秒八
 - 四〇〇米 同上 五二秒六
 - 八〇〇米 鄧志明(上海) 二分九秒
 - 一五〇〇米 姜雲龍(奉天) 四分二六秒八
 - 二〇〇〇米 趙德新(同上) 五分三六秒二
 - 高欄 林紹洲(福建) 一七秒六
 - 低欄 梁景平(廣東) 二六秒八
 - 三磅砲丸 潘南順(上海) 一三米三四
 - 圓盤投 趙文藻(北平) 三一米八七
 - 槍投 潘南順(上海) 四四米五二
 - 走高飛 李仲三(天津) 一米七三
 - 走巾飛 郝春德(上海) 六米〇一
 - 棒高飛 符保盧(哈爾濱) 三米二八
 - 三段飛 司徒光(廣東) 一三米三九
- 各團體の競技で上海と奉天とがトラツクフィールドの最も競争相手であつたが結局奉天は得點四十九點、上

海は四十五點で破れ、廣東十六點、天津十五點半、北平十五點、江蘇九點、南京五點半と云ふ順序となつた、奉天の劉長春選手は斷然光つてゐた。

- 女子トラツクフィールド成績
- 本大會では廣東と哈爾濱がトラツクフィールドの選手が多く激しくせり合つたが兩者の技量伯仲して上下の別をつけ難かつたが判定で廣東を第一、哈爾濱を第二とした所、兩方共不服で問題となり結局兩方に選手権を與へることにして解決した。
- 五〇米 孫桂雲(哈爾濱) 七秒四
 - 一〇〇米 同上 一三秒八
 - 二〇〇米 哈爾濱 二九秒八
 - 八磅砲丸 何振坤(奉天) 七米八四五
 - 走高飛 馮發蘭(湖北) 一米二二
 - 走巾飛 吳梅仙(哈爾濱) 四米
 - 野球 陳佩桃(廣東) 三八米四六
- 男子五種十種競技
- 五種 種 郝春德(上海) 二一三八點

本大會の水泳はプールの關係上碼制を採用した、香港は四十八點を獲得して、奉天は十九點で二等、廣東は十二點で三等と云ふ順序であつた。

- 水泳の成績
- 十種 曹裕(同上) 四三五六點
 - 八〇〇米 天津隊 一分四八秒六
 - 一、六〇〇 奉天隊 三分四二秒八
- 水泳の成績
- 自由型 同上 一分四秒六
 - 四〇〇碼 史興隆(奉天) 六分三七秒
 - 一哩自由 同上 三十七分四七秒八
 - 背泳 樁之華(廣東) 一分二五秒二
 - 二二〇碼 龍榮斌(同上) 三分三三秒四
 - 平泳 一六〇碼 香港隊 一分三四秒八

第四回全國運動會

第四回全國運動競技大會は民國二十

二年十月十日(双十節)國慶記念日なとして、新に設立した南京中山門外、中山陵下にある中央體育場に於て華々しく開催した、競技参加人員は一萬二千餘と云はれ總てに大がかりで、今回は特に女子競泳等も新に加へまた非常な好記録を出した。

- 大會役員及び成績は次の如くである
- (●印は新記録)
- 名譽會長 林森(國府主席) 名譽副會長 蔣介石(軍事委員長) 汪精衛(行政院長) 會長 王世杰(教育部長) 總幹事 張信孚 副總幹事 吳蘊瑞
 - 審判主任 張伯苓 競技主任 王正廷 準備主任 褚民誼 準備委員 張之江、黃麗明、郝更生 朱家驊、沈嗣良、張隨蘭、張炯、夏光宇、石瑛 周象賢、周亞衛
- ▲陸上競技記録(男子の部)
- 百 米 十秒七 ●劉長春
 - 二百 米 二二秒一 ●劉長春
 - 八百 米 二分五秒 ●羅慶隆

- 一萬米 三六分一秒 金仲廉
- ハイ・ハ 一六秒二 ●林紹周
- 四百米ロ 五九秒四 ●陶英傑
- ハイ・ド 四八米九二 ●彭水馨
- 槍投 四八米九二 ●顧 頌
- 走高飛 一米八一 ●郝春德
- 走幅跳 六米九一二 ●司徒光
- 三段跳 一四米一九二 ●符寶慶
- 棒高跳 三米七五 ●郝春德
- 五種 種 三〇一〇・二五點 ●郝春德
- 十種 種 五八一八・二五點 ●張齡佳
- (女子の部)
- 四百米リ 四四秒四 ●廣東組
 - 五十 米 六秒七 ●張潔琮
 - 百 米 十三秒五 ●錢行素
 - 二百 米 二七秒六 ●錢行素
 - 八十 米 十四秒五 ●錢行素
 - ハイ・ド 五四秒六 ●上海組
 - 四百 米 四米七九五 ●李媛芬
 - 走幅跳 四米七九五 ●馬 驥
 - 砲丸投 十米五 ●馬 驥
 - 圓盤投 二八米六六 ●馬 驥
 - 槍投 二六米三八〇 ●陳條明

▲水上競技記録

- (男子の部)
- 五十 米 二八秒八 ●陳振興
 - 自由型 一分二三秒三 ●劉寶希
 - 四百 米 五分五秒一 ●史興隆
 - 自由型 二分二七秒六 ●史興隆
 - 自由型 二分一秒一 ●廣東組
 - 自由型 一分八秒四 ●陳振興
 - 自由型 三分五秒二 ●郭振垣
- (女子の部)
- 五十 米 三八秒二 ●楊秀琮
 - 自由型 一分四五秒二 ●楊秀琮
 - 自由型 一分二九秒六 ●楊秀琮
 - 自由型 五分四一秒一 ●楊秀琮
 - 自由型 二分四九秒 ●香港

農業

最近年度の水害及び旱害は中國各省農民特に長江及び黃河流域の農民を極度に疲弊させてある。加ふるに共產軍の勢力は約三分の一の地域を占めて、これ等の農村の實情はかなり悲惨を極めてあるものと推定されてある！たゞ共產區農民はその生活は最低度にもあれ維持されてあるらしいが他の地方の一般農民は豐作であれば値安で、また兎作であれば食糧その他不足で、どちらに轉んでも浮ぶ瀕のない窮境にある。特に一九三三年度の如きは、棉花豐作に加へて棉麥借款による米棉のダンピングあり、愈よ値安を見てある。現在國民黨は農産の増進を叫びながらそのハケ口を持たぬ點に、黨の方針と實情との喰ひ違ひが存してある。然しながら、他の章でも述べた如く、長江筋一帯を抱含する七省公路の建設が何年後にか完成すれば、自動車その他による運搬は現在の舟運に加へて更に能率を發揮すべく、幾年か先きには貨物の集散に、はるかにスムーズな状態を呈し得るであらうと、その點は樂觀されてゐるのであるが、一年先きといはず今日の窮狀を如何にせんやといふ點になると、國民政府は手も足も出ぬ形である。棉麥借款の如きも農村救済に用ゆると政府要人連がお

題目の如く唱へてゐるに拘らず、この多數農民にとつて一億元や二億で何にをなし得るや、また、果して棉麥借款の何分が農村救済に事實廻され得るや等の問題は、實行後でなくては語れない大なる疑問である。それでも、國民政府は次の如き農業政策實施綱領及び法規を制定してはゐるのである。

國民政府農業政策實施綱領

- (一) 農産奨励
- (イ) 農林試験の擴大(ロ) 農産競進會の提倡(ハ) 荒地の開墾
- (ニ) 農産品運輸費の軽減
- (三) 農産の發展
- (イ) 保護林の創造(ロ) 經濟林の創造(ハ) 造林合作の提倡
- (ニ) 林業金融機關の發達
- (三) 水利の興辦
- (イ) 水利機關の組織(ロ) 河道の疏濬(ハ) 河堤の修築(ニ) 溝渠池塘及び水井の開墾
- (四) 農村合作の提倡
- (イ) 農村信用合作(ロ) 運銷合作(ハ) 生産合作(ニ) 農業保險

合作

(五) 農民生活の改良

- (イ) 小作制度の改良(ロ) 農村教育の普及(ハ) 農村衛生の改良
- (ニ) 農村娯樂の提倡

現行法規

▲農業推廣規程(十八年五月十五日公布) 第一條 國民政府は農業科學智識を普及して農民の技能を增高し農業生産の方法を改進し農村組織を農村生活の改善及農民合作促進のため本規程により農業普及を實施す等全條文二十條) ▲農産檢驗所檢驗條例(十八年六月公布) ▲農産物處罰檢驗規則(十八年六月十八日公布) ▲農産物検査所肥料檢驗暫行辦法(十八年六月十六日公布) ▲中央農産種子交換所臨時辦事處組織辦法(十九年二月七日部令公布) ▲農産競進會規則(十九年二月七日部令公布) ▲農業保險法草案(十九年公布) ▲小作農保護法(十六年五月十日武漢國民政府公布) ▲輸出入及移出入食糧查驗登記章程(十九年八月公布) ▲農會法(十九年十二月三十日公布) ▲農會法施行法(二十年一月立法院通過) ▲農

作物虫害防除規則(十二年五月十五日公布國民政府準用) ▲農作物選種規則(十三年八月一日公布國民政府準用) ▲改良蠶種検査暫行辦法(十八年十月十二日公布) ▲漁業法(十八年十一月十一日公布) ▲漁會法(十八年十一月十一日公布) ▲蠶種製造取締條例(二十年五月二十六日公布) ▲中央蠶絲試驗場附設原蠶種製造所章程(二十年五月二十二日公布) ▲中央蠶絲試驗場附設細絲廠章程(二十年五月二十六日公布) ▲蜂種製造取締規則(二十年七月公布) ▲國有荒地承墾條例(三年三月四日公布國民政府準用) ▲森林法(三年十一月四日公布國民政府準用) ▲森林法施行細則(四年七月一日公布國民政府準用) ▲造林獎勵條例(四年七月一日公布國民政府準用) ▲中央模範林區組織章程(十八年二月二十三日公布) ▲實業部管理國有林公有林暫行規則(二十年五月二十六日公布) ▲農會法(十九年十二月三十日公布) ▲農會法施行法(二十年一月立法院通過) ▲農作物虫害防除規則(十二年五月十五日公布國民政府準用) ▲農作物選種規則(十三年八月一日公布國民政府準用)

各省農戶田地統計(國府主計處調查)

省名	總戶數	農戶數	農戶對總戶之百分比%	總畝數	水田畝數	旱地畝數	每農戶平均畝數
察哈爾	5,900,000	1,000,000	16.8%	1,600,000	1,800,000	1,400,000	5.0

備考 (一)青海、西康及廣西三省は材料不全につき表中に含まず。

Table with 13 columns and 13 rows of numerical data, likely representing agricultural statistics for various provinces.

主要作物平年の面積及産量 國府主計處調査 (面積單位千畝、産量單位千斤。)

(一)田地は千畝單位、一畝約 〇・九二市畝。
(二)新疆省の六十五縣は表中數字於五十五縣のみ其他十縣報告なし。
(四)雲南の四縣列入せず。

Table with 13 columns and 13 rows of numerical data, similar to the one on the opposite page, representing agricultural statistics.

安江山河山陝甘新寧綏察省 廣福浙江湖貴雲四
哈

徽蘇東北西西肅疆夏遠甯名 東建江西南州南川

省	面積	產量	省	面積	產量
察	105	19367	川	554	82693
寧	1	1	南	78	7509
遠	1	1	州	63	6816
夏	1	1	江	145	2105
疆	1	1	東	1	1
肅	1	1	建	1	1
西	1	1	南	1	1
西	1	1	西	1	1
北	1	1	浙	1	1
東	1	1	湖	1	1
蘇	1	1	貴	1	1
徽	1	1	雲	1	1
安	1	1	廣	1	1
山	1	1	福	1	1
河	1	1	浙	1	1
山	1	1	江	1	1
河	1	1	湖	1	1
安	1	1	貴	1	1
江	1	1	雲	1	1
山	1	1	四	1	1
安	1	1	廣	1	1

湖河安江山河山陝甘新寧綏察省 廣福浙江湖貴
哈

北南徽蘇東北西西肅疆夏遠甯名 東建江西南州

省	面積	產量	省	面積	產量
察	105	19367	川	554	82693
寧	1	1	南	78	7509
遠	1	1	州	63	6816
夏	1	1	江	145	2105
疆	1	1	東	1	1
肅	1	1	建	1	1
西	1	1	南	1	1
西	1	1	西	1	1
北	1	1	浙	1	1
東	1	1	湖	1	1
蘇	1	1	貴	1	1
徽	1	1	雲	1	1
安	1	1	廣	1	1
山	1	1	福	1	1
河	1	1	浙	1	1
山	1	1	江	1	1
河	1	1	湖	1	1
安	1	1	貴	1	1
江	1	1	雲	1	1
山	1	1	四	1	1
安	1	1	廣	1	1

江安河湖北雲貴湖南浙江福建廣東 察省 綏寧 夏遠 疆 肅 西 甘 陝 山

蘇徽南川南州南江建東 蘇徽南川南州南江建東

面積	3471	529	2187	2101	5933	211	2232	1475	292	1523	268	33	33	33	33
產量	33287	32377	23698	21701	30074	11701	19192	100190	125032	123682	12683	2459	454	2459	2123

面積	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174
產量	1680	1680	1680	1680	1680	1680	1680	1680	1680	1680	1680	1680	1680	1680	1680

面積	103	103	103	103	103	103	103	103	103	103	103	103	103	103	103
產量	2007	2007	2007	2007	2007	2007	2007	2007	2007	2007	2007	2007	2007	2007	2007

面積	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
產量	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77

江安河湖北雲貴湖南浙江福建廣東 察省 綏寧 夏遠 疆 肅 西 甘 陝 山

蘇徽南川南州南江建東 蘇徽南川南州南江建東

面積	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45
產量	470	470	470	470	470	470	470	470	470	470	470	470	470	470	470

面積	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
產量	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200

面積	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
產量	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

面積	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
產量	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

各省正副業主要生產種類百分比 (民國內政公報)

省別	浙江	福建	浙江	湖南	貴州	雲南	四川	湖北	河南	安徽	江蘇	山東	河北	山西	陝西
稻類	78.0%	1.2	1.8	1.5	1.2	1.5	1.8	1.2	1.5	1.2	1.5	1.8	1.2	1.5	1.2
麥類	3.5%	1.5	1.2	1.8	1.5	1.2	1.5	1.2	1.5	1.2	1.5	1.8	1.2	1.5	1.2
荳類	1.8%	1.2	1.5	1.8	1.5	1.2	1.5	1.2	1.5	1.2	1.5	1.8	1.2	1.5	1.2
其他	14.7%	85.0	85.5	85.0	85.3	85.5	85.0	85.3	85.0	85.3	85.0	85.3	85.0	85.3	85.0
家畜	3.8%	1.2	1.5	1.8	1.5	1.2	1.5	1.2	1.5	1.2	1.5	1.8	1.2	1.5	1.2
家禽	6.7%	1.2	1.5	1.8	1.5	1.2	1.5	1.2	1.5	1.2	1.5	1.8	1.2	1.5	1.2
養蠶	3.7%	1.2	1.5	1.8	1.5	1.2	1.5	1.2	1.5	1.2	1.5	1.8	1.2	1.5	1.2
其他	30.9%	1.2	1.5	1.8	1.5	1.2	1.5	1.2	1.5	1.2	1.5	1.8	1.2	1.5	1.2

甘新寧綏察省 哈 廣東 福建 浙江 湖南 貴州 雲南 四川 湖北 河南 安徽 江蘇 山東 河北 山西 陝西

省別	甘肅	新疆	寧夏	綏遠	察哈爾	哈爾濱	廣東	福建	浙江	湖南	貴州	雲南	四川	湖北	河南	安徽	江蘇	山東	河北	山西	陝西
棉花	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
產量	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
面積	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
產量	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
面積	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
產量	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
面積	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
產量	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5

省	縣	管轄縣總數	縣數	生產總額	平均每縣生產額	各省生產總額	指數
安徽	六安	二	二	二五七,七五〇元	六四,九九二四元	二五,三三三,三六四元	三三〇
浙江	嘉興	六	六	九四四,三二〇	一五七,四四八	九七,一〇二,一〇〇	三二〇
江蘇	蘇州	五	五	三,四七〇,九二〇	六九四,九九九	三,七〇九,九九〇	三三〇
山東	濟南	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
河南	開封	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
河北	保定	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
山西	太原	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
江西	南昌	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
湖北	漢口	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
湖南	長沙	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
四川	成都	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
雲南	昆明	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
貴州	貴陽	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
廣東	廣州	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
廣西	梧州	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
陝西	西安	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
察哈爾	張家口	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
綏遠	歸綏	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
察哈爾	張家口	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
綏遠	歸綏	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
山東	濟南	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
河南	開封	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
河北	保定	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
山西	太原	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
江西	南昌	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
湖北	漢口	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
湖南	長沙	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
四川	成都	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
雲南	昆明	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
貴州	貴陽	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
廣東	廣州	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
廣西	梧州	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
陝西	西安	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
察哈爾	張家口	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
綏遠	歸綏	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇

省	縣	管轄縣總數	縣數	生產總額	平均每縣生產額	各省生產總額	指數
安徽	六安	二	二	二五七,七五〇元	六四,九九二四元	二五,三三三,三六四元	三三〇
浙江	嘉興	六	六	九四四,三二〇	一五七,四四八	九七,一〇二,一〇〇	三二〇
江蘇	蘇州	五	五	三,四七〇,九二〇	六九四,九九九	三,七〇九,九九〇	三三〇
山東	濟南	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
河南	開封	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
河北	保定	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
山西	太原	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
江西	南昌	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
湖北	漢口	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
湖南	長沙	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
四川	成都	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
雲南	昆明	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
貴州	貴陽	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
廣東	廣州	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
廣西	梧州	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
陝西	西安	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
察哈爾	張家口	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇
綏遠	歸綏	一	一	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇

年份	棉田面積	棉產額
民國八年	三〇,七六八二畝	九〇,八三九〇担
九年	二八,三七二九七	六五,〇四〇
十年	二八,二六二六六	五五,九三三〇

歷年全國棉產額 (棉業統計)

民國八年
九年
十年

十七年	三,九六五,三二一	八,八五九,七四〇	第二次	三,四一八,二七五	六,四〇〇,四一〇
十八年	三,八二二,五五五	七,五八七,〇三二	最後修正	三,三三三,七九九	六,三九九,九七〇
十九年	三,七九三,〇三二	八,〇九六,五七	二十一年	三,七〇六,七五五	六,〇八六,二六二
二十年	三,四六八,五三二	六,七三三,四二一	第一次	三,七〇六,七五五	六,〇八六,二六二
第一次			第二次	三,七〇六,七五五	六,〇八六,二六二

最近三年の省別全國棉產額 (棉業統計)

省名	二十一年第二次			二十一年第一次			二十年			十九年		
	棉田	產額	產額	棉田	產額	產額	棉田	產額	產額	棉田	產額	產額
河北省	五〇八,二〇〇	一,二八〇,一九七	四,四四四,六四〇	一,五六〇,四四〇	三,九三三,〇〇〇	八,四四〇,〇〇〇	二,九〇七,一〇〇	八,四四九,一〇〇	八,四四九,一〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	八,四四九,一〇〇	八,四四九,一〇〇
山東省	六八四,一六六	一,七九三,五五〇	七,〇〇〇,三三六	二,六四九,五七七	七,九四〇,九四〇	二,二五〇,八八二	六,四四四,三三六	二,七〇〇,五八八	二,七〇〇,五八八	六,四四四,三三六	二,七〇〇,五八八	二,七〇〇,五八八
山西省	三〇三,四四〇	五〇四,二二八	三,四四七,七四〇	八二二,一八	三,四四七,七四〇	八二二,一八	三,四四七,七四〇	三,四四七,七四〇	三,四四七,七四〇	三,四四七,七四〇	三,四四七,七四〇	三,四四七,七四〇
河南省	三,四四二,二〇〇	五,九三三,三三二	三,一四〇,八〇〇	八,九三三,八三三	二,八〇〇,四〇〇	二,八〇〇,四〇〇	二,八〇〇,四〇〇	二,八〇〇,四〇〇	二,八〇〇,四〇〇	二,八〇〇,四〇〇	二,八〇〇,四〇〇	二,八〇〇,四〇〇
陝西省	一,四四九,八六四	一,五七〇,八四〇	一,八二九,五五五	一,八二一,一〇〇	一,八二一,一〇〇	一,八二一,一〇〇	一,八二一,一〇〇	一,八二一,一〇〇	一,八二一,一〇〇	一,八二一,一〇〇	一,八二一,一〇〇	一,八二一,一〇〇
湖北省	六,六七二,五九九	一,三〇四,三三〇	四,五八八,二二〇	二,七六六,六六〇	四,五八八,二二〇	二,七六六,六六〇	四,五八八,二二〇	四,五八八,二二〇	四,五八八,二二〇	四,五八八,二二〇	四,五八八,二二〇	四,五八八,二二〇
湖南省	九八,三六五	一,九九七,七四〇	二,〇七三,五〇〇	三,五三三,〇〇〇	三,五三三,〇〇〇	三,五三三,〇〇〇	三,五三三,〇〇〇	三,五三三,〇〇〇	三,五三三,〇〇〇	三,五三三,〇〇〇	三,五三三,〇〇〇	三,五三三,〇〇〇
安徽省	三三,三六八	四,四三三	二,五九,五八	二,五九,五八	二,五九,五八	二,五九,五八	二,五九,五八	二,五九,五八	二,五九,五八	二,五九,五八	二,五九,五八	二,五九,五八
浙江省	九八,四〇〇	一,六四三,三七	五,九四九,〇〇	一,五九,〇三	四,四三三,〇〇	四,四三三,〇〇	四,四三三,〇〇	四,四三三,〇〇	四,四三三,〇〇	四,四三三,〇〇	四,四三三,〇〇	四,四三三,〇〇
江西省	八四,四〇七	一,七六六,八〇〇	八,四四〇,八元	一,七六六,七二	七,四三三,四四〇	七,四三三,四四〇	七,四三三,四四〇	七,四三三,四四〇	七,四三三,四四〇	七,四三三,四四〇	七,四三三,四四〇	七,四三三,四四〇
福建省	一,三三,七五五	四,一七二,六四〇	一,三三,七五五	四,一七二,六四〇	四,一七二,六四〇	四,一七二,六四〇	四,一七二,六四〇	四,一七二,六四〇	四,一七二,六四〇	四,一七二,六四〇	四,一七二,六四〇	四,一七二,六四〇
浙江省	三,七〇九,八五五	八,〇四四,八五五	三,七〇九,八五五	八,〇四四,八五五	三,七〇九,八五五	八,〇四四,八五五	三,七〇九,八五五	八,〇四四,八五五	三,七〇九,八五五	八,〇四四,八五五	三,七〇九,八五五	八,〇四四,八五五
合計	三,七〇九,八五五	八,〇四四,八五五	三,七〇九,八五五	八,〇四四,八五五	三,七〇九,八五五	八,〇四四,八五五	三,七〇九,八五五	八,〇四四,八五五	三,七〇九,八五五	八,〇四四,八五五	三,七〇九,八五五	八,〇四四,八五五

全國生繭及生絲產額 (銀行週報二十一年) (單位担)

省名	繭產額	生絲產額
浙江省	一,四〇〇,〇〇〇	八九,〇〇〇
安徽省	五五〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇
江西省	一〇〇,〇〇〇	五,七〇〇
湖北省	一三〇,〇〇〇	九,一〇〇
湖南省	五五,〇〇〇	三,〇〇〇
山東省	一〇,〇〇〇	七,五〇〇
山西省	未詳	五〇〇
河南省	未詳	五〇〇
陝西省	四七〇,〇〇〇	三三,〇〇〇
四川省	未詳	三〇〇
福建省	一,〇〇〇,〇〇〇	六六,五〇〇
廣東省	五五〇,〇〇〇	三三,〇〇〇
廣西省	五五〇,〇〇〇	三三,〇〇〇
其他	五五〇,〇〇〇	三三,〇〇〇
合計	三,九〇〇,〇〇〇	二五二,〇〇〇

全國落花生產區面積及產量

省名	栽培面積	年產額
安徽省	一,五六八,一九畝	三,五二二,六七担
河南省	三,三三三,二七畝	一,六九三,五〇八
山東省	三,五五五,一〇畝	三,五五五,一〇六
山西省	二,二二二,一九畝	二,八〇四,七三五
浙江省	一,五五六,三六畝	四,五二二,八九七
江西省	四七二,七九畝	七,三九九,八七六
福建省	三九二,二四畝	一,三三〇,四三
湖北省	五〇二,二四畝	一,三三九,六四四
湖南省	四五	
合計		

全國產茶區域面積及產量

省名	種植地(畝)	產量(担)
浙江省	三,二二六	五,四四
安徽省	一〇一	三
江西省	一四,五五〇	七,七七

縣名	產額	縣名	產額	縣名	產額	縣名	產額	縣名	產額
福建省		廣東省		福建省		廣東省		福建省	
龍溪	11,310	龍溪	3,910	龍溪	3,910	龍溪	3,910	龍溪	3,910
南溪	11,310	南溪	3,910	南溪	3,910	南溪	3,910	南溪	3,910
晉江	11,310	晉江	3,910	晉江	3,910	晉江	3,910	晉江	3,910
仙遊	11,310	仙遊	3,910	仙遊	3,910	仙遊	3,910	仙遊	3,910
興化	11,310	興化	3,910	興化	3,910	興化	3,910	興化	3,910
日清	11,310	日清	3,910	日清	3,910	日清	3,910	日清	3,910
連江	11,310	連江	3,910	連江	3,910	連江	3,910	連江	3,910
總計	11,310	總計	3,910	總計	3,910	總計	3,910	總計	3,910

各省荒地面積數(內政部統計)(單位畝)

省名	縣數	面積	佔所報荒地之百分比	面積	佔所報荒地之百分比	面積	佔所報荒地之百分比	面積	佔所報荒地之百分比
浙江	1	5,484,213	55.6%	7,087	71.2%	10,000	100%	1,035,913	103.5%
江蘇	1	5,741,111	58.2%	7,087	71.2%	10,000	100%	1,035,913	103.5%
福建	1	3,741,111	38.2%	7,087	71.2%	10,000	100%	1,035,913	103.5%
安徽	1	3,741,111	38.2%	7,087	71.2%	10,000	100%	1,035,913	103.5%
江西	1	3,741,111	38.2%	7,087	71.2%	10,000	100%	1,035,913	103.5%
總計	5	22,800,000	23.2%	28,271	28.7%	37,000	37.0%	3,121,726	31.2%

省名	縣數	面積	佔所報荒地之百分比	面積	佔所報荒地之百分比	面積	佔所報荒地之百分比	面積	佔所報荒地之百分比
湖北	1	3,741,111	38.2%	7,087	71.2%	10,000	100%	1,035,913	103.5%
湖南	1	3,741,111	38.2%	7,087	71.2%	10,000	100%	1,035,913	103.5%
廣東	1	3,741,111	38.2%	7,087	71.2%	10,000	100%	1,035,913	103.5%
貴州	1	3,741,111	38.2%	7,087	71.2%	10,000	100%	1,035,913	103.5%
山東	1	3,741,111	38.2%	7,087	71.2%	10,000	100%	1,035,913	103.5%
山西	1	3,741,111	38.2%	7,087	71.2%	10,000	100%	1,035,913	103.5%
河南	1	3,741,111	38.2%	7,087	71.2%	10,000	100%	1,035,913	103.5%
河北	1	3,741,111	38.2%	7,087	71.2%	10,000	100%	1,035,913	103.5%
察哈爾	1	3,741,111	38.2%	7,087	71.2%	10,000	100%	1,035,913	103.5%
陝西	1	3,741,111	38.2%	7,087	71.2%	10,000	100%	1,035,913	103.5%
西康	1	3,741,111	38.2%	7,087	71.2%	10,000	100%	1,035,913	103.5%
綏遠	1	3,741,111	38.2%	7,087	71.2%	10,000	100%	1,035,913	103.5%
總計	12	44,292,000	44.9%	56,271	56.7%	73,000	73.0%	7,421,726	74.2%

工業

取残された工業

工業の角度から見ると中国は全く世界のあらゆる國々から取残された敗戦者であるといはざるを得ない。その莫大なる諸工業原料を持ちながら、棉紡、絹糸の兩工業を除けば、ほとんど世界のレベルに達してゐる工業はないといふもまた過言でない。この點、あるひは所謂處女地として將來の發展が予約されてゐるのかも知れないが、急激の工業化は現状では望めない實情にある國民政府の工業政策としては

- ▼排外貨(排日貨をも含めて)と國產獎勵
- ▼基本工業の創設、國營
- ▼手工業、小工業の獎勵
- ▼在華外人工業の壓迫

要素を具備してゐながら、しかも急速な發展をなし得ないのは、國民性として商業中心主義に没入してゐる故ではないか——中國の資本家が、工業に適しない國民性を持つてゐるのではないかとの民族的觀察もなされるのである。

國民政府は既に關稅自主を行ひ、數度に亘つて稅率の改正をなし、特に昨年夏にあつては、突如高率關稅を實施して世界的關稅戰に参加し、日本品に對しては殊更に高率を附する等の策をとりなごしたのであるが、これが自國工業擁護の立場よりなされたのであるか、他意あつてなされたのであるかは一つの疑問である。未だ關稅と自國工業との相關性を重視して、特殊品の高關稅、特別品の低關稅等意識的に工業發展を企圖しての關稅政策が萬全の域に至つてゐると思はれず、この點でも、中國らしき行きあたりばつたりの

等であるがこれとても計畫的であるといひかねる。排外貨の如きも、時の政治情勢に應じて或ひは排日貨となり

または排英貨となつて表れてゐるが、それ等の裏面には米貨、獨貨、蘭、伊白等の工業製品が流入してゐる。

基本工業の國營、創設等は、今日のところ、軍需品としての飛行機、大砲小銃、彈丸等を政府直營工場にて製出せんとする氣運に向ひ、米、伊等の援助を若干求めてゐる以外、國民生活に必須なる物資製造には一指だに染めてゐないといへる。

然しながら、工業化の機運は全く停頓してゐるわけではない。既に一部の論者は、中國が既に商業資本主義の時代から工業資本主義時代に進展したこ

風あるのは免れ難い

現在のところ重要工業として數へ得るものは、棉紡、絹糸、製粉、桐油、構寸、皮革、洋灰、電氣、雜貨等であつて、このほかに手工業として陶磁器製紙の工業がある。

勞農ロシヤが第一次五ヶ年計畫によつて、世界の農業國より一轉して工業國となり得た實例を見る時、中國の工業もまた根本的發展策を、しかも徹底的に採用するに非れば、現在の漸進主義では十年後の工業が中國自體としては進歩を示すにしても、世界の工業よりは今日以上の立後れとなることをも今にして再考すべきであらう

訓政時期の施政綱領

(工商に關する部分)

▲工商業の保護實行(工商保護政策の實施、企業及發明の獎勵、國際貿易の提倡) ▲國營工業の發達(舊國營工業の整理、基本工業に關する製造工場

さへ極論してゐる程であり、殊に國民政府成立以後は、前記の如き政策を反映して、工業の發展は目ざましきものがあつたのであるが、それも粗悪品、模造品を主として産出してゐる幼稚である。

例へば絹糸工業において、在華外人紡が印棉並びに米棉と華棉とを併用して細番手を製出しつゝある時、華商紡は相變らず十八番手、廿番手の太物だけを製出してゐる。これは中國工業製品が輸出の階程にまで至らず、主として國內需要の幾分を充してゐるにすぎないといふ根本的關係もあるが、何れにしても、中國工業は未だ國內の需要をさへ自給し得ず、また果して何時になつて、これをなし得るや現状では甚しき悲觀説をさるほかない。

中國にあつては、勞賃の低廉にして豊富なこと、國內市場の大なること工業材料の豊富なこと等、工業發展の諸

の設立) ▲度量衡の劃一(權度標準の規定、度量衡工場の設立) ▲工商物品の審檢(工業試驗所の設立、輸出入商品の檢査、材料標準試驗所の設立) ▲工商金融機關の設置(工商銀行の設立、勞工銀行の設立、國貨銀行の設立獎勵) ▲國貨の提倡(國貨に對する生産消費の調査、國貨の陳列及展覽の舉辦、國貨改良の獎勵) ▲工商會組織の健全化(工會及商會の整理、工商團體の聯絡促進) ▲勞資關係の調節(勞資爭議處理機關の組織、勞資相互關係の改善、勞資協作の唱導) ▲工場監督の實施(工場建築及設備の監督、勞工待遇の監督) ▲勞工生活の改進(工人衛生の指導、職工新村の舉辦、勞工貯蓄及び保險の舉辦、勞工智識の増進、消費合作社の舉辦) ▲失業工人の救濟(職業紹介機關の設置、失業工人の救濟及び移工其他必要なる事業の舉辦) ▲工商業の協調促進(工商業協調方法の指導、工商業

間の紛糾調停) ▲在外工商保護 (在外勞工の保護、駐外商務委員の設置、在外工商の投資、興業の奨励)

▼中國の國貨奨励に關する

現行法規

▲國貨證明書發給規則 (十七年三月公布第一條 中國人民にして自工場を設けて工業品の製造を行ひ外貨に代替するものは直接工商部に或は地方主管機關より工商部に證明書の發給を申請することを得等全條文九條) ▲國貨調査委員會組織章程 (十七年六月二十九日公布) ▲國貨展覽會寄售部規則 (十七年八月公布) ▲國貨陳列館規則 (十七年五月公布) ▲全國物品展覽會舉辦通

則 (十七年十二月公布) ▲海外中國國貨陳列館組織大綱 (十七年十二月公布) ▲海外中華國貨陳列館徵品規則 (十七年十二月公布) ▲海外中華國貨陳列館售品規則 (十七年十二月公布)

▼中國の工業に關する現行法規

法規

▲工場法 (十九年一月十六日公布) 第一條 汽力電力水力等の發動機器を用ふる工場にして平時の備用工人三十人以上のものに本法を適用す等全條文七十七條) ▲工業品奨励暫行條例 (十七年六月公布) ▲修正工業品奨励暫行條例施行細則 (十九年八月公布) ▲特種工業奨励法 (十八年七月公布) ▲特種工業奨

勵審查暫行標準 (十九年二月公布) ▲修正技師登記條例 (十七年五月公布) ▲工場検査法 (二十年二月公布) ▲小工業及手工業奨励規則給獎細則 (二十年五月公布) ▲工業技術奨励暫行條例 (二十一年九月十五日公布)

▼工業生産總額

類別	生産量	價值	統計年度
米	六四〇〇〇〇〇〇〇元	一九〇〇年	
類			
藍	二八〇〇〇〇〇〇兩	一九〇〇年	
蠶	二八〇〇〇〇〇〇兩	一九〇〇年	
茶	二五〇〇〇〇〇〇〇元	一九〇〇年	
小	二五八〇〇〇〇〇〇元	一九〇〇年	
麥	二五八〇〇〇〇〇〇元	一九〇〇年	
其他各市	五〇〇〇〇〇〇元	一九〇〇年	
上海	一〇〇四一五三三五元	一九〇〇年	
天津	六七三〇六〇四元	一九〇〇年	
漢口	七二九七〇七三元	一九〇〇年	
青島	三三九三三七六元	一九〇〇年	
廣州	一八三三六〇〇元	一九〇〇年	
無錫	八二二三一八〇元	一九〇〇年	
其他各市	五〇〇〇〇〇〇元	一九〇〇年	
共計	二七三三三三三三三元	一九〇〇年	

▼農業と手工業生産額

類別	生産量	價值	統計年度
大豆	六〇〇〇〇〇〇〇石	二二〇〇〇〇〇〇〇元	一九〇〇年
棉花	六〇〇〇〇〇〇〇石	二二〇〇〇〇〇〇〇元	一九〇〇年
羊毛	一八〇〇〇〇〇〇〇元	一九〇〇年	
海產物	二五〇〇〇〇〇〇〇元	(右同)	
桐油	五〇〇〇〇〇〇〇元	一九〇〇年	
陶器磁器	一〇〇〇〇〇〇〇元	一九〇〇年	
高粱	五七〇〇〇	一九〇〇年	
其他雜糧	二八〇〇〇	一九〇〇年	
其他農產品	一七九〇〇	一九〇〇年	
其他手工業產品	三〇〇〇〇〇〇〇元	一九〇〇年	
總計	二七三三三三三三三元	一九〇〇年	

▼上海の工業資本總額

業別	資本總額
棉織業	三二七、〇〇〇、〇〇〇
絲織業	二二四、〇〇〇、〇〇〇
毛織業	二二四、〇〇〇、〇〇〇
針織業	一、〇〇〇、〇〇〇
其他紡織業	三六、〇〇〇、〇〇〇
化學工業總計	七二、〇〇〇、〇〇〇
印刷業	二、〇〇〇、〇〇〇
機械業	一〇、〇〇〇、〇〇〇
翻砂業	一、〇〇〇、〇〇〇
資本總額	一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇

▼天津工業資本總額

業別	資本總額
紡織工業	八〇〇、〇〇〇、〇〇〇
其他各業	二八〇、〇〇〇、〇〇〇
總計	一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇

▼廣東工業資本總額

業別	資本總額
飲食工業	五、〇〇〇、〇〇〇
日用品工業	二、〇〇〇、〇〇〇
器具工業	五、〇〇〇、〇〇〇
機械工業	三、〇〇〇、〇〇〇
化學工業	二、〇〇〇、〇〇〇
被服工業	三、〇〇〇、〇〇〇
印刷工業	一、〇〇〇、〇〇〇
雜類	一、〇〇〇、〇〇〇
總計	三、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇

建築工業	一五七,000
衣服工業	一四〇,000
機械工業	一六八,一五〇
公用工業	五,一〇〇,〇〇〇
雜類	五七,〇〇〇
總計	六,五四七,〇〇〇

▼漢口工業資本總額

(×印ハ外國資本系)

業別	資本總額
紡織業	三,四〇〇,〇〇〇
飲食業	一,一〇〇,〇〇〇
化學業	三,八〇〇,〇〇〇
建築業	三六,四〇〇,〇〇〇
衣服業	一,一〇〇,〇〇〇
教育業	四,〇〇〇,〇〇〇
機械業	四,〇〇〇,〇〇〇
公用業	五,〇〇〇,〇〇〇
總計	一,一七〇,〇〇〇

建設委員會登錄電氣事業

一覽 (二十一年)

公營電氣事業

- 建設委員會首都電廠
- 建設委員會威靈頓電廠
- 杭州電廠

民營電氣事業

(江蘇)

- 南通通明電氣公司
- 江都振揚電氣股份有限公司
- 青浦珠浦電燈廠
- 上海浦東電氣股份有限公司
- 松江電氣股份有限公司
- 泰縣曲塘鎮成明電燈公司
- 如皋耀如電氣股份有限公司
- 崑山泰記電氣有限公司
- 太倉沙溪電燈公司
- 鎮江大照電氣公司
- 丹陽肇明電燈股份有限公司
- 溧陽振亨電燈電氣股份有限公司
- 寶應縣寶明電燈股份有限公司
- 瀏河友華電燈股份有限公司

五二

- 泰縣海安電氣股份有限公司
- 吳江盛澤復新電氣股份有限公司
- 蘇州電氣廠股份有限公司
- 上海商辦開北水電股份有限公司
- 上海華商電氣股份有限公司
- 海門海明電氣公司
- 高郵電燈股份有限公司
- 儀徵大新電氣兩合公司
- 奉賢立亨電氣廠
- 吳淞寶明電氣股份有限公司
- 常熟電氣廠股份有限公司
- 東台益豐電氣股份有限公司
- 宜興耀宜電燈公司
- 南匯周浦大明電氣股份有限公司
- 川沙大川電燈股份有限公司
- 靖江驪星電廠股份有限公司
- 金壇義利電氣股份有限公司
- 南匯南沙電燈股份有限公司
- 泰興耀黃電燈股份有限公司
- 泰縣振泰電氣股份有限公司
- 太倉耀英電氣股份有限公司

(浙江)

- 高淳新華承記電燈廠
- 青浦章明電燈股份有限公司
- 東台東耀電燈股份有限公司
- 徐州耀華電氣股份有限公司
- 吳興角直新明電氣廠
- 崑山泰記電氣有限公司
- 嘉善昌耀電燈股份有限公司
- 嘉興永明電燈股份有限公司
- 金華商辦電燈股份有限公司
- 嘉興王店耀明電氣有限公司
- 吳興菱湖明湖電燈股份有限公司
- 吳興電氣股份有限公司
- 平湖明華電汽廠
- 諸暨楓橋電氣有限公司
- 德清新市才記電氣公司
- 寧波永耀電力公司
- 象山石浦明星電氣公司
- 吳興雙林電燈廠
- 定海舟山電氣公司
- 湖州溇雲電燈股份有限公司

永康電燈股份有限公司

- 臨海恒利泰記電氣兩合公司
- 嶧縣開明電廠股份有限公司
- 崇德永民電氣股份有限公司
- 蕭山臨浦乾元電氣有限公司
- 義烏電氣股份有限公司
- 慈谿慈明鴻記電燈股份有限公司
- 杭縣喬司電氣公司
- 海寧夾石電燈股份有限公司
- 杭縣臨平興記電氣公司
- 杭縣塘棲新明電氣股份有限公司
- 黃巖恒利泰記電氣兩合公司第二支廠
- 紹興大明電氣股份有限公司
- 海鹽沈蕩電氣股份有限公司
- 建德商辦建德城廂電氣股份有限公司
- 德清商辦德清電氣股份有限公司
- 新登縣新興電氣股份有限公司
- 長興虹溪電氣廠
- 海寧袁花電氣股份有限公司

(安徽)

- 嘉興王江涇鎮涇明電燈廠
- 瑞安南堤電氣股份有限公司
- 麗水普明電燈股份有限公司
- 崇德石灣普益電氣公司
- 溫州華興記電氣股份有限公司
- 蚌埠耀淮電燈股份有限公司
- 宣城永寧電氣股份有限公司
- 婺源星江電燈股份有限公司
- 鄱陽明星電燈股份有限公司
- 大通振通電燈股份有限公司
- 蕪湖明遠電氣股份有限公司
- 宣城電氣股份有限公司
- 休寧屯溪電燈廠
- 桐城商辦光明電氣股份有限公司
- 沔陽新電燈有限公司
- 漢口商辦漢鎮既濟水電股份有限公司
- 漢陽電氣股份有限公司
- 廣濟商辦武穴光明電燈股份有限公司

(湖北)

五三

- 公司
- 大冶黃石港電燈股份有限公司
- (福建)
- 福州電氣股份有限公司
- 莆田電燈股份有限公司
- (江西)
- 新建彰明電燈股份有限公司
- 浮梁景耀電氣股份有限公司
- (湖南)
- 堂德鼎新電燈股份有限公司
- 邵陽商辦寶慶光明電燈股份有限公司
- 湘潭大明電燈股份有限公司
- (山東)
- 長山周村同豐電氣廠
- 泰安電燈股份有限公司
- 濟南電氣股份有限公司
- (廣東)
- 廣州市商辦電力股份有限公司
- 南海九江普光電燈股份有限公司
- (河北)
- 順德電燈股份有限公司
- 保定電燈電力股份有限公司
- 獲鹿石家莊中國內地電燈股份有限公司
- (察哈爾)
- 萬全華北電燈股份有限公司
- (河南)
- 鄭州明遠電燈股份有限公司
- (四川)
- 成都啓明電燈股份有限公司
- (綏遠)
- 包頭電氣股份有限公司
- (山西)
- 榆次魏榆電氣廠
- 平遙金井電燈股份有限公司
- (以上民營電氣事業共一一四處)

最近全國中外紗廠概況統計

(二十一年五月華商紗廠聯合會調查)

廠	數	紗	錠	線	錠	織機	原動力 (電力單位千瓦) (單位馬力)	工人數	棉花消費量 (單位担)	糸生產量 (單位包)	綿布產量 (單位匹)
上海市二十八廠	106	6,620	90,260	7,680	13,296	5,184	21,915	2,000	3,262,100		
江蘇省二十一廠	53	3,840	107,160	5,730	10,000	10,000	1,257,120	3,370	1,200,700		
河北省九廠	27	2,600	131,400	1,800	3,900	1,950	676,100	1,750	1,100,100		

湖北省七廠	30	1,100	21,900	3,300	4,400	3,300	1,350	6,400	1,700,000
其他各省十九廠	43	3,500	15,000	1,900	2,600	1,900	7,800	2,100	7,100
合計	226	16,000	411,500	20,500	26,900	20,500	1,680,000	14,000	4,200,000
英商三廠	3	1,700	—	—	—	—	—	—	—
合計	3	1,700	—	—	—	—	—	—	—
日商在上海三十廠	30	11,000	210,900	13,650	18,750	13,650	5,600	23,300	7,500,000
日商在各埠十一廠	11	5,000	51,800	5,600	7,280	5,600	2,200	8,900	2,800,000
合計	41	16,000	262,700	19,250	26,030	19,250	7,800	32,200	10,300,000
全國中外一百二十八廠總計	444	45,200	3,878,000	42,550	56,930	42,550	1,730,000	126,200	1,010,000

全國中外紗廠及資本一覽

(二十一年五月華商紗廠聯合會調查)

廠名	所在地	資本額
(上海市計二十八廠)		
恒豐紡織新局	上海陽樹浦華盛路一六號	100萬兩
振華利記紡織股份有限公司	上海楊樹浦蘭路四號	30萬兩
申新第一紡織廠	上海白利南路周家橋	50萬兩
申新第二紡織廠	上海宜昌路二號	50萬兩
申新第五紡織廠(德大)	上海華德路高即橋堍	130萬兩
(山東)		
長山周村同豐電氣廠		
泰安電燈股份有限公司		
濟南電氣股份有限公司		
(廣東)		
廣州市商辦電力股份有限公司		
南海九江普光電燈股份有限公司		
(河北)		
順德電燈股份有限公司		
保定電燈電力股份有限公司		
獲鹿石家莊中國內地電燈股份有限公司		
(察哈爾)		
萬全華北電燈股份有限公司		
(河南)		
鄭州明遠電燈股份有限公司		
(四川)		
成都啓明電燈股份有限公司		
(綏遠)		
包頭電氣股份有限公司		
(山西)		
榆次魏榆電氣廠		
平遙金井電燈股份有限公司		
(以上民營電氣事業共一一四處)		

永安紡織有限公司 第一廠	上海楊樹浦開路	二〇〇萬元	業勤紗廠	無錫東門外興隆橋	三萬元
永安紡織有限公司 第二廠(大中華)	吳淞蘆蕩浜		振新紡織股份 有限公司	無錫西門外太保墩	一〇〇萬元
永安紡織有限公司 第三廠	上海夢根路十五號		廣勤紡織股份 有限公司	無錫廣勤路長源橋	一五〇萬元
大豐慶記紡織股份 有限公司	上海潭子灣蘇州河邊	一五〇萬元	慶豐紡織股份 有限公司	無錫勤路周三濱	一八〇萬元
振泰紡織股份有限 公司	上海密家渡西蘇州河北	一〇〇萬元	豫康紡織股份 有限公司	無錫梨花莊	二〇〇萬元
鴻章紡織染廠	上海夢根路五十三號	一〇〇萬元	申新第三紡織廠	無錫西門外	三〇〇萬元
同昌協記紗廠	上海南市機廠街	一〇〇萬元	麗新紡織染 整理公司	無錫惠商橋麗新路	一〇〇萬元
永豫和記紡織股份 有限公司	上海小沙渡西北光復路	五〇萬元	蘇輪紡織廠	蘇州盤門外裕棠橋	六〇萬元
崇信紡織有限公司	上海談家渡一號	一五〇萬元	復順紡織公司	常熟支塘	四〇萬元
隆茂紡織有限公司	上海華德路臨青路口	一五〇萬元	利泰紡織股份 有限公司	大倉沙溪鎮	一〇〇萬元
寶興紡織公司	上海蘇州路公平路口	二〇〇萬元	民豐紗廠股份 有限公司	常州小南門外	五萬元
協豐益記紗廠	上海橫樞路二二三號	二〇〇萬元	大成紡織染第二廠	常州大南門外德安街	一〇〇萬元
民生紡織股份有限 公司	上海華倫路	二〇〇萬元	利用紡織有限公司	常州東門外白家橋	三萬兩
經緯明記紡織廠	上海岳州路公平路口	二〇〇萬元	福大紡織公司	江陰北門外開西堡	一五萬元
(江蘇省計二十一廠)			通成紡織公司	常州東門外	一五萬兩
大生第一紡織公司	南通唐家園	一五〇萬兩	(河北省計九廠)	常州戚墅堰	三萬兩
大生第一紡織 公司副廠	南通南門外江家橋	一四〇萬兩	天津華新紡織 有限公司	天津河北小子莊	
大生第二紡織公司	啓東久隆鎮南	三〇萬兩	唐山華新紡織 有限公司	河北省唐山鎮	三〇〇萬元
大生第三紡織公司	海門長樂鎮南灣	三〇萬兩			
大通紡織公司	崇明南堡鎮	六萬兩			

裕元紡織股份 有限公司	天津海河岸小劉莊	五六〇萬元	(浙江省計三廠)	三友實業有限公司	浙江杭州拱宸橋	二〇〇萬元
恒源紡織股份 有限公司	天津市河北西營窪開口	四〇〇萬元	杭州通益公紡織染廠	和豐紡織股份 有限公司	浙江鄞縣江東冰廠跟	一五〇萬元
北洋紗廠	天津海河掛甲寺村	三七〇萬元	通惠公紡織局	魯豐紡織公司	浙江蕭山東門外	一五〇萬元
裕大紡織有限公司	天津鹽宅地	三〇〇萬元	(山東省計二廠)	青島華新紡織 有限公司	山東濟南城北林家橋	一六萬元
寶成第三紡織公司	天津鹽宅地	三〇〇萬元	魯豐紡織公司	山東青島市外滄口	一五〇萬元	
寶記紗廠	寶抵縣新集鎮	一五萬元	(安徽省一廠)	裕中盈記紡織股份 有限公司	安徽蕪湖陶溝	一〇〇萬元
大興紡織股份 有限公司	河北省石家莊	二〇萬兩	(江西省一廠)	久興紡織股份 有限公司	江西九江官牌夾	二〇〇萬兩
(湖北省計七廠)			(湖南省一廠)	湖南第一紡織廠	湖南長沙銀盆嶺	二八〇萬元
湖北紡織官局紗局	武昌文昌門外	一〇〇萬元	(山西省計四廠)	晉華紡織公司第一廠	山西榆次縣北關	四〇〇萬元
漢口第一紡織股份 有限公司	武昌武勝門外曾家巷	六〇萬兩	大益成紡織股份 有限公司	生裕紡織公司	山西新絳縣三林鎮	四七萬元
裕華紡織股份 有限公司	武昌武勝門外中新河	一五萬兩	(新疆省計一廠)	阜民紡織公司	新疆迪化	七〇萬元
震儀實紡有限公司	武昌武勝門外上新河	二二萬兩	(陝西省計一廠)			
申新第三紡織廠	漢口橋口宗關	一〇〇萬元				
沙市紡織股份 有限公司	沙市寶塔河	八〇萬元				
(河南省計四廠)						
豫新紡紗公司	河南安陽縣車站	一五〇萬元				
豫豐紗廠	河南鄭縣城外豆腐寨	二〇〇萬兩				
成豐紗廠	河南武陟縣木樂店	六萬元				
衛輝革新紡織 有限公司	河南汲縣北關	三〇〇萬元				

陝西民生紡織廠 陝西鹽漢交口鎮 一五〇萬元
(英商計三廠)

怡和公司 怡和 上海楊樹浦路四六號
公益 上海勞勃生路一五〇號 五〇萬兩
楊樹浦 上海楊樹浦

(日商計四十一廠)

上海紡織株式會社
第一廠 上海楊樹浦路一一六一號
第二廠 上海楊樹浦路一九七〇號 六〇萬兩
第三廠 上海蘭路十五號
第四廠 上海蘭路十九號

日華紡織株式會社
第一廠 上海浦東陸家嘴
第二廠 上海勞勃生路 九十八號 一二〇萬元
第三廠 九十八號 七二號
第四廠 七二號
第五廠 第一上海勞勃生路八六號 八六號
第六廠(實成) 第二上海勞勃生路八六號
第七廠 吳淞蘆漢溪
第八廠(華豐) 上海勞勃生路六十二號
第一廠 同右
第二廠 同右

五八

內外株式會社
第三廠 上海西蘇州路十九號
第四廠 同右
第五廠 上海西蘇州路十四號 大阪本社
第六廠 同右 三三〇〇萬圓
第七廠 同右
第八廠 上海戈登路一四五號
第九廠 上海麥根路六〇號

東華紡織株式會社
第一廠 上海華德路一六八七號 二〇〇萬圓
同興紡織株式會社 第一廠 上海戈登路一八一號 一五〇萬圓
第二廠 上海楊樹浦二〇八六號
公大第一廠 上海平涼路二〇〇號 一〇〇萬圓
紗廠第二廠(老公茂) 上海楊樹浦四號
大康紗廠(大日本分設) 上海楊樹浦騰越路二號 本社
株式會社豐田紡織廠 上海極司非而路二百號 一〇〇萬圓
裕豐紡織株式會社 上海楊樹浦路二八六六號 五〇萬圓
(東洋分設)
內外棉紗廠青島支店 青島四方莊 七〇萬圓
富士瓦斯紡分設) 青島滄口一七三號 本社 四五〇萬圓
公大紗廠第五廠 青島滄口 一〇〇萬圓
隆興紗廠(日清紡分設) 青島四方 本社 二七〇萬圓
寶來紗廠(長崎紡分設) 青島滄口 五〇萬圓
大康紗廠(大日本分社) 青島四方 本社 五〇〇萬圓
泰安紡織株式會社 漢口橋口宗廟 五〇萬圓

最近十年全國紡織紡錘及棉花消費統計

年別	紡織錘數(千錘)	棉花消費量(千包)
十二年(一月末より一月末迄)	二六八〇	一五七
十三年	三三三八	一四二
十四年	三三三〇	一六四
十五年	三三三〇	一七四
十六年	三三三三	一八四
十七年	三三三三	一九九
十八年	三三三六	二一九
十九年	三三三六	二二七
二十年	三三三五	二二八
廿一年	三三三三	二二八
合計	三三三六	一八九一

最近三年の全國棉業概況統計(華商紗廠聯會調查)

一、錘數 二年一月至二年七月至二年一月至一九年七月一日
六月末 二〇八五三六 四三三八一七 四〇五四九四 三九五二二四

裝置中新錘 一〇一三六八 二七三〇〇 三九〇〇〇 二六三〇四

二、棉花消費量(單位五百磅重包)
中國棉 四七五七三 四三三六二 七〇二七二 七三三七一

米棉	印棉	埃及棉	其他	總計	三、工場在棉(單位五百磅重包)
四七五七三	四三三六二	一七五九三	一五三六二	一〇八一〇三	一三三三三三
一〇一三六八	二七三〇〇	三九〇〇〇	二六三〇四	一〇六六六二	一三三三三三
四七五七三	四三三六二	一七五九三	一五三六二	一〇八一〇三	一三三三三三
一〇一三六八	二七三〇〇	三九〇〇〇	二六三〇四	一〇六六六二	一三三三三三
四七五七三	四三三六二	一七五九三	一五三六二	一〇八一〇三	一三三三三三
一〇一三六八	二七三〇〇	三九〇〇〇	二六三〇四	一〇六六六二	一三三三三三
四七五七三	四三三六二	一七五九三	一五三六二	一〇八一〇三	一三三三三三
一〇一三六八	二七三〇〇	三九〇〇〇	二六三〇四	一〇六六六二	一三三三三三
四七五七三	四三三六二	一七五九三	一五三六二	一〇八一〇三	一三三三三三
一〇一三六八	二七三〇〇	三九〇〇〇	二六三〇四	一〇六六六二	一三三三三三

全國歷年棉花生產及紗廠消費量(華商紗廠聯會調查)

年別	生產量(單位擔)	紗廠消費量(單位擔)
民國八年	一〇一三六八	一〇一三六八
民國九年	一〇一三六八	一〇一三六八
民國十年	一〇一三六八	一〇一三六八
民國十一年	一〇一三六八	一〇一三六八
民國十二年	一〇一三六八	一〇一三六八
民國十三年	一〇一三六八	一〇一三六八
民國十四年	一〇一三六八	一〇一三六八
民國十五年	一〇一三六八	一〇一三六八
民國十六年	一〇一三六八	一〇一三六八
民國十七年	一〇一三六八	一〇一三六八
民國十八年	一〇一三六八	一〇一三六八
民國十九年	一〇一三六八	一〇一三六八
民國二十年	一〇一三六八	一〇一三六八
民國二十一年	一〇一三六八	一〇一三六八
民國二十二年	一〇一三六八	一〇一三六八
民國二十三年	一〇一三六八	一〇一三六八
民國二十四年	一〇一三六八	一〇一三六八
民國二十五年	一〇一三六八	一〇一三六八
民國二十六年	一〇一三六八	一〇一三六八
民國二十七年	一〇一三六八	一〇一三六八
民國二十八年	一〇一三六八	一〇一三六八
民國二十九年	一〇一三六八	一〇一三六八
民國三十年	一〇一三六八	一〇一三六八

五九

民國九年	九〇三、八九〇
民國十年	二八五、〇四三
民國十一年	五四九、三三〇
民國十二年	八三〇、三五五
民國十三年	七二四、六四三
民國十四年	七八〇、八八二
民國十五年	七五三、四五一
民國十六年	六二四、三五五
民國十七年	六七三、一〇八
民國十八年	七四九、三六六
民國十九年	八八〇、五五七
民國二十年	二八三、九七〇

江浙兩省絲廠統計(二十一年一月國際貿易局調)

省別	廠數	車數
上海	一〇五	一五、九四〇
蘇州	六	一、三九二
無錫	四	一、三三四
杭州	一四	三、〇六六
湖州	七	一、四〇四

嘉興	四	六〇〇	四	五二
蕭山	一	三〇〇	一	—
合計	一五	八、二〇〇	一六	四〇、三三四

中國酸類工業概況

廠名	成立時期	種類	出產數量	備考
天津渤海化學工業社	五、六年前	鹽酸	每年一〇〇,〇〇〇箱	每罐裝五十斤、二罐裝一木箱
天津得利三	十八年	硫酸	每月六,〇〇〇磅	
上海天原電	十七年	鹽酸	每月四,〇〇〇箱	一箱一百二十磅
上海開成	二十年	硫酸	每日二、三箱	百磅裝一箱、每
上海英商江	—	硫酸	每日二噸	
蘇州英商江	—	硝酸	每日一噸	
上海英商江	—	鹽酸	每日一噸	

全國玻璃工業概況

省名	廠數	資本總數	種類
上海	一五	四、八七〇元	瓶罐、ホヤ等
浙江	一	約一〇,〇〇〇	玻璃器皿、藥瓶等

全國陶磁器工廠統計

省別	廠數	資本總額	年產量
福建	一	五,〇〇〇	ホヤ、コップ等
廣東	七	未詳	ホヤ、瓶壺等
四川	二	約六〇,〇〇〇	カップ、玻璃瓦等
雲南	一	一〇,〇〇〇	玻璃燈器
湖南	七	未詳	玻璃燈器等
安徽	一	未詳	瓶燈料器
河南	二	未詳	玻璃器皿
山東	三	三、四四〇〇	瓶燈料器
河北	九	一、五二一,〇〇〇	ホヤ、カップ、板玻璃等、 玻璃瓶、ホヤ、板玻璃等
江蘇	三	一、九五八,八九元	—
河南	一〇	七〇,〇〇〇	—
四川	九	六八七,〇〇〇兩	—
江蘇	四	一、三二〇,〇〇〇	—
廣東	三	未詳	—
湖南	二	未詳	—
福建	一	一、一〇〇,〇〇〇	—

全國皮革廠及出品數量統計

省別	廠數	資本總額	出品數量
山東	一	二七,〇〇〇	一五七、六〇〇張
山西	一	一〇,〇〇〇	一、一五七、〇〇〇張
江蘇	三	—	一、一五七、〇〇〇張
河北	三	—	一、一五七、〇〇〇張
廣東	九	—	一、一五七、〇〇〇張
山東	八	—	一、一五七、〇〇〇張
山西	七	—	一、一五七、〇〇〇張
雲南	七	—	一、一五七、〇〇〇張
福建	六	—	一、一五七、〇〇〇張
四川	六	—	一、一五七、〇〇〇張
河南	四	—	一、一五七、〇〇〇張
浙江	三	—	一、一五七、〇〇〇張
湖北	二	—	一、一五七、〇〇〇張

(國際貿易局調查)

全國燐寸工場數

(廿一年十一月調查)

山東	一九	廣東	一六
江蘇	九	河北	五

浙江	四	四川	一	江西	一	安徽	一
河南	六二	湖北	一	山西	一		

全國油漆廠一覽 (二十一年十月工商部半月刊)

廠名	資本額	商標	成立年月	所在地
振華油漆有限公司	二〇〇,〇〇〇元	商標	民國六年	上海
開林油漆有限公司	七五,〇〇〇	飛虎	民國四年	上海
永固油漆有限公司	一〇〇,〇〇〇	雙斧	民國十六年	上海
永華製漆有限公司	二六,〇〇〇	醒獅	民國十八年	上海
萬里油漆廠	二〇,〇〇〇	帆船	民國二十一年	上海
元豐油漆廠		元豐	民國二十一年	上海
東方油漆廠		飛龍	民國十九年	天津
中國油漆公司		飛龍	民國二十年	天津
永明油漆廠		飛龍	民國十五年	北平
永華油漆廠		飛龍	民國十七年	漢口
建華油漆公司		飛龍	民國二十年	重慶

全國新式製糖工廠概況 (二十一年五月天津商品檢驗局季刊)

廠名	所在地	創立期	資本主	資本額	能力	種類
怡和精糖公司	香港	一八七八	英商	二千萬元	二四〇噸	精糖
太古精糖公司	香港	一八九四	英商	二十萬磅	四〇〇	精糖
明華糖廠	上海	一九二一	日商	未詳	二〇〇	精糖
濟南製糖公司	濟南	一九二一	中日合辦	五百萬元	五〇〇	甜糖
民國製糖公司	上海	一九二四	華商	一千萬元	二〇〇	甜糖

全國砂糖生產量概數

(二十一年度天津商品檢驗局調查)

省別	產量 (單位千擔)	種類
廣東省	五〇〇	赤糖
江西省	三〇〇	赤糖
廣西省	二〇〇	赤糖
福建省	一五〇	赤糖
合計	三八五〇	赤糖

鑛

業

中國の鑛業がどの程度に進歩してゐるか... 鑛業法第九條の規定に鐵鑛、石油鑛、銅鑛及び石炭鑛は國營に歸せしめ、國家自ら採掘を行ふとある。

ば、外資によつて經營されつゝある鑛業(例へば大冶鑛業の如き)を國營化の美名のもとに回收せんとしつゝある意圖も見られないではない。

開港(中英合辦)——漢冶萍(日本の借款による)——魯大(中日合辦)——中原(中英合辦)——臨城(中國官商合辦)等の五大鑛業が何れも外國との間に條約による關係を有するのでこれを整理すべくやつきとなつてゐる。

國民政府としてはそれぞれ整理委員會乃至研究委員會を組織して回收し國營化せんとしてゐるのであるが、政府が財政的に行詰つてゐること、共產軍討伐、北支の雜軍整理、水害救濟等の緊急事業に熱中せざるを得ないため、委員會は未だに第一回會合すらしてゐないが、何年か先きにしもしくは永久的であるかも知れないけれど、内治外交に一段落がつく場合がありとすれば、この思想は再燃の可能性充分である。

尤も鑛業が外國資本を拒絶して果して中國制資本のみで維持できるや否やはまた別問題に屬する。或ひは日炭排斥、あるひは國炭需要のスローガンを掲げて國炭獎勵を委員會によつて刺激を與へてゐるとはいへ、三、五年や五年で中國の各種鑛業が外貨並びに外國資本を根こそぎ排除するまでには行かないと見るのがまづ公平なところであらう。

最近六年間全國重要鑛產額

Table with columns for years (15-17, 18-20) and minerals (石炭, 鐵鑛, 錫, etc.) and values. Includes a note '(單位噸)'.

最近三年全國鑛產額分類統計

實業部地質調查所調查

鑛產別	年度			河北	山西	河南	山東	江蘇	安徽	浙江
	十八年	十九年	二十年							
鐵鑛	180,000	180,000	180,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
石炭	6,333,911	7,333,721	7,333,721	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
石灰	7,000,000	7,000,000	7,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
陶土	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
岩鹽	11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000
硫黃	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000

(續)

鑛產別	年度			江西	湖北	湖南	福建	廣東	廣西
	十八年	十九年	二十年						
硝石	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
明礬	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
磷鑛	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
石英岩及石英砂	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
鐵鑛	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600

石 膏			石 灰			陶 土			石 炭			銀			金			モア ニ ナ		
二十	十九	十八	二十	十九	十八	二十	十九	十八	二十	十九	十八	二十	十九	十八	二十	十九	十八	二十	十九	十八
17000	1110	1338	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000
100	120	120	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000
100	120	120	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000	120000

水 銀			酸 化 砒			着 鉛			ス タ テ ン グ			錫 鑛			亞 鉛			鉛 鑛		
二十	十九	十八	二十	十九	十八	二十	十九	十八	二十	十九	十八	二十	十九	十八	二十	十九	十八	二十	十九	十八
3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

礦産別年度	鐵			石 灰	石 炭			モア ニソ イチ			錫		
	十八年	十九年	二十年		十八年	十九年	二十年	十八年	十九年	二十年	十八年	十九年	二十年
遠	×	×	×	100,000	110,000	110,000	110,000	210	310	510	550	570	
陝西	×	×	×	15,000	15,000	15,000	15,000	28,570	33,730	26,570	17,000	17,000	
甘肅	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	
四川	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	
新疆	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	

七

礦産別年度	鐵	磷			螢			明			硝			硫		
		二十	十九	十八	二十	十九	十八	二十	十九	十八	二十	十九	十八	二十	十九	十八
雲南	15,000	11,000	15,000	8,000	8,000	7,500	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
貴州	17,000	17,000	16,900	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
ニアル ムミ	17,000	17,000	17,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
雲南	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
貴州	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000

七〇

石炭 石油 陶土 岩鹽 銅

石炭	石油	陶土	岩鹽	銅
十八年	十八年	十八年	十八年	十八年
十九年	十九年	十九年	十九年	十九年
二十年	二十年	二十年	二十年	二十年

満俺、亞鉛、鉛礦、銅礦、錫礦、タンクステン礦、若鉛、銅礦、酸化砒、水銀、アンチモニー、金、銀、石油、石棉、滑石、石膏、螢石、マグネシウム礦、石灰岩、石灰、硫磺、硝石等の礦物は大体において各省とも若干産額あるも數字明らかならず略す。

一、礦區

全國礦區及稅銀統計(實業部最近調査)

六年以上採礦區 五、九七八、一三一
五年以上採礦區 八、九八、八八四

公敵

探礦區

探礦區	計
二、稅銀	計
六年以上稅銀	四八八、六一二・一〇
五年以內稅銀	七、三六五、六二七・一〇
探礦稅銀	計
合計	四一四、七三〇・五五

全國礦區面積一覽(農礦部調査)

省別	金屬礦面積	非金屬礦面積	總計
河北	四、八八三	四、六一五	九、〇〇〇
安徽	三、三三三	二、三三三	五、六六六
湖南	三、三三三	二、三三三	五、六六六
雲南	三、三三三	二、三三三	五、六六六
廣西	一、八六六	一、八六六	三、七三二
浙江	一、七三六	一、七三六	三、四七二
福建	一、四九八	一、四九八	二、九九六
湖北	一、〇九二	一、〇九二	二、一八四
廣東	八四九八	一、五三六	一〇、〇三四
江西	七二六八	一、二三四	八、五〇二
河南	六七三三	一、二三四	七、九六七

國資及外資炭坑歷年産額比較

(農礦部調査)

種類	十五年	十六年	十七年
資本種	十五	十六	十七
外資礦業	一、〇七三・三七	一、〇七三・三七	一、〇七三・三七
國資大礦	三、三三三・七四	三、三三三・七四	三、三三三・七四
國資小礦	一、四一五	一、四一五	一、四一五
較確産額	五、七八八・〇八	五、七八八・〇八	五、七八八・〇八
約計産額	二、四一七	二、四一七	二、四一七
合計	一、九七〇・〇〇〇	一、九七〇・〇〇〇	一、九七〇・〇〇〇

合計產額 三,040,219 二,717,106 三,509,170
 割合 100 100 100

各省炭坑面積貯藏量及產額統計

(農礦部調査)

省別	面積(畝)	儲量(兆噸)	產量(噸)	
			十六年	十七年
河北	四,076	三,071	五,283,719	六,355,600
山東	四,755	一,659	一,230,015	一,257,418
山西	二,619	二,713	一,777,616	一,299,533
河南	一,359	八,187	一,012,480	一,310,101
安徽	一,319	三,377	二,647,211	二,011,917
江西	二,184	九,551	六,901,191	六,717,375
四川	五,610	10,000	1,000,000	1,000,000
湖北	五,041	四,000	三,063,818	三,791,111
浙江	五,175	101	五,000,000	五,000,000
江蘇	三,515	二,371	九,553,371	一,747,717
雲南	三,916	五,000	二,107,000	二,107,000
廣東	九,899	三,000	一,507,000	一,507,000
廣西	八,812	三,000	九,000,000	一,100,000
湖南	八,915	四,818	九,000,000	一,100,000
察哈爾				

全國各炭坑每日生產能力統計

(工商半月刊)(五百噸以內者未列入)

省別	炭坑名	現在產量	最大產量
福建	七八二	三五	100,000
廣西	五二七	五〇〇	50,000
廣西	三五三	100	100,000
廣西	二八八	100	100,000
陝西	七九〇	100,000	100,000
貴州	五,000	110,000	110,000
新疆	六,000	100,000	100,000
湖北	六河	二,500噸	3,000噸
江西	坑名	八〇〇	1,000
安徽	六河	八〇〇	1,000
浙江	怡立	六〇〇	1,000
江蘇	中和里及周家店	六〇〇	1,000
山東	井陘	1,000	3,500
河南	正豐	1,000	2,000
湖北	保豐	1,000	1,000
湖南	中原	1,000	3,500
山西	門頭	五〇〇	2,000
察哈爾	中興	五〇〇	2,000

華東 500 1,000 1,000
 大通及南淮 800 1,000
 淄博章一帶 1,600 3,000
 魯大 1,800 3,000
 開深 1,700 3,000
 柳江及長城 800 400
 湘鄂 500 3,000
 總計 3,590 6,000

全國鐵礦面積貯藏量及產額統計

省別	面積(畝)	貯藏量(千噸)	產額(千噸)
安徽	三,916	一,535	一,111
河南	一,810	二,333	—
福建	三,916	1,000	55
湖南	六,713	740	66
湖北	五,079	三,665	76
江西	四,946	六,880	210
浙江	四,111	—	30
江蘇	三,515	100	0.3
山東	四,755	7100	—
山西	二,619	—	—
河南	一,359	—	—
安徽	一,319	—	—
江西	二,184	—	—
四川	五,610	—	—
湖北	五,041	—	—
浙江	五,175	—	—
江蘇	三,515	—	—
廣東	九,899	—	—
廣西	八,812	—	—
湖南	八,915	—	—
察哈爾	—	—	—

製煉歷年製產表 (華資鐵廠產額)

年份	楊子廠	陽泉廠	合計
一九一八年	—	—	—
一九一九年	—	—	—
一九二〇年	七六四	—	七六四
一九二一年	一,五二四	—	一,五二四
一九二二年	一,五二四	—	一,五二四
一九二三年	停煉	—	—
一九二四年	停煉	—	—
一九二五年	停煉	—	—
一九二六年	七四六	—	七四六
一九二七年	停煉	—	—
一九二八年	五八二	—	五八二

全國各重要鋼鐵廠一覽 (單位千噸)

廠名	全年最高產鐵量	全年最低產鐵量
漢陽(漢冶萍公司)	四,000	2,000
日資關係	七	30

廠名	生鐵	鋼	單位	年份
大冶(同右)	二	一	噸	一九一四年
三廠合計	二〇	七	噸	一九一五年
(中獨合辦)				一九一六年
漢口(六河溝公司)	一	一	噸	一九一七年
石景山(龍烟公司)	一	一	噸	一九一八年
浦東(和興鐵工廠)	二	二	噸	一九一九年
陽泉(保晉公司)	一	一	噸	一九二〇年
高昌廟(上海機器公司)	一	一	噸	一九二一年
太原(育才鋼鐵)	一	一	噸	一九二二年

全國歷年鋼鐵總產額比較 (單位一公噸)

年份	世界總產量	中國總輸出量	中國對世界百分率	湖南總輸出量	湖南對中國百分率	湖南對世界百分率
一九一二年	一七七,九八九	一〇,四〇〇	四八・三	四一,一四八	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇
一九一三年	二六七,五一三	一三,五三〇	五五・八	四三三,八四二	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇
一九一四年	二二,八七八	一九,六四七	八五・七	四〇四,六六八	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇
一九一五年	三七,七七二	二二,三五七	六一・九	四一,一四八	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇
一九一六年	七〇,〇一九	四二,八〇〇	六一・二	四三三,八四二	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇
一九一七年	五四,八七二	二八,四五〇	五二・八	三六九,六一七	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇
一九一八年	二九,七三七	一八,一一〇	六〇・九	三三〇,五二一	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇
一九一九年	一一,〇六三	八,四六六	七〇・二	三三〇,五二一	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇
一九二〇年	一八,二六四	一三,四三二	七三・五	三三〇,五二一	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇
一九二一年	一七,四一〇	一四,六五八	八四・一	三三〇,五二一	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇
一九二二年	一七,七一四	一三,八五八	七八・二	三三〇,五二一	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇
一九二三年	一八,四一六	一四,二四四	七七・四	三三〇,五二一	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇
一九二四年	一八,九六七	一二,八二六	六七・六	三三〇,五二一	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇
一九二五年	二五,七七七	一九,四九六	七七・七	三三〇,五二一	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇
一九二六年	二九,四〇七	二〇,九二六	七一・一	三三〇,五二一	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇
一九二七年	二八,三五五	一七,九八六	六三・五	三三〇,五二一	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇
一九二八年	二八,六〇〇	一九,三二四	六七・六	三三〇,五二一	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇
一九二九年	三一,七五九	二二,四〇一	七〇・六	三三〇,五二一	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇
一九三〇年	一七,四六七	一七,四六七	七〇・六	三三〇,五二一	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇

二十箇年中國鐵產額 二十一年十二月工商半月刊に據る

年份	產額	單位	價格	中國產量百分率
一九一三年	二〇,八六九	噸	九六・八	五〇・二
一九一四年	二二,八七八	噸	九〇・八	五五・三
一九一五年	三七,七七二	噸	九九・〇	六九・六
一九一六年	七〇,〇一九	噸	九七・一	七一・五
一九一七年	五四,八七二	噸	九三・〇	七八・二
一九一八年	二九,七三七	噸	九三・〇	七三・九
一九一九年	一一,〇六三	噸	九四・五	七六・四
一九二〇年	一八,二六四	噸	九八・六	七六・四
一九二一年	一七,四一〇	噸	九九・四	七七・三
一九二二年	一七,七一四	噸	九四・五	七一・六
一九二三年	一八,四一六	噸	九〇・一	六四・一
一九二四年	一八,九六七	噸	九六・一	六一・〇
一九二五年	二五,七七七	噸	九八・三	六六・六
一九二六年	二九,四〇七	噸	九五・四	六六・六
一九二七年	二八,三五五	噸	九七・七	六七・三
一九二八年	二八,六〇〇	噸	九七・七	六七・三
一九二九年	三一,七五九	噸	九七・七	六七・三
一九三〇年	一七,四六七	噸	九七・七	六七・三

中國金屬鑛產の世界金屬鑛產中之地位 (農礦部調査)

鑛產種類	噸數	單價	價格	中國產量百分率
アンチモン	二五,七九〇	三五〇	九,〇二六,五〇〇	七七・〇〇

中國非金屬鑛產の地位 (農礦部調査)

鑛產種類	噸數	單位	價格	中國產量百分率
タンガステン	一三,〇〇〇		一三,〇〇〇,〇〇〇	六四・三〇
錫	五六〇		三,七五〇,〇〇〇	一九・〇〇
マクネシウム	一六五,〇〇〇		三六三,〇〇〇,〇〇〇	六・〇〇
鉛	四五〇,〇〇〇		六,七五〇,〇〇〇	四・〇〇
銀	一,八〇〇,〇〇〇		七二,〇〇〇,〇〇〇	三・九〇
水	四,〇〇〇		一二,九二〇,〇〇〇	一・八〇
鐵	八四,〇〇〇,〇〇〇		七六五,四〇三,六〇〇	〇・五三
銅	一,六二〇,〇〇〇		四,二〇〇,〇〇〇,〇〇〇	〇・五〇
亜鉛	一,〇五〇,〇〇〇		五一八,四〇〇,〇〇〇	〇・〇九
錳	一,五一一,〇〇〇		三六七,五〇〇,〇〇〇	〇・〇九
錳	一,五一一,〇〇〇		一,〇一五,〇五〇,〇〇〇	〇・〇二
錳	二〇八,六七八,〇〇〇(二)		二七一,二八一,四〇〇	〇・〇二
食鹽	一八,〇〇〇,〇〇〇	噸	一八〇,〇〇〇,〇〇〇	一二・四〇
滑石	三〇〇,〇〇〇		六,〇〇〇,〇〇〇	七・六〇
砒	三五,〇〇〇		一〇,五〇〇,〇〇〇	七・〇〇
曹達	一,六〇〇,〇〇〇		八〇,〇〇〇,〇〇〇	四・五〇
曹達	二〇〇,〇〇〇		四,〇〇〇,〇〇〇	一・七〇
曹達	一,四七五,〇〇〇,〇〇〇		八一一,八〇〇,〇〇〇,〇〇〇	一・六〇

最近一年間實業部認可採鑛權一覽

自二十年十一月
至二十一年五月

鑛業權者	鑛區所在地	鑛別	鑛區面積	權利者	所在地	面積	鑛種	面積
宜興公司	湖南資興	タンガス	二十六公頃九十七公畝	游祥公司	同新化	アンチモニ	一公頃	一公畝
李子餘	同資興	錫鉛	五公頃二十八公畝	致富公司	同新化	アンチモニ	一公頃四十九公畝	
學而公司	同資興	錫鉛	四八頃七十九公畝	劉夫植	同新化	アンチモニ	三公頃	十三公畝
凌家權	同資興	錫鉛	四十八公畝	謝錫吾	同資興	石炭	十八公頃	十二公畝
永福公司	同資興	錫鉛	九十九公畝	賀一公司	同資興	石炭	四十四公頃七十八公畝	
楊來興	同資興	錫鉛	四十八公畝	朱洪明	同資興	石炭	一公頃三十二公畝	
鄒家壽	同資興	錫鉛	九十九公畝	益善公司	同資興	石炭	十八公頃三十七公畝	
天絲公司	同資興	錫鉛	九十九公畝	劉先慎	同資興	石炭	十七公頃二十六公畝	
蕭網寰	同資興	錫鉛	二十三公畝	民權公司	同資興	石炭	十七公頃	四公畝
光大公司	同資興	錫鉛	二十三公畝	易鈞鴻	同資興	石炭	二十七公頃	
蕭湘柱	同資興	錫鉛	十六公頃	積華公司	同資興	石炭	二十七公頃	
卓湘公司	同資興	錫鉛	九十九公畝	廖炳炎	同資興	石炭	二十七公頃	
楊道馨	同資興	錫鉛	九十九公畝	李瑞公司	同資興	石炭	二十七公頃	
				王佩初	同資興	石炭	十七公頃	

鑫富公司	同新化	アンチモニ	五公頃二十一公畝
凌光樓	同新化	アンチモニ	一公頃 二十公畝
三益公司	同新化	アンチモニ	一公頃 十七公畝
劉紹烈	同新化	アンチモニ	五十公畝
美利言公司	同新化	アンチモニ	三公頃 十三公畝
劉紹烈	同新化	アンチモニ	七十一公畝
劉紹烈	同新化	アンチモニ	六十五公頃九十二公畝
寶興公司	同新化	アンチモニ	二十公頃三十四公畝
李慶熙	同新化	アンチモニ	四公頃六十三公畝
李慶熙	同新化	アンチモニ	一百五十七公頃十二公畝
李慶熙	同新化	アンチモニ	八十五公頃三十六公畝
李慶熙	同新化	アンチモニ	六十二公頃 一公畝
李慶熙	同新化	アンチモニ	四十三公頃 六十公畝
李慶熙	同新化	アンチモニ	十五公頃 七公畝

何紹韓	浙江新昌東陽	螢石	五公頃六十四公畝
何紹韓	同金華	螢石	四公頃八十三公畝
何紹韓	同新昌	螢石	三公頃五十二公畝
丁大年	同富陽	亞鉛	三公頃八十三公畝
揚經田	雲南宜良縣	石炭	十七公頃七十九公畝
華利煤礦公司	江蘇江寧縣	石炭	十七公頃三十六公畝
毛毓漢	江西豐城縣	石炭	十六公頃九十一公畝
張鋼	河南陝縣	石炭	三百零三公頃三十公畝五十五公畝
陶閣士	四川巴縣	石炭	二十二公頃 十二公畝

最近一年間探鑛權一覽表

註一公畝は一エーカー、一公頃は二百公畝

自二十一年十一月至二十一年五月
續區面積

湖北民營鑛業表

縣名	鑛質種類	或探	鑛區所在地	鑛權者	認可年月	續區面積	備註
武昌	煤	探	武昌南鄉曹婆山徐家山	晉昌公司	十四、九、一	二、五六八・九九	至二十二年二月十二日小續滿期
			武昌徐家灣土程家山	阮英豪	十七、八、廿三	一、九七二・〇二	至二十二年四月十九日滿期
			周家團毛山嘴脫背山	胡少民	十七、八、廿八	二、六〇八・四四	至二十二年五月二十九日小續滿期
			武昌南鄉仙人山欄木橋	裕興公司	十八、一、十二	一、六五八・八八	
			武昌南鄉一里青山嘴	周樹堂	十九、二、十二	一九〇・四六	
			武昌南鄉馬鞍山楊家山	阮光傑	十九、四、十九	二五八・六七	
			武昌南鄉新市太古墩	楊樹那	十九、五、廿九	一、四二五・四〇	
			武昌南鄉湘東里上海吳	實聲公司	十七、五、十一	二、六六三・四二	
大冶	石炭	探	大冶保安金山堡童子嶺	胡繼安	十七、八、九	九、八一四・三〇	
			大冶關王堡東洞福神墩	協合公司	十六、十二、十八	三、四一六・〇六	
			桂花洞	柯化龍	十七、十二、十	二、二五六・六九	
			大冶黃寺壩三炮山羅漢	羅崇本	十六、四、一	二、〇九五・一〇	
			莊野貓洞	永濟公司	十九、五、廿九	一一、八二八・八六	
			大冶白垩堡羅家山中桐	梅香亭	十六、十、廿一	一、六六八・一〇	
			山甘家山	王野白			
			大冶貓嶺堡山頭圍墩	厚生公司			
			大冶關三堡株連嘴伏虎	利華公司			
			山蚌蚌嘴向和堡羊古山	王野白			
			大冶白垩堡紗帽林等處	共濟公司			
				汪相章			

石炭探	大冶關王堡威家灣金竹	華福公司	十六、四、一、	二、〇八六・五〇	至二十二年四月十一日小續滿期
石炭探	大冶關王堡黃青歷大眾	陳和公司	十六、四、一、	三、一五五・八〇	
石炭探	大冶關王堡高馬鞍山	周宗公司	十六、四、一、	二、三五三・一五	至二十二年四月十一日小續滿期
石炭探	大冶東鄉石灰堡桐子包	富源公司	十三、十、廿、	三、二八八・二〇	
石炭探	大冶金山下半堡仙人打	富源公司	十六、六、廿七、	二八、七六八・九七	至二十二年四月十一日小續滿期
石炭探	大冶官山頂王家幻木魚山	陶相	十六、三、廿、	二八、七六八・九七	
石炭探	大冶關王堡大路溝	富源公司	十四、三、一、	一〇、六七六・二四	至二十二年四月十一日小續滿期
石炭探	大冶向和堡鷹柯山蜡燭	徐瀛洲	十七、八、三十、	六、四二六・六二	
石炭探	大冶龍頭山麓溜尖	羅世英	十八、四、三、	五八六・一四	至二十二年四月十一日小續滿期
石炭探	大冶楓樹堡茅窩煤炭山	劉洪甫	十八、五、六、	二、九四九・一二	
石炭探	大冶申明堡新山鷹嘴岩	李利	十六、十二、十三、	一、九三四・八一	至二十二年四月十一日小續滿期
石炭探	大冶關王堡李路溝等處	興華公司	十六、四、一、	一、七〇一・五二	
石炭探	大冶關王堡倪家山桐梓	惠通公司	十九、四、三、	二、〇四三・四九	至二十二年四月十一日小續滿期
石炭探	大冶白坎堡巴古山竹葉	汪樹屏	十四、九、六、	一、八一八・六二	
石炭探	大冶白坎堡大王山細王	李慶字	十九、四、十一、	三、七四・七二	至二十二年四月十一日小續滿期
石炭探	大冶七萬堡四壁高頭股	周華利公司	十九、四、十一、	一、五六三・六五	
石炭探	大冶第九區山陽灣館山	解震時	十九、四、三十、	四、三六六・三六	至二十二年四月十一日小續滿期
石炭探	大冶黃思堡桂枝岩荔子	黃榮聲			

陽新

石炭探	大冶關王堡龜山下梨園	利裕公司	十九、五、八、	一、八二二・七四	至二十二年八月十二日小續滿期
石炭探	大冶楓樹堡十五把刀	曹夏臣	十五、三、五、	六、四七三・一三	
石炭探	大冶白坎堡徐家大山廬	葉大年	十五、八、十五、	三、三二二・六八	至二十一年十一月廿四日探續滿期
石炭探	大冶陽武山煤炭嶺馬水	同益公司	廿一、七、七、	二、一四二・五三	
石炭探	大冶徐家壩三斗窩羅羅	羅立三	十九、八、十二、	一、二七六・一一	至二十一年八月七日滿期
石炭探	大冶東鄉游家坳	李潔清	十九、十一、廿四、	一、七三一・八九	
石炭探	大冶袁湖堡羊角瑞陳家	范潔清	七、九、廿八、	二、九二八・八五	至二十一年二月九日小續滿期
石炭探	大冶陳家山田家山	寶源公司	十七、六、五、	三、八八七・六八	
石炭探	陽新李家灣獅子山土地	福東公司	十四、二、十五、	六、七六四・五四	至二十一年八月七日滿期
石炭探	陽新木閣銅架山草毛山	范阮青	十七、八、七、	一、五六七・二八	
石炭探	陽新福壽鎮夏青灣桐子	開泰公司	十八、四、九、	二、五二・七〇	至二十一年二月九日小續滿期
石炭探	陽新下遷里老屋基坎上	邵逸周	十三、十、一、	一、七三八・七五	
紅土探	陽新南鄉石角南嶺瑞	協濟公司	十八、二、九、	二、八四・四七	至二十一年二月九日小續滿期
石炭探	陽新寶塘鄉泉塘	王會	十三、十、一、	一、六八一・〇〇	
石炭探	陽新善福里禹門山七約	裕利公司	六、十二、十、	一、六七七・三一	至二十一年二月九日小續滿期
石炭探	陽新漳源口章山	熊樹助	八、二、廿二、	一、二三二・四八	
石炭探	陽新沙池口	陶照			至二十一年二月九日小續滿期
銅探	陽新養義里銅礦寺	寶源公司			

銅 探	陽新北郷長樂園上平樂里洪李田山	寶源公司	五、四、廿六、	三、〇五九・七一
銅 探	陽新北郷大箕舖熊饒山	寶源公司	八、十一、十七、	一、七二〇・三二
鉛 探	陽新富池鎮封三洞	寶源公司	八、十一、六、	一、六一八・六二
石炭 探	宜都文華鄉洞河江家灣	劉西伯	九、六、三、	二、四六六・八二
石炭 探	宜都文華鄉鄭家瑞	信義公司	八、七、二、	四、九一五・二〇
石炭 探	宜都紅岩鄉東坡瑞士耳	福森公司	十四、八、一、	一、八四六・二七
石炭 探	潭火石幻	祝鎮選	十九、四、三十、	二、〇一一・五五
石炭 探	荆門雙河口洞溝山	陳慶光	十三、九、一四、	二、七〇三・三六
石炭 探	當陽第九區觀音寺和尚坡	劉朝觀	十三、二、廿六、	二、三一二・九一
石炭 探	當陽崔家溝	向直臣	十七、九、廿五、	一、七〇八・〇三
石炭 探	崇陽三山堡獅形山燈臺	寶興公司	十八、五、一、	三、一七四・四二
石炭 探	高	丁兆松	十八、五、四、	一、二二二・二一
石炭 探	折春永衛鄉上經堡等處	大道公司	十三、九、十、	一、八三三・〇六
石炭 探	折春安平鄉葉家山李家山	王國培	十二、五、十一、	三、八一三・九五
石炭 探	鄂城桃花溝	鄂城鐵礦公司	五、十二、十八、	九六〇・三〇
鐵 探	鄂城西山電山	王遇甲		
銅 探	竹山豐石洞	大成公司		
	興華公司	承李宗		

なほ中國における鑛業の研究所及び指導所は次の七ヶ所である。

中央採鑛所	南 京	鑛業指導所	南 京
地質調査所	北 平	地震研究室	北 平
化石研究室	北 平	鑛產品陳列所	南 京
		燃料研究室	北 平

支那新憲法草案全文

國民政府は昨年第三次中央全體會議の決議に依り民國二十四年國民大會を開き憲政時期に入ることを決定し、爾來立法院に憲法起草委員會を組織し、鋭意草案作成中の處、過般完稿したるを以て、去る五月一日其の根本原則を發表し、更に六月八日起草委員吳經熊氏の名を以つて私案の形式で同草案全文を公表し、國內各方面の批判を求めつゝあるが、同委員會に於ては世論の大勢に鑑み、更に再議し、本年十二月一日開會せらるゝ國民大會に報告せらるゝ答である。因に同全文の内容は左の通りである。

中華國民憲法
第一編總則△第二編民族、第一章民族の擁護、第二章民族の培養、△第三

編民權、第一章人民の權利義務、第二章國民大會、第三章中央政制、第一節國民政府、第二節總統、第三節立法院第四節行政院、第五節司法院、第六節考試院、第七節監察院、第四章地方政制、第一節省、第二節縣、第三節市、第五章中央と地方との關係、第六章財政及び財政監督△第四編民生、第一章國民生計、第二章國民教育△第五編憲法の保障

第一編 總 則

第一條 中華民國は三民主義共和國とす

第二條 中華民國の主權は人民全體に屬す

第三條 中華民國の國籍を有する者は

中華民國人民とす

第四條 中華民國人民は男女、種族、宗教、階級、職業の區別なく法律上一律平等とす

第五條 中華民國の領土はその固有の疆域に依る

第六條 中華民國の領土は國民大會の議決を経るに非ざれば變更することを得ず

第七條 中華民國の國都は南京に定む

第八條 中華民國國旗は紅地に左上角青天白日と定む

第九條 國內各民族は均しく中華民族の構成分子とし政治上一律に平等とす

第十條 中華民族は正義と和平を本となす但し國外侵略強權に對しては政府は之を抵禦すべし

第十一條 他國が武力を以て中華民國の土地を侵略し講和或は和平條約の

第二編 民 族

第一章 民族の擁護

第九條 國內各民族は均しく中華民族の構成分子とし政治上一律に平等とす

第十條 中華民族は正義と和平を本となす但し國外侵略強權に對しては政府は之を抵禦すべし

第十一條 他國が武力を以て中華民國の土地を侵略し講和或は和平條約の

第三編 民 權

第一章 人民の權利義務

第二十三條 人民は法律により選舉、罷免、創制、覆決を行使する權利を有す

第二十四條 人民は身體の自由を有す法律に依るに非らざれば逮捕、拘禁、審問、處罰をするを得ず、人民にして犯罪嫌疑により逮捕拘禁されたる者には執行機關は遅くとも二十四時間内に執行原因を其本人或は其關係人に通知し法院に移送して審問し、本人或は其關係人も亦該法院に二十四時間以内に執行機關に提審を請求するを得

法院は前項の請求を拒絶するを得ず執行機關は法院の提審に對しては之を拒絶するを得ず、前三項の規定に違反せる者は均しく私禁を以て罪を論じ且つ損害賠償の責任を負ふものとす

訂正によつて之を割讓するを得す
第十二條 秘密條約は民族主義の容るゝところに非ず故に無効とす

第十三條 中華民國と各友邦の條約締結は國際平等主權に基きこの原則に違反するものは法を設けて修正或は之を廢除すべし

第十四條 國際法公認の規定にして本憲法の精神に背せざるものは中華民國法律と同等の效力を有するものと看做す

第十五條 國內弱小民族は之を扶植し自治實行の能力を發展の機會を與ふ
第十六條 國外居留の中華民族は國家に於てその事情に依りてこれを保護並に扶植す

第二章 民族の培養

第十七條 婚姻は民族發達の基礎にしてまさに國家の保護を受くべし、男女兩性は平等互助の精神に基き共に家庭の幸福を謀るべし、精神病患者

及び其他遺傳性の惡疾者は民族及び社會を害するの危險あるにつき法律を以て婚姻を禁止し、或はその出生を防止するを得

第十八條 婦人は出産の前後は國家より家庭の環境、身體の狀況に應じて相當の保護を與ふべし

第十九條 未成年の男女には國家がその智識程度、身體の狀況に應じて必要なる保護を與ふべし

第二十條 私生子(非婚生子)は應に國家之を保護し嫡子と同様の生存及び能力發展の均等なる機會を與ふべし

第二十一條 民族の地位向上は教育に賴る、父母たるものは其子女の德智體三育に注意すべし、父母に孝敬するものは之を遵守すべし

第二十二條 歴史文化藝術に關する古蹟古物は國家これを保護或は保存すべし

に非らざれば之を封査或は沒收するを得す

第三十三條 人民の財産は公共利益の必要により法律によつて之を徵用或は徵收することを得、但し豫め相當の補償をなすべし

第三十四條 人民は法律に依り請願、訴訟及び行政訴訟、民事訴訟、刑事訴訟を爲すの權利を有す

國家は人民の正義伸張を扶助する見地より法律專員を設け訴訟手續及び出廷辯護の指導をなすことを得、國家は人民の權利を鞏固にし人民の訴訟を減少する見地より公證人を設け公證制度を厲行す

第三十五條 人民は法律により考試に應ずる權を有す

第三十六條 人民は法律により財政を監督するの權を有す

第三十七條 中華民國人民の權利にして本章規定以外のものは本憲法の原

則に違背せざる限り總て之を承認す

第三十八條 本章前列各條に謂ふ人民の自由或は權利を制限する法律は公共利益を維持し或は緊急危難を避免する必要があるに非らざれば制定するを得ず

其必要の程度を超過するもの亦同じ
第三十九條 戒嚴の法律は公共利益の維持或は緊急危難を避免する必要の程度を超過するものは無効とす、戒嚴の宣告は正に立法院の同意を得べし、若し緊急なる時には宣告後之れを通告することを得、但し立法院異議を表示するときは撤銷すべし

第四十條 人民は法律により納税の義務を有す

第四十一條 人民は法律により兵役に服するの義務を有す

第四十二條 人民は法律により公務に服するの義務を有す、公務員は國家より豫め保障す

第二十五條 人民は現役軍人以外は軍人裁判を受けず

第二十六條 人民は居住の自由を有し其住所は法律に依るに非らざれば侵入、搜索或は封鎖するを得ず

第二十七條 人民は遷徙の自由を有し法律に依るに非らざれば之を停止或は制限するを得ず

第二十八條 人民は集會結社の自由を有し法律に依るに非らざれば之を停止或は制限するを得ず

第二十九條 人民は秘密通信、通電の自由を有し法律に依るに非らざれば之を停止或は制限するを得ず

第三十條 人民は言論、著作及び出版の自由を有し法律に依るに非らざれば之を停止或は制限するを得ず

第三十一條 人民は宗教信仰の自由を有し法律に依るに非らざれば之に制限を加ふることを得ず

第三十二條 人民の財産は法律に依る

第二章 國民大會

第四十三條 中華民國國民大會は左の方法を以て代表を選出し之を組織す

- 一、縣選舉は毎縣及び其同等區域より代表一人を選出す、但し人口百萬を超過するものは代表一人を増す
- 二、市選舉は市人口三十萬人毎に代表一人を選出す

第四十四條 國民大會代表の選舉は普通平等直接の方法を以て之を行ふ

第四十五條 中華民國人民にして年齢二十歳以上のものは代表被選舉權を有す

第四十六條 國民大會代表の選舉法は別に之を定む

第四十七條 國民大會代表の任期は三年とし毎回常會開會前六箇月之を選定す

第四十八條 國民大會は三年毎の三月一日一回集會し集會期は一箇月とす

但し左の事情あるときは臨時開會することを得

- 一、國民代表三分の一以上聯名にて通告したるとき
- 二、國民政府の召集せるとき
- 第四十九條 國民大會の主席は代表中より之を互選す

第五十條 國民大會代表の職務は次回常會の前一日之を解除す

第五十一條 國民大會の職權は左の如し

- 一、總統、副總統、立法委員、監察委員、司法院院長、副院長、考試院院長、副院長の選舉及び罷免
- 二、國民政府の其他の公務員の罷免
- 三、立法院に法律案の提出
- 四、立法院にて制定せる法律の覆決
- 五、憲法の採擇施行及び修正の決定
- 六、人民の請願の受理
- 七、國民政府の治政報告の審査
- 八、國民政府より解決を求められたる事項の解決

四

九、國家大政方針に對し意見の提出

- 十、國民政府に對し質問の提出
- 國民大會は前項第五款の職權に對しては全體代表三分の二出席し出席代表三分の二の同意を得始めて行使することを得

第五十二條 國民大會の議決は左の事項に涉るを得す

- 一、國體の變更
- 二、主權の移轉

第五十三條 國民代表は其代表する縣或は市多數人民の意見により議案を國民大會に提出する義務を有す

第五十四條 國民代表職務を爲さざるときは原選舉區域は隨時其代表資格を撤消することを得、其手續順序は別に法律を以て之を定む

第五十五條 國民代表は會議に於て爲せる言論及び表決に就ては對外には責任を負はず

第五十六條 國民代表は現行犯内亂犯を除く外會期中國民大會の許可を経るに非ざれば之を逮捕或は監禁することを得ず

第五十七條 國民代表大會の組織法は別に之を定む

第三章 中央政制

第一節 國民政府

第五十八條 國民政府は總統及び立法行政、司法、監察、考試の五院を以て之を組織す

第五十九條 國民政府は國民大會に對し直接その責任を負ふ

第六十條 國民政府は總統を以て對内對外の代表とす

第六十一條 國民政府の國務會議は總統及び五院長を以て之を組織し總統を以て主席となす、行政院各部長、各委員會委員長、立法院各委員會委員長は各該委員長の提議に依り國務會議に列席することを得

第六十二條 左の性質を具ふる事項は國務會議に於て之を解消す

- 一、二院以上に共同或は牽連關係あるもの
- 二、二院以上の合作或は互助を必要とするもの
- 三、院と院の間にて解決し難きもの
- 四、簡任以上の公務員の任命に關するもの
- 五、其他法律に依り國務會議にて解決するもの

第六十三條 法律の公布は總統國民政府の名義を以て之を行ふ

第六十四條 國民政府の命令發布は總統法に依り署名し主管院長之に副署す

第六十五條 五院長は總て法に依り命令を發布することを得

第六十六條 國民政府は豫算決算を編成し會計統計を統一す

第六十七條 薦任以上の公務員は該各

長官より國民政府に提議し之を任命す

第六十八條 國民政府組織法は別に之を定む

第二節 總統

第六十九條 中華民國人にして年齢滿三十五歳以上にして完全に公民權を享有するものは總統に選舉さるゝことを得

第七十條 總統の選舉は次の原則に依るべく其詳細は法律を以て之を定む

- 一、國民代表二百人或は省民代表三百人或は五省以上の法定團體より國民大會に提名し總統の初選候補人を選舉す
- 二、初選候補人は國事につき改革の意見書を國民大會に提出すべし
- 三、國民大會の初選を経たる後得票最高點より六名を決選候補人となす

第七十一條 決選のとき得票最多數な

るものを以て當選とし總統となる、
 次敷なるものを副總統とす票數相同
 じきときは國民大會にて之を復決す
 第七十二條 總統と副總統との任期は
 何れも六年とし連任するを得ず
 第七十三條 總統事故により視事する
 能はざるときは副總統其職權を代行
 す、總統副總統俱に視事する能はざ
 るときは行政院院長其職權を代行す
 第七十四條 總統は任期満ちたる日解
 職するものとす 若し次任總統尙ほ
 選出されざるか或は選出後就職せず
 次任副總統亦代理をなす能はざるこ
 きは現任副總統暫く代理す、現任副
 總統亦缺くるときは行政院院長暫く
 代理す
 前條及び本條の規定に依り行政院院
 長總統の職權を代行するときは其期
 間四箇月を越ゆることを得ず
 第七十五條 總統は中華民國海陸空軍
 大元帥と爲し海陸空軍を統率す

第七十六條 總統は國民政府を代表し
 對外に宣戰或は媾和を立法院の決議
 に依り行ふ
 第七十七條 總統は國民政府を代表し
 外國と條約或は協定を締結す、但し
 立法院の同意を経るに非らざればそ
 の效力を生ぜず
 第七十八條 總統は行政院所轄事項に
 つき行政院院長と共に國民大會に對
 し連帶責任を負ふ
 第七十九條 總統は内亂或は外患罪を
 除くの外犯罪につき罷免或は解職さ
 る、に非らざれば刑事上の訴究を受
 けず
 第八十條 總統副總統の歳俸は法律を
 以て之を定む
 第三節 立法院
 第八十一條 立法院は國民政府最高の
 立法機關とす
 第八十二條 立法院は院長、副院長各
 一人を設け立法委員より之を互選す

第八十三條 立法院立法委員の定數は
 二百人を越ゆるを得ず、その任期は
 三年とし連選せられたる時は連任す
 ることを得
 第八十四條 立法院開會のときは院長
 を以て之を主席とす
 第八十五條 立法院は法律案、豫算案
 大赦案、宣戰媾和案、條約案及び其
 他重要國際事項に關し議決する權を
 有す
 第八十六條 總統及び行政、司法、監
 察、考試各院院長は立法院に向つて
 法律案を提出することを得
 第八十七條 總統と五院院長或は二以
 上の院長は立法院にて已に議定せる
 法律案に對して公布前に聯名にて復
 議を要請することを得、立法院にて
 復議後前議を持するときは再交復議
 することを得
 第八十八條 總統及び五院院長、副院
 長、各部會長は立法院に列席發言す

ることを得、但し表決權無きものと
 す

一人を設け總統國民政府に提交し之
 を命ず
 第九十六條 行政院に各部會を設け行
 政職權を分掌す
 第九十七條 行政院各部は部長、次長
 を設け各會には委員長、副委員長各
 一人を設く
 第九十八條 行政院會議は行政院院長
 各部部長、各委員會委員長を以て之
 を組織す、會議のときは行政院院長
 主席となる
 第九十九條 左の事項は行政院會議の
 議決を経べし
 一、立法院に提出する宣戰媾和及び
 條約案
 二、立法院に提出する法律案
 三、行政院所屬の概算案、豫算案の
 擬定及び行政豫算案
 四、行政院所屬薦任以上の公務員の
 任免案
 五、行政院各部にて解決し能はざる

事項
 六、二以上の部に共同或は牽連關係
 ある事項
 七、二以上の部に合作或は互助を必
 要とする事項
 八、國務會議に提交すべき事項
 第一百條 行政院組織法は別に之を定
 む
 第五節 司法院
 第一百一條 司法院は國民政府最高の
 司法機關とす
 第一百二條 司法院に院長、副院長各
 一人を設けその任期三年とす、連選
 せられたる時は連任することを得
 第一百三條 司法院に最高法院及び各
 級法院を設け司法審判事項を掌理す
 專部を設け司法行政事務を掌理す、
 第一百四條 特赦、減刑或は復權事項
 に關しては司法院院長より國民政府
 に要請し議決後之を行ふ
 第一百五條 司法院院長は所屬法院裁

第九十一條 立法院にて議決せる法律
 案は國民政府に送達後十五日以内に
 之を公布すべし
 第九十二條 立法委員は中央政府地方
 政府各機關の職務を兼任することに
 得ず
 第九十三條 立法院組織法は別に之を
 定む
 第四節 行政院
 第九十四條 行政院は國民政府最高の
 行政機關とす
 第九十五條 行政院に院長、副院長各

ることを得、但し表決權無きものと
 す
 第八十九條 立法委員は院内にての言
 論及び表決に就ては對外に責任を負
 はす
 第九十條 立法委員は職務執行のとき
 は現行犯を除く外立法院の許可を得
 るに非らざれば之を逮捕或は監禁す
 ることを得ず
 第九十一條 立法院にて議決せる法律
 案は國民政府に送達後十五日以内に
 之を公布すべし
 第九十二條 立法委員は中央政府地方
 政府各機關の職務を兼任することに
 得ず
 第九十三條 立法院組織法は別に之を
 定む
 第四節 行政院
 第九十四條 行政院は國民政府最高の
 行政機關とす
 第九十五條 行政院に院長、副院長各

七
 七

判の執行を監督す

第一百六條 最高法院は普通法令を統一解釋する權を有す

第一百七條 特別法院は本憲法の許可する所に非らざれば設立することを得ず、但し軍法法院は此限りに非らず

第一百八條 法官は法律に依り獨立審判をなし非法の干渉を受けず

第一百九條 法官は刑罰或は懲戒處分或は禁治産の宣告を受くるに非らざれば免職することを得ず、又法律に依るに非らざれば停職轉任減俸することを得ず

第一百十條 司法院組織法は別に之を定む

第六節 考試院

第一百十一條 考試院は國民政府最高の考試及び詮叙機關とす

第一百十二條 考試院に院長副院長、各一人を設けその任期三年とす連選

せられたる時は連任することを得
第一百十三條 考試院は各部會を設け考試及び詮叙事務を辦理することを得

第一百十四條 左の資格は先づ考試院の考試認定を經べし

一、公務員の任用資格
二、公務員の候選資格

第三、専門職業或は技術員の許可資格
第一百十五條 考試院組織法は別に之を定む

第七節 監察院

第一百十六條 監察院は國民政府最高の彈劾及び審計機關とす

第一百十七條 監察院に院長、副院長各一人を設け監察委員中より之を互選す

第一百十八條 監察委員の人数は五十人を過ぐるを得ず、その任期三年とし連選せられたるときは連任することを得

第一百十九條 監察院に審計部を設け豫算執行及び其他財務事項の事前審計、事後審計及び稽察事務を掌理す

第一百二十條 審計部に部長、次長各一人を設け會計學術並に經驗に富む者を以て之に充て監察院長提請し國民政府之を任命す、其任期は十年とす

第一百二十一條 監察委員は職務執行の時に發したる言論に就ては對外に責任を負はず、但し故意に他人を誣陷したるときは此限りに非らず

第一百二十二條 監察委員は職務執行のときは現行犯を除くの外監察院の許可を經るに非らざれば逮捕或は監禁するを得ず

第一百二十三條 監察委員は中央政府各機關の職務を兼任するを得ず

第一百二十四條 監察院組織法は別に之を定む

第四章 地方政制

第一節 省

第一百二十五條 省に省民代表會を設け全省人民を代表し省政權を行使す
第一百二十六條 省民代表會は全省各市縣參議會より選出したる代表を以て之を組織す

第一百二十七條 省民代表會は毎年八月一日一回集會を行ふ、其會期は一箇月とす、但し左の事情の一あるときは臨時會を開くことを得

一、省民代表三分の一以上の聯名通告
二、國民政府或は省長の召集

第一百二十八條 省民代表會の職權左の如し

- 一、省長、省參議員の選舉
- 二、中央に向ひ省長罷免の提請
- 三、省長に向ひ省政府所屬の公務員罷免の提請
- 四、立法院に向つて提出する法律案

五、立法院に向つて提出する法律覆議案

六、人民の請願の受理

七、省政府の政治報告の審査

八、省政府に對して質問の提出

九、本省と關係ある事項につき中央に向ひ意見を提出

十、其他法律に依り省民代表會の職權範圍内に屬する事項

第一百二十九條 省に省政府を設け省長及び所屬各行政長官を以て之を組織す

第一百三十條 省長は中央の指揮を受け省内の國家行政を執行す

第一百三十一條 省長は省民を代表し省務を處理し全省の縣自治を監察す

第一百三十二條 省長は省民代表會より三人を選舉し國民政府に提請し一人を擇びて之を任命す、任期は三年とし連選せられたる時は二回連任することを得、但し完全なる自治に

達せざる省の省長は國民政府より直接之を任命す

第一百三十三條 省長は省民代表會全體代表三分の二出席し出席代表三分の二の同意を経て中央政府に之が罷免を請ふことを得、中央政府は罷免案につき覆議せしむることを得、若し省民代表會にて覆議後原議を持するときは中央政府は省長を罷免すべし

第一百三十四條 省に省參議會を設け省民代表會より選舉せる省參議員を以て之を組織す

第一百三十五條 省參議の任期は三年とし毎年二分の一を改選し連選せられたるときは連任することを得

第一百三十六條 省參議會の職權左の如し

- 一、省豫算決算及び負債事項の決議
- 二、省單行法規事項の決議
- 三、省政興革事項の建議

四、省長よりの交議事項の審議
五、其他法律により省参議會の議決すべき事項に属するもの

第一百三十七條 省民代表、省長、省参議員の選舉法及び省民代表會、省政府、省参議會の組織法は別に之を定む

第二節 縣

第一百三十八條 縣に縣政府を設け縣長を以て之を組織す、縣長選舉後省長に提請し省長より國民政府に轉交し國民政府之を命す

第一百三十九條 縣長は省政府の指揮を受け全縣政務を綜理し其任期は三年とす、連選せられたる時は連任することを得

第一百四十條 縣に縣参議會を設け縣選舉の縣参議員により之を組織す
第一百四十一條 縣参議員の任期は一年とす、毎年三分の一を解散し連選せられたる時は連任することを得

第一百四十二條 縣参議會の職權左の如し
一、縣豫算決算及び募債事項の議決
二、縣單行法規事項の議決
三、縣政興革事項の建議
四、縣長より交議せられたる事項の審議

五、其他法律により縣参議會の議決すべき事項に属するもの
第一百四十三條 縣民は法律に依り罷免、創制、複決の權を行使することを得

第一百四十四條 縣長縣参議員の選舉法、縣参議會縣政府の組織法は別に之を定む

第三節 市

第一百四十五條 工商繁盛人口集中の地は法律所定の標準に依り市を設くることを得、市は中央政府或は省政府に直隸す
第一百四十六條 市に市政府を設け市

長を以て之を組織す、市長は市民より選舉の後その中央に直隸する市に在りては中央に提請之を任命し、省政府に隸屬する市に在りては省政府に提請し省政府之を任命す

第一百四十七條 市長はその市の隸屬する所を視、中央或は省政府の指揮を受け全市の政務を綜理し其任期は三年とす、連選せられたる時は連任することを得

第一百四十八條 市に市参議會を設け市民より選舉せる市参議會を以て之を組織す

第一百四十九條 市参議員の任期は三年とす、毎年三分の一を改選し連選せられたる時は連任することを得
第一百五十條 市参議會の職權左の如し

一、市の豫算決算及び募債事務の議決
二、市單行法規事項の議決

三、市政興革事項の建議
四、中央或は省政府より交議せられたる事項の審議

五、其他法律により市参議會の議決すべき事項に属するもの

第一百五十一條 第一百四十三條の規定は市にも準用す

第一百五十二條 市長市参議員の選舉法、市政府参議會の組織法は別に之を定む

第五章

中央と地方との關係
第一百五十三條 中央と地方は均權制を採る、凡そ事務にして全國一致の性質を有するものは中央に劃歸し、地方的性質を有するものは地方に劃歸す

第一百五十四條 左の事項は中央にて立法し並に之を執行す

- 一、國籍
- 二、民法、刑法、訴訟法
- 三、司法

四、國防及び軍制
五、外交及び華僑

六、考試
七、度量衡の制定及び其他全國一致にて規定すべき計算制度

八、幣制及び國家銀行
九、國有財産、國稅、國債及び其他中央財政に關係ある事項

十、郵政、電報及び其他國營水、陸、空、交通或は運輸事業
十一、國家工事及び全國の建設に關係ある事項

十二、國營の獨占專賣及び其他國營經濟事業
十三、商標、專賣特許及び其他全國一致にて規定さるべき經濟權利事項

第一百五十五條 左の事項は中央にて立法し中央或は地方にて執行す

- 一、監獄
- 二、戶籍

三、土地制度
四、地方政制

五、教育及び文化
六、移民及び墾殖

七、財政及び財政監督
八、銀行、保險及び其他金融事業

九、衛生、防疫及び醫藥
十、鑛業、林業及び漁業
十一、兩省以上の水産交通及び水利
十二、其他全國一致にて規定すべき事項

第一百五十六條 凡そ前二條に列舉せざる事項は地方にて立法し之を執行す、但し其の性質中央及び地方と關係あるものは中央にて立法執行し或は地方に委託執行するか、或は中央にて原則を規定し地方にて立法執行することを得、唯だ中央未だ表示せざる以前に於ては其管轄權は諸地方に屬す

第一百五十七條 中央は地方の租稅釐

收に對して公益維持或は民生保護の見地より立法手續につき原則を制定し以て遵守に資するを得

第一百五十八條 地方の天然富源、大規模の工商事業にして資力不足し地方にて單獨發展或は振興し能はざるものは中央は協助に盡力すべし、得たる純利は中央と地方政府各半を占む

第一百五十九條 海、陸、空軍は中央に屬し法律に依り之を徵集す、其駐在地は國防地帯に限る、地方政府は軍隊を割し軍官學校及び軍機製造廠を設立するを得ず但し地方治安維持の爲め警備隊を設くることを得、中央は對外戰爭を除く外各省警備隊を調遣するを得ず、各省は自力にて内亂を平復し能はざるに非らざれば國軍の援助を請求することを得ず

第一百六十條 地方政府にて制定せる法規にして中央政府の制定せるもの本憲法に規定せる法律に牴觸するも

のは無効とす

第六章 財政及び財政監督

第一百六十一條 各級政府の歳入歳入は總て豫算を編成すべし、其豫算は中央に在りては立法院の通過を経、地方に在りては其參議會の通過を経て之を執行す、其執行は備簿に記載し執行の結果は決算を編成し監察機關にて審査し其責任を分別して之を公告す、各級政府の總豫算及び總決算は一會計年度毎に一回辦理す、各級政府の豫算決算の範圍及び順序は法律を以て之を定む

第一百六十二條 左の各事項は中央政府に在りては立法院の議定を、各級地方政府に在りては法律並に其參議會の議決を経るに非らざれば之を得ず

- 一、税賦捐費罰金罰鍰或は其他強制性質を有する收入の設定及び其徵收税率の變更

二、公債の募集及び公金負擔の増加すべき其他契約の締結

三、專賣獨占の授與或は其他特權契約の締結或は取消

四、公營の專賣獨占到屬するもの其他營利性質を有する事業の設定或は取消

第一百六十三條 中華民國國境内の一切の貨物は自由流通の權を有し各級地方政府は阻止するを得ず

關稅は貨物の國境出入の時之を徵收すべく一回を限りとなす、國內貨物の流通に對して關稅を設け如何なる名義を以てするも通過税を徵收するを得ず、但し水陸道路の改良によりて通過舟車に對し使用費を徵收するときは此限りに非らず

產出税、消費税或は其他貨物に對し税捐を徵收すべきときは其徵收權は中央政府に屬し、各級地方政府は中央の委託によるに非らざれば之を徵

收することを得ず

第一百六十四條 交通運輸及び其他公用事業の公營に屬するものは其價格は中央政府に在りては立法院之を議定し、各級地方政府に在りては其參議會にて之を議定す

各級政府の公營事業は總て營業管理辦法を以て之を管理す、自ら其經費を持し又其債務を負担することを得但し其利及び缺損は其總豫算に編入すべし、公營事業の豫算會計審計及び決算順序は單行法律を以て之を規定す

交通運輸及び其他公用事業は中央政府にて管理せざるものにては國防上の緊急需要によるときは中央政府にて臨時之が管理を爲すことを得

第一百六十五條 豫算中起業事項にて其完成期間一年以上なるものは繼續經費を設定することを得 毎年支出の總額にして永久不變の事

項は法律を以て恒久經費となすことを得

第一百六十六條 凡そ政府機關の財政行政は聯立行政は聯立綜合し之を組織應用す其豫算決算會計統計を處理する人員は超然の主計機關にて其任免選派並に其事務の指導監督を爲す其審計検査する人員は獨立にて監督權を行使する審計機關にて其任免選派並に其事務の指導監督を爲す

第一百六十七條 凡そ中華民國に國籍を有する人民は該管轄各級政府の財政簿を法に依り料金を納入の上閱覽を請求することを得、軍事秘密に關係あるか或は外交秘密に非らざる限り各級政府機關は之を拒絶することを不得す

第四編 民生

第一章 國民生計

第一百六十八條 經濟組織は公平を原則とし國民をして相當生計を得せし

むべし

第一百六十九條 中華民國人民は正義と人道に背かず精神上或は體力上労働の義務を有す

第一百七十條 労働能力ありて怠惰或は過失によらずして失業せるものは政府は協助し適當の工作機會を與ふそれに工作を爲すものは政府にて保護法規を制定し其生活を改善せしむ

第一百七十一條 老弱廢殘して労働能力を失ひたるものは政府にて相當の救濟をなす

第一百七十二條 農村經濟發展の爲め政府は積極的に左の事項を実施す
一、荒地の墾殖、水利の開發
二、農業金融機關の設立、農村合作事業の奨励
三、倉庫制度の實施、災荒の豫防、民食の充裕
四、農業教育の發展、農民生活の改善

五、農村住宅の改良、農村道路の工築

六、小作農地位の改善、農工福利の増進

第一百七十三條 政府は人民の生育安全及び身體健康保護の見地より公立醫院を設立し助産、醫藥診療をなす

第一百七十四條 勞資雙方の關係は協調互利を原則となす

第一百七十五條 人民の契約及び職業の自由は公共利害及び善良の風俗を妨害せざる範圍内に於て之を保護す

第一百七十六條 私有土地に對しては法律を以て規定し濫用荒廢及び少人數に集中するを嚴防す

第一百七十七條 凡そ生産事業は政府にて之を獎勵及び保護す

第一百七十八條 高利の貸借及び不動産の重税は法律を以て之を禁止す

第一百七十九條 遺産の承繼に對して

は法律或は課税を以て制限す、但し承繼人をして生存を喪失せず或は本能を發展すべき必要資力を度とす

第一百八十條 國民經濟の發展を謀る爲め政府は各種合作事業及び保險事業を提唱す

第一百八十一條 凡そ專利性質或は獨占性質を具有するものは政府にて資本を集中し獨立の經營を爲す

第一百八十二條 人民生活必需品の生産消費及び價格は政府にて調整或は之を制限す

第一百八十三條 中央及び地方は經濟委員を設くることを得、其詳細は法律の規定に依る

第一百八十四條 中央及び地方は經濟事項の立法に關して經濟委員會の意見を徵求し詢ふ

第一百八十五條 經濟委員會は前條の規定に依るを除去左の各事項につき意見外と雖も提出することを得

一、經濟立法及び行政に關して自動的に政府に建議

二、經濟事項に關し法律案を立法機關に提出

三、政府と農民工商業實業團體の合作の督促、農民工商業實業團體の相互間の合作

四、勞資爭議の解決

第二章 國民教育

第一百八十六條 中華民國の人民教育の機會は一様に平等とす

第一百八十七條 教育の實施は人格の培養と其他目的を兼ね

第一百八十八條 已に學齡に達したる兒童は少くも六年の免費基本教育を受けしむべし

第一百八十九條 未だ基本教育を受けざる人民は一様に國家にて免費補習教育を施す

第一百九十條 已に基本教育を受け成績優秀なる者或は特殊の天才ある者

にして向學する力なきものは中央或は地方政府にて試験後之を補助する法を設け中等以上の教育を受けしむることを得

第一百九十一條 基本教育を擔任する教員は豫め保障し優待すべし

第一百九十二條 中央と地方は教育上必需の經費を用意並に其獨立を保障す

第一百九十三條 私立學校にて成績優秀なる者は獎勵及び補助をなす

第一百九十四條 各學校教員は檢定を受くべし、其檢定方法は法律を以て之を定む凡そ檢定に合格せる教員は獎勵及び保護をなすべし

第一百九十五條 華僑教育は豫め獎勵及び保護をなすべし

第一百九十六條 全國公私立學校は免費及び獎學資金を設置し學術優等品行方正なる者にして向學の力なき學生を奨進せしむ

第一百九十七條 學問及び藝術の研究に關して發明及び特殊成績を有するものは國家にて之を獎勵或は保護す

第一百九十八條 學術の研究及び思想は社會秩序を直接妨害せざるときは其自由を保障すべし

第五編 憲法の保障

第一百九十九條 凡そ法律にして本憲法と抵觸するものは無効とす

第二百條 本憲法は四分の一の國民大會代表或は四分の一の省民代表會或は四分の一の省職業團體の提議を経るに非ざれば國民大會の議決を経て之を修改するを得ず

第二百一條 直接或は間接に憲法の實行及び解決をなす爲め憲法の紛糾に關しては國事法院を設くべし

第二百二條 國事法院の職權左の如し
一、憲法上の疑義の解釋
二、違憲の法令審査並に無効の宣告
三、違法行爲に關する處分

四、中央政府各機關間、各地方政府間及び中央と地方間の權限爭議並に其他解決し能はざる事項の解決

五、行政訴訟の受理

六、行政法令の統一解釋

七、公務員被彈劾の案件並に被彈劾人及び其他國事法院の職權行使の時にあつて發見し懲戒を受くべき公務員の懲戒受理

八、刑事責任を負ふべき被懲戒公務員の普通法院の審判への移送

九、其他直接に憲法に違背して普通法院に於て解決し能はざる政治上の事件の解決

第二百三條 國事法院は其職權範圍内にあつて拘束ある普通法院の效力の決定及び解釋をなす

第二百四條 行政法令解釋と普通法令の解釋と衝突する時は國事法院と最高法院にて各々相當の人數を推し委員會を組織し相互に討論し統一を求

む

第二百五條 國事法院に評事十一乃至十五人を設け其中過半数は國民大會より直接之を選擧し、餘は國民政府五院より各二人以上の候補者を推し國民大會之を選擧す

第二百六條 國事法院の評事は左の資格を備ふるを要す

- 一、年齢三十五歳以上
- 二、完全に公民権を享有するもの
- 三、曾て専門以上の學校に在りて法律政治或は經濟學を畢り次の條件を備ふるもの

(甲)法律政治或は經濟に關する専門の著作或は價值ある貢獻をなせしもの

(乙)専門以上の學校に在りて三年以上法律政治或は經濟學を教授せしもの

(丙)五年以上の行政或は司法の經驗あるもの

(丁)考試或は詮敍の合格を経たるもの

第二百七條 國事法院の評事中法律を研究せるもの最少限度百分の二、政治及び經濟を研究せるもの各々五分の一を最少限度とす

第二百八條 國事法院に院長、副院長各一人を設け各評事より之を互選す

第二百九條 國事法院の評事は國民大會代表過半数出席し出席代表三分の二の賛同を経るに非らざれば之を罷免することを得ず

第二百十條 前條の規定を除く外、國事法院の評事は監察院、立法院の聯合彈劾並に監察院、立法院、最高法院、合組の委員會の懲戒を経るに非らざれば免職、停職、減俸或は轉任せしむるを得ず、但し刑事處分或は禁治產の宣告を受けたる時は此限りに非らず

前項合組の委員會は監察院、立法院

は各二人、最高法院は五人を推して之を組織す

第二百十一條 國事法院の評事は現行犯を除く外最高法院の許可を経るに非らざれば之を逮捕或は監禁するを得ず

第二百十二條 國事法院の評事を現行犯の爲め逮捕或は監禁せる時は逮捕或は監禁せる機關は二十四時間内に其理由を最高法院に通知するを要す最高法院は前項の通知を受取りたる後許可又は不許可の表示をなすべし

第二百十三條 國事法院の決定或は命令は該法院自ら執行するか或は中央並に地方政府機關に囑託して之を執行す

第二百十四條 國事法院の組織法、國事訴訟法、違憲罰法は別に之を定む

尙前記憲法草案が果して如何に修正せらるゝかは他日に徴する外ないが民

間輿論を代表する益世報及び大公報の該草案に對する批判を示せば大體次の通りである。

孫科院長に質す

(六月二十日益世報)

立法院長孫科氏の本月十七日上海に於て憲法に關し發表せし談話に據れば「中華民國は三民主義に依つて出生したるものなるを以て憲法も亦當然三民主義に根據して起草せらるべきもの」云々であるが、果して斯くあるべきものであらうか。吾人は勿論孫中山の民國創造に對する功績に對しては萬腔の敬意を表するも中國の創造が孫中山一人の手に依りて成り、他の者は果して微功だに無きや、又三民主義を以つて憲法と不可分離の關係にある絶對的のものとなすも、主義とは單に現存の問題を解決する一種の主張にして、社會は時代の推移に隨つて變化する、法制の責きは時代に因つて變通するに在り

支那の自己分裂現象

滿洲國の獨立以來支那は自己分裂期に入り、先づ西藏が英國の援助の下に獨立し新疆が事實上ソヴェトロシアの支配を受け、十月に入つては内蒙古各王が内蒙自治の名による獨立運動を始めて南京に氣をもませている、最近では陳銘樞胡漢民氏の福建に於ける反蔣獨立運動まで起つて來た、尤も支那史は分裂から、統一へ統一から分裂への連續劇であるからこの分裂運動も漢民族の解體又は滅亡を意味するものでないことは勿論である、自己分裂期に於ける支那に日本は如何なる態度で臨むべきかが問題である耳

中央黨部職員

第四次全國代表大會

中央執行委員會

(常務委員) 蔣中正、汪兆銘、胡漢民、孫科、居正、顧孟餘、于右任、陳果夫、葉楚傖、(委員) 宋慶齡、何應欽、陳銘樞、朱培德、吳鐵城、宋子文、王柏齡、邵元冲、朱家驊、楊樹莊、劉峙、周啓剛、陳立夫、陳肇英、丁惟汾、曾養甫、李濟琛、方覺慧、王伯群、何香凝、方振武、伍朝樞、李文範、劉紀文、劉廬隱、鄒魯、閻錫山、馮玉祥、趙戴文、李烈鈞、柏文蔚、覃振、石青陽、熊克武、陳友仁、王法勤、陳公博、程潛、戴傳賢、經亨頤、甘乃光、何成濬、石瑛、劉守中、丁超五、張貞、孔祥熙、王正廷、周佛海、顧祝同、夏斗寅、賀

耀祖、楊杰、桂崇基、馬超俊、陳濟棠、陳策、白崇禧、李揚敬、余漢謀、林翼中、張景惠、張群、(候補委員) 鄧家彥、茅祖權、李宗黃、白雲梯、張知本、傅汝霖、張章村、黃實、朱壽青、陳樹人、繆斌、陳耀垣、劉文島、魯滌平、張道藩、趙耀廉、余井塘、薛篤弼、焦易堂、鹿鍾麟、苗培成、程天放、克輿額、區芳浦、蕭吉珊、黃旭初、朱紹良、程天固、龍雲、詹菊似、謝作民、黃季陸、馬福祥、梁寒操、錢大鈞、關素人、段錫朋、李任仁、鄒占南、曾仲鳴、周松壽、崔廣秀、張厲生、黃復生、羅家倫、張定璠、戴愧生、李敬齋、王祺、何世楨、范予遂、陳季木、曾擴情、王懋功、唐生智、陳慶雲、谷正綱、唐有壬、楊愛源、王陸一

第四次全國代表大會

中央監察委員會

(委員) 鄧澤如、蕭佛成、謝持、陳璧君、王寵惠、吳敬恒、張人傑、林森、蔡元培、張繼、邵力子、李煜瀛、恩克巴圖、褚民誼、柳亞子、張學良、楊虎、蔣作賓、洪陸東、李宗仁、許崇智、香翰屏、唐紹儀、張發奎、(候補委員) 楊庶堪、黃紹雄、郭春濤、李福林、潘雲超、陳布雷、商震、陳嘉佑、林雲陔、鄧青陽、林直勉、黃吉人、饒培南、方聲濤、李綺庵、陳中孚、鄧飛黃、孫鏡亞、黃少谷、蕭忠貞、紀亮、李次温

中央黨部各委員會

(一)組織委員會 (委員長) 陳立夫、(副委員) 谷正綱、(委員) 鄒魯、石青陽、白雲梯、張道藩、余井塘、段錫朋、張厲生、范予遂、趙丕廉、鄧飛黃、苗培成、焦易堂、楊虎、吳鐵城

(二)財務委員會 (委員) 陳立夫、陳公博、邵元冲、葉楚傖、林森、陳果夫、顧孟餘、居正

(三)宣傳委員會 (委員長) 邵元冲、(副委員長) 羅家倫、(委員) 經亨頤、甘乃光、桂崇基、程天放、黃季陸、梁寒操、劉廬隱、陳季木、鄧家彥、王陸一、克輿額、周佛海、唐有壬、朱家驊

(四)民衆運動指導委員會 (委員長) 陳公博、(副委員長) 王陸一、(委員) 朱家驊、王法勤、王柏齡、陳肇英、張憲村、傅汝霖、朱壽青、王祺、何世楨、曾擴情、王懋功、方覺慧、郭春濤、蕭貞忠、張知本、馬超俊

(五)海外黨務委員會 (委員長) 周啓剛、(副委員長) 陳耀垣、(委員) 蕭吉珊、詹菊似、謝作民、關素人、鄒占南、黃慕松、戴愧生、黃吉宸、李次温、黃復生、曾養甫、李綺庵、曾仲鳴、崔廣秀

(六)華僑捐款保管委員會 (委員) 林森、蔣中正、汪兆銘、葉楚傖、于右任

中央政治會議委員

(常務委員) 蔣中正、汪兆銘、胡漢民、孫科、居正、顧孟餘、于右任、陳果夫、葉楚傖 (委員) 丁惟汾、何應欽、戴傳賢、楊樹莊、宋子文、吳敬恒、張人傑、李煜瀛、蔡元培、吳鐵城、王寵惠、張繼、朱家驊、邵元冲、陳立夫、孔祥熙、王正廷、王伯群、朱培德、陳銘樞、焦易堂、張群、何成濬、劉廬隱、馬超俊、張學良、張作相、王樹翰、劉尙清、方本仁、鈕永建、賀耀組、邵力子、(候補委員) 方覺慧、王柏齡、陳肇英、丁超五、周啓剛、曾養甫、余井塘、桂崇基、程天放、陳夫雷、恩克巴圖、(秘書長) 唐有壬

中央政治會議各組委員

(一)政治組委員會 (召集委員) 葉楚傖、于右任、(委員) 丁惟汾、葉楚傖、陳立

夫、顧孟餘、方覺慧、陳公博、陳銘樞、朱家驊、程天放、居正、覃振、于右任、白雲梯

(二)經濟組委員會 (召集委員) 陳果夫、顧孟餘、(委員) 張人傑、戴傳賢、邵元冲、陳果夫、王伯群、曾養甫、孔祥熙、周啓剛、顧孟餘、黃紹雄、唐有壬、曾仲鳴

(三)外交組委員會 (召集委員) 蔣作賓、宋子文、(委員) 王正廷、孔祥熙、宋子文、吳敬恒、李煜瀛、張群、朱培德、賀耀組、蔣作賓、唐有壬、羅家倫、羅文幹

(四)財政組委員會 (召集委員) 宋子文、邵元冲、(委員) 吳敬恒、宋子文、于右任、陳果夫、陳立夫、邵元冲、余井塘、丁超五、丁惟汾、陳璧君、石瑛、唐有壬

(五)軍事組委員會 (召集委員) 何應欽、朱培德、(委員) 何應欽、朱培德、楊樹莊、陳肇英、唐生智、李濟琛、陳銘樞

張群、吳鐵城、何成濬、王柏齡、賀耀祖

(六)教育組委員會(召集委員)蔡元培、朱家驊、(委員)吳敬恒、蔡元培、戴傳賢、李煜瀛、朱家驊、張道藩、程天放、葉楚傖、邵元冲、顧孟餘、陳布雷、褚民誼

(七)法制組委員會(召集委員)戴傳賢、覃振、(委員)戴傳賢、覃振、丁惟汾、方覺慧、朱家驊、邵元冲、程天放、葉

楚傖、谷正綱、陳公博、鄧飛黃、王法勤、羅文幹

●行政法規整理委員會

(中央政治會議直屬)

(委員長)戴傳賢、(委員)孫科、宋子文、于右任、伍朝樞、居正、葉楚傖、朱家驊、黃紹雄、焦易堂、鈕永建、丁惟汾、顧孟餘、褚民誼、梁寒操

鑄局長)周仲良、(秘書)楊熙麟外九名、(參事)王次甫外九名

●參軍處(政府直屬)

(參軍長)呂超、(典禮局長)張希鸞、(總務局長)田士捷、(參軍)張希鸞外十二名

●文計處(政府直屬)

(主計長)陳其采、(歲計局長)楊汝梅、(會計局長)秦汾、(統計局長)劉大鈞、(主計官)趙棟華外三名、(秘書)傅光培

●行政院(政府直屬)

(院長)汪兆銘、(副院長)孔祥熙、(秘書長)褚民誼、(政務處長)彭學沛、(秘書)劉永闈外八名、(參事)陳鏡外七名

●立法院(政府直屬)

(院長)孫科、(副院長)邵元冲、(委員)馬寅初、傅秉常、呂志伊、焦易堂、史

中央政府職員(一)

●國民政府會議委員

(主席)林森、(委員)蔣中正、胡漢民、唐紹儀、張人傑、蔡元培、蕭佛成、鄧澤如、謝持、許崇智、王法勤、李烈鈞、鄒魯、陳果夫、葉楚傖、王伯群、方振武、熊克武、關錫山、馮玉祥、趙戴文、王樹翰、劉尚清、柏文蔚、程潛、程潛

●文官處(政府直屬)

(文官長)魏懷、(文書局長)許靜芝、(印

頭、孔祥熙、恩克巴圖、楊庶堪、劉守中、楊樹莊、王正廷、伍朝樞、張繼、周震麟、徐紹楨、宋子文、(行政、立法司法、考試、監察の五院の院長副院長は當然委員とす)

尙寬、林彬、陳肇英、馬超俊、彭養光、劉豐訓、戴修駿、樓桐孫、吳尙鷹、馮兆異、張志韓、陶支、鄧召隆、陳長衡、盧仲琳、張鳳九、方覺慧、劉積學、羅鼎、蔡璋、衛挺生、劉克儁、劉景新、朱和中、史維煥、朱履齋、黃右昌、鄒朝俊、竺景崧、鄭愷辰、傅汝霖、張維翰、李仲公、狄膺、程中行、何遂、丁超五、張知本、黃季陸、梁寒操、潘雲超、黃復生、王祺、王秉謙、戴任、馮自由、徐元誥、張國元、黃一歐、劉通

●司法院(政府直屬)

(院長)居正、(副院長)覃振、(參事)謝冠生、吳昆吾、潘恩培、劉子芬、王希齡、蔡達生、(秘書長兼代)謝冠生、王鈞善、胡翰、王建祖、吳志廉、翁浩、伍文祺、齊文書、關壽、劉伯英、劉蔚凌

●考試院(政府直屬)

(院長)戴傳賢、(副院長)鈕永建、(參事)饒炎、高槐川、桂崇基、劉光董、張忠道、伍非百、(秘書長)許崇顯、(秘書)陳天錫、楊開甲、朱德銓

●監察院(政府直屬)

(院長)于右任、(副院長)丁惟汾、(監察委員)劉三、高一涵、高友唐、樂景濤、周覺、李夢庚、周利生、姚兩平、羅介

●軍事委員會(政府直屬)

(委員長)蔣中正、(委員)馮玉祥、關錫山、李宗仁、張學良、陳銘樞、李烈鈞、陳濟棠、馬占山、蘇炳文、(辦公廳主任)朱培德、(第一廳主任)唐生智、(第二廳主任)何應欽、(第三廳主任)朱培德

●軍事委員會北平分會

(委員長)蔣中正、(委員長代理)何應欽
 (常務委員)萬福麟、榮臻、蔣伯誠、(委員)王樹翰、張作相、韓復榘、徐永昌、王樹常、宋哲元、鮑文樾、于學忠、商震、龐炳勳、沈鴻烈、湯玉麟、劉翼飛、蕭振瀛、鮑毓麟、錢大鈞、傅作義、孫魁元、吳光新、魏宗翰、秦德純、門致中、(秘書長)何其鞏、(政務處主任)王樹翰、(財務處主任)王克敏

●軍事參議院(政府直屬)

(院長)唐生智、(總務廳長)臧卓、(軍事廳長)周維寅、(參議)馬吉弟、彭武啟、陳強、歐陽琳、馬葆珩、魏益三、靳雲鵬、金漢鼎、曹萬順、王翰鳴、姚明何、祝齊如、譚慶林、周址、楊池生、楊如軒、朱世貴、葉開鑫、朱景曦、張治公、趙寶賢、王嗣昌、伊德欽、蔡鉅猷、歐陽蒙、何臧、馮萃堂、詹玉初、方本仁、邢震南、應振復、唐慶、孫伯文、張近德、廣俊德、吉鴻昌、謝履、孫渡、高

靈、王應榆、李炳榮、王繩祖、劉汝賢、易堂齡、劉郁芬、李安國、唐澐、李毅、易紹英、周激、李雲龍、詹振黃、譚曙、廬本堂、楊源清、黃國助、張振武、李家龍、雷慶、公秉藩、張福生、錢倫、體、表德性、張英、賴星輝、張義純、曾繼悟、(諮議)譚光福外二十六名

●參謀本部(政府直屬)

(總長)蔣中正、(次長)賀耀組、黃慕松、(高級參謀主任)張元枯、(參謀)鍾體道、袁績熙、彭贊湯、錢卓倫、黃菊裳、周濟民、蕭仁源、(總務廳長)王倫、(第一廳長)黃慕松、(第二廳長)林蔚

●訓練總監部(政府直屬)

(總監代理)朱培德、(副監)徐景唐、周亞衡、(參事)李實茂、張壽桐、劉秉粹、陳智侯、(總務廳長)陳啓之、(步兵監)徐國鎮、(騎兵監)汪鎬基、(砲兵監)張修敬、(工兵監)吳和宣、(輜重兵監)李

國良、(軍學編譯處長)楊言昌、(國民軍事教育處長)賀衷寒、(政治訓練處長)張靜愚

●全國建設委員會(政府直屬)

(委員長)張人傑、(副委員長)曾養甫、(常務委員)吳敬恒、李煜瀛、張嘉璈、(委員)蔣中正、胡漢民、何應欽、孫科、魏道明、宋子文、孔祥熙、戴傳賢、易培基、陳立夫、葉楚傖、蔡元培、鄭洪年、鄭毓秀、劉紀文、吳忠信、李宗黃、錢永銘、朱家驊、李煜身、陳輝德、葛敬恩、賀國光、李鐸、(秘書長)劉石心、(秘書)林士樸、王向辰、(參事)蕭文熙、朱彬元、(總務處長)劉石心、(事業處長)秦瑜、(設計處長)霍寶樹

●全國財政委員會(政府直屬)

(委員長)蔣中正、(委員)林森、于右任、虞和德、宋子文、張公權、何應欽、李馥蓀、李煜瀛、吳達詮、邵元冲、周作

民、張學良、顧孟餘、徐永昌、胡適、韓復榘、馬寅初、榮宗敬、朱家驊、劉鴻生、范旭東、王孝賚

●導淮委員會

(委員長)柏文蔚、(副委員長)黃郛、(代理副委員長)陳果夫、(常務委員)莊崧甫、陳其采、陳立夫、吳忠信、楊永泰、(委員)張人傑、吳敬恒、陳輝德、段錫朋、王震、許世英、陳懋解、沈怡、陳儀、沈昌、王清穆、陳光甫、南桂馨、丁春膏、陳洋嶺、(秘書長)王廷、(總務處長)沈百先、(工務處長)李儀祉、(財務處長)陳其采、(土地處長)蕭錦

●廣東治河委員會(政府直屬)

(委員)胡漢民、陳銘樞、孫科、陳濟棠、林直勉、吳鐵城、陳策、李海雲、鄧彥華、范其務、林雲陔、王寵惠、(總務處長)林直勉、(工務處長)林雲陔

●華北水利委員會(政府直屬)

(委員長)陳懋解、(委員)陳汝良、吳思遠、劉夢錫、李書田、王季緒、彭濟群、周豪賢、徐世大、李儀祉

●太湖水利委員會(政府直屬)

(委員長)曾養甫、(委員)程振鈞、王柏齡、陳立夫、沈百川、周豪賢、陳懋解

●首都建設委員會(政府直屬)

(主席)蔣中正、(常務委員)孔祥熙、孫科、宋子文、林森、石瑛、(委員)吳敬恒、李煜瀛、(當然委員)中央執行委員會常務委員、國民政府主席及委員、五院院長及副院長、各省省政府主席、行政院直屬各省市市長、南京特別市黨部代表一名

●總理陵園管理委員會

(政府直屬)
 (常務委員)林森、葉楚傖、孫科、林業明、劉紀文、(委員)胡漢民、蔣中正、

張人傑、李煜瀛、蔡元培、于右任、宋子文、孔祥熙、戴傳賢、陳果夫、吳鐵城

●內外債整理委員會

(政府直屬)

(委員長)王寵惠、(委員)張學良、王正廷、孔祥熙、孫科、王伯群、宋子文

●國立中央研究院(政府直屬)

(院長)蔡元培、(物理所研究長)丁燮林、(化學研究所長)王進、(工程研究所長)周仁、(地質研究所長)李四光、(天文研究所長)余青松、(氣象研究所長)竺可楨、(歷史語言研究所長)傅斯年、(心理研究所長)唐鈺、(社會科學研究所長)蔡元培

●各區邊防綏靖督辦

(政府直屬)

駐浙西綏靖主任 朱紹 頁

駐河南綏靖主任 劉時
 駐湖北綏靖主任 何成濬
 駐閩綏靖主任 陳濟棠
 駐南寧綏靖主任 李宗仁
 甘肅青綏靖主任 朱紹良
 陝豫邊防綏靖督辦 劉鎮華
 豫鄂皖邊區綏靖督辦 李鳴鐘
 江蘇邊區綏靖督辦 張之江
 四川善後督辦 劉湘
 魯豫清鄉督辦 韓復榘
 山西清鄉督辦 楊愛源
 鄂湘川邊區剿匪清鄉督辦 徐源泉
 川陝邊防督辦 劉存厚
 川陝邊區剿匪督辦 田頌堯
 四川剿匪總司令 劉湘
 贛粵閩湘鄂剿匪軍南路總司令 陳濟棠
 贛粵閩湘鄂剿匪軍南路前敵總指揮 蔡廷楷
 贛粵閩湘鄂剿匪軍南路副司令 白崇禧

贛粵閩湘鄂剿匪軍西路總司令 何健
 贛粵閩湘鄂剿匪軍北路總司令 劉峙
 豫鄂皖邊區剿匪軍總司令 劉鎮華
 ●全國經濟委員會(政府直屬)
 (常務委員)汪兆銘、孫科、宋子文、(委員)黃紹雄、顧孟餘、朱家驊、陳公博、王世杰、張人傑、孔祥熙、李煜瀛、蔡元培、邵元冲、李銘、周作民、虞和德、吳鼎昌、榮宗敬、劉瑞恒、陳立夫、錢新之、陳光甫、劉鴻聲、史量才、徐新六、王克敏、陳伯莊、積民誼、楊端六、秦汾、葉恭綽、連聲海、(參加委員)馬寅初、吳尚鷹、陳肇英

中央政府職員(二)

五院及各專門委員會に直屬するもの

●內政部(行政院管轄)
 (部長)黃紹雄、(政務次長)甘乃光、(常務次長)羅貫華、(參事)雷鳴峯、楊全字、孔力行、黃厚端、(秘書)陳言、趙耕熙、羅博曼、黃曾元、史維孝、胡成立、項昌權、周俊甫、李幹軍、張敦丈
 (衛生署長)劉瑞恒、(總務司長)姜玉堂
 (民政司長)王先強、(統計司長)黃厚端
 (土地司長)鄭震宇、(警政司長)李松鳳
 (禮俗司長)王先強
 ●財政部(行政院管轄)
 (部長)孔祥熙、(政務次長)鄒琳、(常

務次長)李調生、(參事)沈慶圻、秦景阜、吳鏡予、李啓琛、楊秉詮、(秘書)楊閣、陳鳳辰、黃國恩、汪希文、張仕鑾、張鏡朋、黎澤清、(關務署長)張福運、(鹽務署長)沈叙玉、(統稅署長)謝祺、(總務司長)鄧勉仁、(賦稅司長)賈士毅、(公債司長)鄭萊、(錢幣司長)徐堪、(國庫司長)余梅蓀、(會計司長)秦汾、(印花菸酒稅處長)黃維嶺

外交部(行政院管轄)

(部長兼務)汪兆銘、(政務次長)徐謨、(常務次長)劉崇傑、(參事)張敬海、徐東藩、余銘、朱鶴翔、林椿賢、(秘書)靳志、鄧宗瀛、于志昂、雷孝敏、黃朝琴、(總務司長)應尙德、(國際司長)朱鶴翔、(亞州司長)沈觀鼎、(歐米司長)劉師舞、(情報司長)李迪俊

實業部(行政院管轄)

(部長)陳公博、(政務次長)郭春濤、(常

務次長)劉維熾、(參事)陳匪石、陳郁、陳鍾聲、卓宣謀、余愷湛、李崇年、(秘書)羅郭偉、許式巴、徐履盛、劉鳴涼、葛德凍、李白賢、(林墾署長)譚熙鴻、(總務司長)梅哲之、(農業司長)徐廷瑚
 (工業司長)劉蔭荊、(商業司長)張軼歐
 (礦業司長)黃金濤、(漁牧司長)劉行驥
 (勞工司長)李平衡、(國際貿易局長)郭秉文、(商標局長)何炳賢、(度量衡局長)成麟、(江浙區海洋漁業管理局長)陳鍾聲、(閩粵區海洋漁業管理局長)譚伯翹、(浙江漁業管理局長)韓有剛、(上海商品檢查局長)蔡無忌、(漢口商品檢查局長)王龍佑、(青島商品檢查局長)王立哉、(天津商品檢查局長)吳家元、(廣州商品檢查局長)胡弘成、(中央農業實驗所長)譚熙鴻、(中央工業試驗所長)吳承洛

鐵道部(行政院管轄)

(部長)顧孟餘、(政務次長)錢宗澤、

(常務次長)曾仲鳴、(參事)汪文瓊、朱侶雲、夏光宇、梁宇皋、(秘書)吳衍慧、陳政、胡濬、(技監)顏德慶、(總務司長)谷正鼎、(業務司長)俞棨、(工務司長)薩福鈞、(財務司長)陳耀祖、(聯運處長)關慶麟、(統計處長)莫介福、(衛生處長)胡宣明、(駐滬辦事處長)陳鐵珊

交通部(行政院管轄)

(部長)朱家驊、(政務次長)俞飛鵬、(常務次長)張道藩、(參事)王輔宜、符鼎升、顧德銘、李立民、郭心崧、周亮才、(秘書)林式增、許炳莖、黃增樞、毛恭祥、沙孟梅、陸翰芹、(總務司長)沈士華、(電政司長)顏任光、(郵政司長)林實、(航政司長)高廷梓、(郵政總局長)錢春琪、(郵政儲金匯業總局長)唐寶書

教育部(行政院管轄)

(部長)王世杰、(政務次長)段錫朋、(常

務次長)錢昌照、(參事)五傑、陳泮藻、楊芳、陳石珍、(秘書)許炳堃、楊公達、王萬鍾(總務司長)雷震、(高等教育司長)沈鵬飛、(普通教育司長)顧樹森、(社會教育司長)張炯(蒙藏教育司長)顧樹森

●軍政部(行政院管轄)

(部長)何應欽、(政務次長)陳儀、(常務次長)曹浩森、(主任參事)雷震、(參事)王時、嚴寬、姚錫九、蔣紹昌、王文彥、李華英、陳景烈、(秘書)范中鐸、李直夫、謝鍾元、(總務廳長)潘寬、(陸軍署長)曹浩森、(副署長)陳智侯、(軍衛司長)童翼、(軍務司長)程澤潤、(軍法司長)王震南、(軍械司長)陳隱寬、(軍醫司長)陳輝、(交通司長)王景祿、(航空署長)徐培根、(副署長)曹寶清、(軍需署長)朱孔陽、(副署長)杜忱、(兵工署長)愈大維、(副署長)翁之麟、(會計司長)杜之英、(審核司長)李炎光、

(儲備司長)白雲深、(營造司長)端木傑、(上海兵工廠長)宗式麟、(福建兵工廠長)文素松、(鞏縣兵工廠長)吳克潤、(漢陽兵工廠長)黃公桂、(濟南兵工廠長)黃裳、(上海練鋼廠長)周宏志、(武昌製革廠長)邵方銘、(航空學校長)毛邦初、(電雷學校長)歐陽格

●海軍部(行政院管轄)

(部長)陳紹寬、(政務次長)陳季良、(常務次長)李世甲、(參事)林永謨、任光宇、(秘書)陳培源、葉養民、(總務廳長)李世甲、(軍衛司長)楊慶貞、(軍械司長)林獻炳、(軍學司長)呂德元、(艦政司長)唐德圻、(海政司長)許繼祥、(經理處長)羅序和、(江南造船處長)陳紹寬

●司法行政部(行政院管轄)

(部長)羅文幹、(政務次長)鄒天錫、(常務次長)石志泉、(參事)錢泰、劉遠

駒、(秘書)賀俞、關震、光晟、羅惇曼、(總務司長)蘇希洵、(民事司長)陳瓊昆、(刑事司長)李泰三、(監獄司長)王元增

●蒙藏委員會(行政院管轄)

(委員長)趙丕廉、(常務委員)克興額、白雲梯、阿旺賢贊、羅桑囊嘉、李培天、冷融、(委員)張繼外十三名、(參事)楚明善、吳鶴齡、(秘書)謝百城、易宇昌、(總務處長)陳敬修、(蒙事處長)巴文峻、(藏事處長)羅桑賢贊(駐平辦事處長)李芳春

●僑務委員會(行政院管轄)

(委員長)陳樹人、(副委員長)周啓明、(常務委員)曾養甫、蕭吉珊、戴愧生、黃吉宸、鄭占南、陳春圃、梁宇皋、(委員)陳耀垣外四十二名、(秘書處長)王志遠、(僑務管理處長)周演明、(僑民教育處長)陳克文

●禁烟委員會(行政院管轄)

召陸外三名

●行政院(司法院管轄)

(院長)茅祖權

●最高法院(司法院管轄)

(院長)居正、(秘書長)劉子芬(庭長)黃鎮馨、林鼎章、李登、夏勤、童杭時、劉含章、葉在均、翁敬堂、(推事)張孝琳外三十五名(檢察長)鄭烈(檢察官)胡安恩外八名

●中央公務員懲戒委員會(司法院管轄)

(委員長)覃振、(專任委員)茅祖權、李肇甫、畢鼎琛、耿毅、江衛封、王開疆、翁敬棠、劉武、馬宗豫、莊浩、夏勤、黃鎮馨、何蔚、洪文瀾、(主任秘書)劉天四

●詮叙部(考試院管轄)

(委員長)劉瑞恒、(副委員長)鄧哲熙、(委員)陳炳光、張學良、史贊銘、陳紹寬、羅運炎、馬寅初、伍連德、鍾可托、馬文昭、胡毓威、田雄飛、栗威、行政院各部長(當然委員)及(總務處長)胡毓威、(檢查處長)鍾可託

●振務委員會(行政院管轄)

(委員長)許世英(常務委員)王震、劉鎮華、汪守珍、朱慶瀾、(委員)熊希齡外五名(秘書)洪迥

●法制委員會(立法院管轄)

(委員長)焦易堂、(委員)張知本外三十四名

●外交委員會(立法院管轄)

(委員長)傅秉常、(委員)樓桐孫外七名

●財政委員會(立法院管轄)

(委員長)馬寅初、(委員)劉豐訓外十三

●經濟委員會(立法院管轄)

(委員長)吳尚鷹、(委員)馬超俊外十三名

●軍事委員會(立法院管轄)

(委員長)陳肇英、(委員)李仲公外十三名

●憲法草案委員會(立法院管轄)

(委員長)孫科、(副委員長)張知本、吳經熊、(委員)焦易堂外三十五名▲民法委員會(召集委員)傅秉常(委員)林彬外三名▲刑法委員會(召集委員)劉克儔(委員)鄒朝俊外三名▲商法委員會(召集委員)馬寅初(委員)戴修駿外三名▲勞工法委員會(召集委員)史維煥(委員)馬超俊外三名▲自治法規委員會(召集委員)黃右昌(委員)焦易堂外三名▲土地法委員會(召集委員)吳尚鷹(委員)鄧

(部長)林翔、(政務次長)仇鰲、(常務次長)馬洪煥、(登記司長)宋陸、(甄核司長)王維藩、(教才司長)馬鶴天、(秘書)趙錫、陳曼若、李飛鵬、王金鵬、方非龍、邱懿元

● 考選委員會(考試院管轄)

(委員長)王用賓、(副委員長)陳大齊、(委員)張默君外八名、(秘書長)沈士遠、(秘書)王去病、龍潛

● 審計部(監察院管轄)

(部長)李元鼎、(政務次長)王正基、(常務次長)童冠賢、(秘書長)王文海、(第一廳長)王培驥、(第二廳長)張承樞、(審計)王培驥外九名

● 北平政務整理委員會

(行政院管轄)

(委員長)黃郛、(委員)袁良、沈鴻烈、何其聲、李煜瀛、韓復榘、于學忠、徐

永昌、宋哲元、王伯群、王揖唐、王樹翰、傅作義、周作民、恩克巴圖、蔣夢麟、張志潭、王克敏、張伯苓、劉哲、張厲生、湯爾和

● 華北戰區救濟委員會

(行政院管轄)

(常務委員)黃郛、于學忠、周作民、張伯苓、章元善、王克敏、錢宗澤、(委員)張志潭、于學忠、李煜瀛、王樹翰、王克敏、陶孟和、吳鼎昌、宋哲元、龐炳勛、王揖唐、周貽春、湯爾和、卡白眉、何其聲、莊樂峯、魏繼管、穆庭方、擊章元、善李欽

中央政府職員(三)

各部委及委員會に隸屬並關係あるもの

● 全國警察總監部

(內政部隸屬)

(總監) (首都警察廳長)陳焯、(長江水上警察局長)蔣鼎文

● 中央銀行(財政部監督)

(總裁)孔祥熙、(副總裁)陳行、(常務理

事)宋子文、陳行、葉琢堂、王寶楙、唐壽民、(理事)錢永銘、陳輝德、榮宗敬、周宗良、(監事)李銘、虞和德、具祖誥、林康侯、徐陳冕、王敬禮、秦祖澤、(業務局總經理)唐壽民、(發行局總發行)李覺、(國庫局經理)胡孟嘉

● 條約委員會(外交部隸屬)

(委員長)汪兆銘、(副委員長)張我華、(專任委員)徐養秋、譚紹華、于佐模、方文政、程經遠、(委員)周澤春外二十九名

● 租界回收委員會

(外交部隸屬)

(委員長)李錦綸、(日本委員長)王家楨、(英米佛委員長)徐謨

● 各國駐在公使(外交部隸屬)

(日本)蔣作賓、(蘇聯)顧惠慶、(英國)郭泰祺、(佛國)顧維鈞、(米國)施肇基、(伊太利)劉文島、(和蘭)金問泗、(獨逸)劉崇傑、(埃地利)劉文島、(瑞西)胡世澤、(白耳義)張乃燕、(西班牙)錢泰、(葡萄牙)張敬海、(瑞典)諸昌年、(挪威)諸昌年、(丁抹)羅忠治、(ブラッセル)熊崇志、(ベル)魏子京、(墨西哥)黃芸蕪、(玫瑰)凌冰、(智利)張謙、(芬蘭)諸昌年、(波蘭)李錦綸、(チエツコスコ

パキヤ)李錦綸

● 駐日總領事、領事及領事代理

(橫濱)郭華民、(函館)凌曼壽、(神戸)周珏、(大阪)任家豐、(名古屋)耿善騰、(京城)盧春芳、(台北)鄭延禧、(長崎)張超、(門司)周仲敏、(釜山)陳祖儒、(新義州)朱蒂、(清津、元山)馬永發

● 各鐵路管理局(鐵道部隸屬)

(北寧鐵路管理局)高紀毅、(平漢鐵路管理局)何競武、(津浦鐵路管理局)盧佐、(滬寧滬杭甬兩路事務)郭承恩、(平綏鐵路管理局)曾廣勳、(正太鐵路管理局)屈玉燦、(膠濟鐵路管理委員會)葛光庭、(南浦鐵路管理局)楊志章、(隴海鐵路管理局)錢宗澤、(廣九鐵路管理局)劉鞠可、(道清鐵路管理局)周慶滿、(津浦鐵路管理局)林獻璣、(粵漢廣韶管理局)陳廷熉、(粵漢路湘

鄂段管理局)黃勤桐、(粵漢路株韶段工程局長)卓康成、(隴海鐵路工程局長)凌鴻助、(包寧鐵路工程局長)郭恩海、(滄石鐵路工程局長)唐文高

● 揚子江水道整理委員會

(交通部隸屬)

(委員長)周象賢、(委員)高廷梓外九名、(總務處長)周象賢、(工務處長)宋希尙

● 中國航空公司

(中米合辦交通部隸屬)

(委員長)王伯群、(總經理)何揖五

● 歐亞航空公司

(中獨合辦交通部隸屬)

(委員長)王伯群、(總經理)雙清、(營運主任)李景樞、(機航主任)シユミット

● 招商局(交通部監督)

(總經理)劉鴻生、(常務理事)葉琢堂、

劉鴻生、史家修、張壽鏞、張公權、杜月笙、楊英、(理事)胡鎔、李銘、王曉籟、錢永銘、余日章、張嘯林、盛昌顯(監事)盧學溥、陳輝德、虞洽卿、胡祖同、秦祖澤、榮宗敬、黃金榮、金庭蓀、郭順、黃源泉

●各地大學校 教育部隸屬

(中央大學校長) 羅家倫、(中山大學校長) 全曾澄、(浙江大學校長) 郭任遠、(同濟大學校長) 胡庶華、(交通大學校長) 黎照寰、(清華大學校長) 梅貽琦、(暨南大學校長) 鄭洪年、(北平大學校長) 沈尹默、(北京大學校長代理) 徐誦明、(武漢大學校長代理) 王星拱、(青島大學校長) 楊振聲、(勞動大學校長) 王景岐、(北平師範大學校長) 李建勛、(中法國立工學院長) 褚民誼

●中央軍官學校(軍政部隸屬)

(校長) 蔣中正、(校務委員) 蔣中正、汪

兆銘、戴傳賢、吳敬恒、唐生智、何應欽、朱培德、李濟琛、張治中

●內外債整理委員會

(財政部隸屬)

(委員長) 王寵惠、(委員) 宋子文、王正廷、孔祥熙、孫科、張學良、王伯群

●中英庚款董事會

(振務委員會隸屬)

(董事長) 朱家驊、(董事) 端納、顏德慶、卜隆、曾養甫、曾溶浦、李書華、康德、葉恭綽、劉瑞恒、休士、陳其采、宋子文、馬錫爾、李四光、荆恩

●中荷庚款水利經費

董事會

(董事長) 石瑛、(董事) 孫輔世、赫龍門

地方政府職員

●山西省政府

(主席) 徐永昌、(民政廳長) 孟文元、(財政廳長) 王平、(教育廳長) 冀貫泉、(建設廳長) 陸近禮、(實業廳長) 常秉彝、(委員) 馬駿、李尙仁、王懋功、(秘書長) 王平

●河北省政府

(主席) 劉峙、(民政廳長) 李培基、(財政廳長) 李文浩、(教育廳長) 張鈞、(建設

主席) 于學忠、(民政廳長) 魏鑑、(財政廳長) 魯穆庭、(教育廳長) 陳寶泉、(建設廳長) 林成秀、(實業廳長) 史靖寰、(委員) 張鳳生、胡源匯、嚴智怡、(秘書長) 羅宣穎

●河南省政府

●湖南省政府

(主席) 何健、(民政廳長) 曹伯聞、(財政廳長) 張開運、(教育廳長) 曹曲球、(建設廳長) 余籍傳、(委員) 凌章、譚常愷、劉建緒、吳尙、吳劍學、黃士衡、黃家聲、(秘書長) 易書竹

●山東省政府

(主席) 韓復榘、(民政廳長) 李樹春、(財政廳長) 王向榮、(教育廳長) 何思源、(建設廳長) 張鴻烈、(實業廳長) 王芳亭、(委員) 馬鴻逵、張鈺、陳耀漢、張葦村、(秘書長) 張紹堂

(主席) 魯滌平、(民政廳長) 呂心壽、(財政廳長) 周駿彥、(教育廳長) 陳布雷、(建設廳長) 曾養甫、(委員) 蔣伯誠、蔣錫侯、王激登、楊綿仲、韓德勤、(秘書長) 魯岱

●福建省政府

(主席) 蔣光鼐、(民政廳長) 戴戟、(財政廳長) 許錫清、(教育廳長) 鄭貞文、(建設廳長) 孫希文、(委員) 陳乃元、高登艇、林知淵、(秘書長) 李章達

●安徽省政府

(主席) 劉鎮華、(民政廳長) 馬凌甫、(財政廳長) 毛龍章、(教育廳長) 劉胎燕、(建設廳長) 楊廉、(委員) 李應生、范滋澤、胡汝麟、(秘書長) 石國柱

●江西省政府

(主席) 熊式輝、(民政廳長) 朱團冰、(財政廳長) 吳健陶、(教育廳長) 程時燦、(建設廳長) 龔學遂、(委員) 熊育錫、文群、熊遂、李德釗、蕭純錦、(秘書長) 李德釗

●江蘇省政府

(主席) 顧祝同、(民政廳長) 趙啓麟、(財政廳長) 舒石父、(教育廳長) 周佛海、(建設廳長) 章修甲、(實業廳長) 何玉書、(委員) 王伯齡、李明揚、(秘書長) 楊年

●浙江省政府

(主席) 呂煥炎、(民政廳長) 梁史、(財政廳長) 蔣繼伊、(教育廳長) 雷沛鴻、(建設廳長) 呂煥炎、(委員) 楊應輝、林伯樂、

●廣西省政府

(主席) 林雲陔、(民政廳長) 林翼中、(財政廳長) 區芳浦、(教育廳長) 謝瀛洲、(建設廳長) 林雲陔

●廣西省政府

(主席) 呂煥炎、(民政廳長) 梁史、(財政廳長) 蔣繼伊、(教育廳長) 雷沛鴻、(建設廳長) 呂煥炎、(委員) 楊應輝、林伯樂、

楊鼎中、呂滄隱、楊恩公、伍養、(秘書長)盧奕農

● 貴州省政府

(主席)王家烈、(民政廳長)何揖五、(財政廳長)鄭先辛、(教育廳長)譚星閣、(建設廳長)劉民傑、(實業廳長)侯之擔、(委員)猶國才、黃道彬、李錫祖、饒覺蒼、(秘書長)萬宗賢

● 雲南省政府

(主席)龍雲、(民政廳長)朱旭、(財政廳長)陸崇仁、(教育廳長)龔自己、(建設廳長)張邦翰、(實業廳長)經嘉銘、(委員)孫渡、胡瑛、金漢鼎、周鍾嶽、張鳳春、唐繼麟、(秘書長)袁丕佑

● 四川省政府

(主席)劉文輝、(民政廳長)劉文輝、(財政廳長)郭昌明、(教育廳長)張錚、(建設廳長)向傳義、(委員)郭錫侯、劉湘、楊

森、田頌堯、稽祖佑、林耀輝、(秘書長)尹朝植

● 寧夏省政府

(主席)馬鴻逵、(民政廳長)羅震、(財政廳長)梁敬錚、(教育廳長)葛武榮、(建設廳長)余鼎銘、(委員)馬福壽、海濤達、達理札雅、馬繼德、馮徵麟

● 青海省政府

(主席)馬麟、(民政廳長)馬麟、(財政廳長)魏敦澤、(建設廳長)馬麟、(委員)馬鳳圖、馮國瑞、袁其薇、班禪額爾德尼馬步芳、楊希堯、(秘書長)張愛松

● 新疆省政府

(主席)劉子龍、(民政廳長)李榮、(財政廳長)朱瑞瑛、(建設廳長)閻毓善、(委員)魯放祖、李濬、陳繼善、盛世才、張培元、(秘書長)魯放祖

● 陝西省政府

(主席)邵力子、(民政廳長)胡毓威、(財政廳長)關升三、(教育廳長)趙守鈺、(建設廳長)周學昌、(委員)王典章、李志剛、張贊元、雷寶華、(秘書長)耿壽伯

● 甘肅省政府

(主席)朱紹良、(民政廳長)朱紹良、(財政廳長)李朝傑、(教育廳長)水梓、(建設廳長)喇世俊、(委員)譚克敏、賈讚緒、張維、陳珪章、徐益珊、賀耀祖、(秘書長)林毓丞

● 綏遠省政府

(主席)傅作義、(民政廳長)袁慶曾、(財政廳長)蘇體仁、(教育廳長)潘秀仁、(建設廳長)馮曦、(委員)沙克都爾札巴、羅棟旺楚克、(秘書長)楊兆庚

● 察哈爾省政府

(主席)宋哲元、(民政廳長)伍庸、(財政廳長)文光、(教育廳長)高惜沐、(建設廳

長)趙興德、(委員)德穆楚克棟魯布、杭錦壽、(秘書長)師潤岸

● 南京市政府

(市長)石瑛

● 上海市政府

(市長)吳鐵城

● 廣州市政府

(市長)劉紀文

● 北平市政府

(市長)袁良

● 天津市政府

(市長)

(昭和八年九月現在)

王道梗概臆說

滿洲國參議

袁金凱

第一、天に原づく
王道の根據は何ぞや、曰く天なり、董子謂ふ、道の大源は天より出づと、中庸に曰く、天命之を性といふ、大學に曰く、天の明命を見極むと、警泰曰く、天地は自然にして萬物の父母なり、人は自然にして萬物の靈なり、故に人は聰明を表示し元首を作し、元首は民の父母となる、王道は口頭禪を弄ぶに非ずして、人事を盡す所自から天命に合するの妙諦に到達し、平生力を致して其甲斐ありといふ境地に安住するを得んこと必せり

第二、聖に溯る

仲尼堯帝舜帝を祖述し、文王武王を顯彰し、道徳的政治と法律的政治を分類して全般に亘る解説を加へたり、之によるも王道は必ず古聖王の行爲思想を以て法則となすべきを知るべし、故に後世王道を行はんとせば必ずや堯、舜、禹、湯、文、武を以て模範となすべし

第三、孔を宗とす

孔子古群聖の思想を集整して大成し、百法に法範たらしめ萬物に師表たらしむ、故に王道を行ふものは必ずや孔子を奉じて師となし、誠心悅服すべし

第四、祖を法とす

我聖祖康熙帝安民生業の徳を備へたる上更に勉強努力の功を加へ其仁天の如く、其智神の如し、今王道を行はんと欲せば必ず事々康熙帝を以て法とし則とすべきなり

第五、身を修む

王道の要は主として實踐躬行にあり、若し身修まらずして王道を言はゞ、れ無根の樹無限の水の如し

(下略)

現代支那人名錄目錄

二畫

丁.....一頁

刁.....一頁

三畫

上.....一頁

于.....一頁

四畫

井.....二頁

孔.....二頁

戈.....二頁

方.....二頁

公.....二頁

毛.....二頁

牛.....二頁

王.....二頁

五畫

史.....二頁

甘.....一頁

田.....一頁

白.....一頁

包.....一頁

石.....一頁

六畫

伍.....一頁

朱.....一頁

江.....一頁

七畫

何.....一頁

余.....一頁

克.....一頁

吳.....一頁

呂.....一頁

宋.....一頁

岑.....一頁

李.....一頁

杜.....一頁

汪.....一頁

沈.....一頁

狄.....一頁

谷.....一頁

邢.....一頁

阮.....一頁

八畫

乘.....一頁

周.....一頁

居.....一頁

岳.....一頁

易.....一頁

林.....一頁

金.....一頁

門.....一頁

俞.....一頁

九畫

姜.....一頁

施.....一頁

柏.....一頁

柯.....一頁

段.....一頁

洪.....一頁

胡.....一頁

范.....一頁

香.....一頁

十畫

徐.....一頁

恩.....一頁

殷.....一頁

唐.....一頁

夏.....一頁

孫.....一頁

祝.....一頁

袁.....一頁

現代支那人名錄

郝	傳	三頁	虞	三頁	閻	六頁
馬	勞	一九—二〇頁	賈	五頁	蕭	六頁
高	屠	二〇頁	鄒	五頁	薛	六頁
	稽	二〇頁	靳	五頁	薩	六頁
十一畫					謝	六頁
商	曾	二〇頁			韓	六頁
崔	湯	二〇頁	熊	六頁		
張	焦	二〇—二二頁	聞	六頁	十八畫	
曹	程	二二頁	趙	六頁	載	六頁
梁	覃	二二頁			顏	六頁
梅	賀	二二頁	劉	六頁	十九畫	
章	鈕	二二頁	樊	七頁	羅	六頁
莫	馮	二二頁	潘	七頁	譚	六頁
許	黃	二三頁	蔡	七頁	關	六頁
郭		二三頁	蔣	七頁	二十畫	
			鄒	七頁	蘇	六頁
陳	楊	二三—三三頁	鄒	七頁	二十一畫	
陶	溫	三三頁	鄭	七頁	顧	六頁
鹿	葉	三三頁	錢	七頁	二十二畫	
十二畫					龔	六頁

▲一一 畫

丁文江 II 字是在君、年四十七歲、江蘇泰興人、劍橋グラスゴウ大學卒業、工商部地質科科長、地質研究所々々長、農商部技師、地質調査所所長、督辦、滬甯商埠事宜公署總辦、英國庚款委員、中華文化教育基金會董事、中國地質學會會長等に歴任、現に北平博物學會會長、著作に「民國軍事近記」、徐霞客年譜等あり。

丁春濤 II 字は兩如、貴州織金人、かつて河北省政府委員たり。

丁惟汾 II 字は鼎丞、年五十九歳、山東日照人、日本明治大學卒業、山東法政學堂監督、山東省會議會議員、衆議院議員、廣州國立中山大學委員

國民政府委員、國民黨中央黨部常務委員兼訓練部長等に歴任、現に國民黨第四次中央執行委員、中央政治會議委員。

丁超五 II 字は立夫、年四十八歳、福建邵武人、衆議院議員、福建省政府委員、中央特種刑事法々庭長、福建省黨務指導委員會委員に歴任、現に國民黨第四次中央執行委員。

丁福保 II 字は仲祐、年七十四歳、江蘇無錫人、上海で醫師開業、著作に「佛學大辭典」等あり。

刁敏謙 II 字德仁、年四十六歳、廣東興寧人、上海セント・ジョン大學、ロンドン大學卒業、法學博士、刁作謙の弟、駐英公使館編輯員、北京清華學校教員、北京リーダー編輯長、

▲一二 畫

上官雲相 II 陸軍第四十七師長

于右仁 II 字は伯循、年五十六歳、陝西

國際聯盟支那代表部專門委員、ワシントン會議支那全權秘書、外交部秘書、治外法權調査委員會秘書、外交部政務司長幫科長、外交部情報司長に歴任、著作に英文「支那國際條約義務論」、留英管見記等あり。

刁作謙 II 字は成章、年五十四歳、廣東興寧人、劍橋大學卒業、歐洲留學生總監督處通譯官、大總統府秘書、駐英公使館書記官、外交部秘書、ロンドン總領事、外交部參事、國務院秘書、キューバ公使、パナマ公使、ワシントン會議支那代表團秘書長等に歴任、現に北平稅務學校教授。

西三原人、舉人、日本及英國に留學
上海神州日報、民呼報及民立報主筆
南京臨時政府交通次長、陝西靖國軍
總司令、上海大學校長、陝西省政府
委員、國民政府常務委員、軍事委員
會委員、司法官懲戒委員會委員長、
審計院々長に歴任、現に中央政治會
議委員、國民政府委員兼監察院院長
著作に右任詩存あり。

于樹德 直隸人、露國留學、十三、
四、五年にわたり國民黨中央執行委
員、十六年七月共產黨籍あるの故を
以て除名。

于學忠 字は孝候、年四十四歳、山
東蓬萊人、元吳佩孚部下、湖北第十
八混成旅長、湖北第二十六師長、奉
天軍第四方面軍團第二十軍軍長に歴
任、現に河北省政府主席。

▲四 畫

井岳秀 陝西蒲城人、陝西陝北鎮守

使、國民革命軍第二集團軍暫編、陸
軍第十八師長に歴任。

孔祥熙 字は庸之、年五十四歳、山
西太谷人、米國オバリーソン及エール
大學卒業、山西省長公署顧問、廣東
財政廳長、國民黨中央政治會議委員
國民政府委員、工商部長、實業部長
に歴任、現に國民黨第四次中央執行
委員、中央銀行總裁。

戈公振 年四十二歳、江蘇東臺人、
かつて上海時報編輯たり、上海申
報館圖書編輯、聯盟調査員に隨行
赴滿、著作に新聞學摘要、中國報學
史等あり。

方本仁 字は耀亨、年五十三歳、湖
北黃岡人、廣西鎮守使、江西宣慰使
國民革命軍第十一軍軍長、湖北省政
府委員兼民政廳長に歴任、現に軍事
參議院參議。

方聲濤 字は韻松、年四十八歳、福
建閩侯人、日本陸軍士官學校騎兵科

卒業、福建省政府主席代理をせる、
さあり。

方覺慧 字は子樵、湖北蕪春人、現
に國民黨第四次中央執行委員、立法
院委員、訓練總監部政治訓練處副處
長。

公秉藩 陸軍第二十八師師長。

毛光翔 字は羣麟、年三十八歳、貴
州桐梓人、貴州講武學校卒業、現に
貴州省政府委員兼主席。

毛炳文 湖南人、現に陸軍第八師師
長。

牛惠生 年四十一歳、江蘇上海人、
米國ハーバード大學醫學博士、上海
醫學會會長、上海醫師公會書記に歴任
現に上海で開業。

牛惠霖 年四十六歳、江蘇上海人、
英國劍橋大學倫敦醫學院卒業、支那
全國醫學會會長、支那醫學會上海分會
會長に歴任、現に上海で開業、牛惠
生の兄。

王人麟 江蘇泰縣人、米國コロンビ
ヤ大學卒業、上海復旦大學及持志大
學教授に歴任、現に國立暨南大學法
學院院長兼政治經濟主任。

王九齡 字は竹村、年五十二歳、雲
南雲龍人、日本法政大學卒業、雲南
督署軍法課長、雲南財政司長、執政
府教育總長に歴任。

王大楨 年四十四歳、日本陸軍經理
學校、東京帝國大學卒業、ワシント
ン會議委員、山東交渉委員に歴任。

王以哲 現に東北獨立第七旅長。滿
洲事件の口火を切つた柳條溝鐵道爆
破の張本人。

王文培 字は仲達、河北深縣人、米
國コロンビヤ大學卒業、現に國立北
平大學女子師範學院教育科講師、著
作に青年職業指導がある。

王文典 年五十一歳、浙江遂安人、
上海國貨維持會會長、南洋兄弟烟草
公司華北總經理、京師總會會長に歴

任。

王文顯 字は力山、年四十六歳、江
蘇崑山人、ロンドン大學卒業、駐歐
洲財政委員、清華學校教務長等に歴
任、現に國立清華大學外國文學科主
任教授、國立北京大學英文科講師、
著作に英文留米指書あり。

王仁輔 字は士樞、年四十八歳、江
蘇崑山人、米國ハーバード大學卒業
現に北京大學數學科主任教授、北平
鹽務學校教授。

王占棋 現に雲南外交部特派員。

王正廷 字は儒堂、年五十二歳、浙
江奉化人、米國エール大學卒業、第
一革命後湖北軍外交部長、臨時參議
院議員、工商次長兼總長代理、衆議
院副議長、パリ會議全權、山東問
題交渉全權、汪内閣外交總長、國務
總理、黃内閣外交總長、露支會議督
辦、關稅會議全權、許内閣外交總長
國民政府外交部長に歴任、現に國民

黨第四次中央委員。

王世鼎 字は調甫、年三十一歳、安
徽貴池人、米國ワシントン大學經濟
學博士。

王占元 字は子春、年七十二歳、山
東冠縣人、北洋武備學堂卒業、新軍
協統、陸軍第二師師長、湖北督軍兼
省長、兩湖巡閱使に歴任、山東武人
の長老。

王平政 年五十五歳、山西解縣人、
日本東京宏文學院師範科卒業、山西
軍政分府民政部司長河南省長公署秘
書等に歴任、現に監察院監察委員。

王世杰 字は雪艇、年四十二歳、湖
北崇陽人、佛國巴里大學法學博士、
國立北京大學憲法教授、國民政府法
制局長、國立中央研究院社會科學研
究所法制組主任、立法院立法委員に
歴任、現に國立武漢大學校長。

王用賓 字は太鞋、年五十五歳、山
西猗氏人、日本留學生、現に國民政

府立法院立法委員、考試院考選委員會副委員長。

王均 字は治平、雲南人、國民革命軍三軍軍長、國民政府軍事委員會委員、江西省政府委員等に歴任、現に陸軍第七師師長、津浦線警備司令

王守成 字は志稼、年三十八歳、江蘇吳縣人、米國シカゴ大學植物學科出身、現に國立中央大學理學院生物學科教授、著作に公民生物學あり。

王守忠 現に天津造幣廠長

王守善 字は輝虹、年五十二歳、江蘇上海人、進士、日本高等工業學校卒業、農工商部主事、神戸領事、橫濱總領事、朝鮮總領事に歴任。

王向榮 現に山東省政府委員兼財政廳長。

王有容 獨逸伯林大學卒業、現に上海光華大學數學教授。

王汝圻 字は旬伯、年五十三歳、江蘇阜寧人、日本早稻田大學卒業、現

に上海法政學院教授。

王廷松 年三十四歳、浙江上虞人、現に上海市黨部監察委員、上海市商會執行委員。

王廷璋 字は子璋、年四十九歳、浙江紹興人、現に駐葡萄牙國公使。

王廷颺 字は煥一、江蘇吳縣人、現に國民政府內政部長民政司長。

王伯秋 江蘇江寧人、日本早稻田大學出身、國立東南大學政治經濟科主任、江蘇法政大學教務長に歴任。

王伯羣 年四十九歳、貴州興義人、日本中央大學卒業、約法會議議員、貴州黔中道尹、貴州省長、國民黨中央政治會議委員、國民政府委員、上海交通大學校長、國民政府交通部長に歴任、現に國民黨第四次中央執行委員、中國航空公司理事長、上海大夏大學校長。

王孝英 女史、福建閩侯人、國立北京女子高等師範學校卒業、福建省立

女子師範學校校長、福建屏南縣縣長に歴任、現に上海市立務本女子中學校校長。

王孝資 字は曉籟、年四十七歳、浙江嵊縣人、上海總商會理事、上海開北商會會長、上海市政府參事、全浙江公會主席、全國捲菸特稅局局長、財政部菸酒稅處副處長兼江蘇捲菸稅局局長、財政部捲菸稅處副處長、捲菸石油稅處副處長、蘇浙區麥粉特稅局局長に歴任、現に上海市商會執行委員兼主席、中央造幣廠副廠長。

王易 字は曉湘、年四十五歳、江西南昌人、國立北京大學卒業、現に國立中央大學文學院中國文學科副教授、著作に修辭學、修辭學通論あり

王法勤 字は勵齋、年五十六歳、河北高陽人、直隸諮議局議員、參議院議員、國民黨第二期中央執行委員、中央政治會議委員、北平政治分會委員に歴任、現に國民黨第四次中央委

員。

王金鈺 字は湘江、年四十九歳、山東武城人、日本陸軍士官學校騎兵科卒業、陸軍第四十七師師長、討逆軍第九軍軍長、討逆軍第十四路總指揮に歴任。

王東原 現に陸軍第十五師師長。

王柏齡 字は茂如、年四十五歳、江蘇江都人、日本陸軍士官學校砲兵科卒業、廣東大元帥府參謀、黃埔軍官學校教官、國民革命軍第一軍副軍長第一獨立師師長、中央軍官學校教授部主任、江蘇建設廳長に歴任、現に國民黨第四次中央執行委員。

王桐齡 字は燁山、年五十四歳、河北任邱人、日本東京帝國大學卒業、現に國立清華大學歷史學科講師、國立北京大學史學科講師。

王家楨 字は樹人、年三十四歳、吉林双城人、日本慶應大學卒業、外交部特派威海衛接收委員、國民政府外

交部常務次長に歴任。

王國秀 女史、江蘇人、米國コロンビア大學哲學博士、南京金陵女子大學史學科主任を経て、現に上海大夏大學史學科主任。

王雲五 字は岫巖、年四十六歳、廣東中山人、吳淞中國公學教授、南京臨時大總統府秘書、教育部專門教育司司長、教育次長、北京中國大學教授、北京民報編輯、蘇皖贛三省禁煙特派員、中華民國大學院譯名統一委員會委員兼主任、上海商務印書館編輯所所長に歴任、現に商務印書館總經理兼研究所所長、東方圖書館々長著作に四角號碼檢字法、中外圖書統一分類法、王雲五大辭典等あり。

王揖唐 字は一堂、年五十六歳、安徽合肥人、光緒甲辰科進士、日本振武學校、法政大學、參議院議員、議長、參政院參政、吉林巡按使、內務總長、衆議院議員、議長、安徽省長

兼督辦著作に傳今は樓詩話等がある

王景岐 字は石孫、年五十一歳、福建閩侯人、佛國巴里大學卒業、現に中華國民拒毒會主席。

王庚 字は毅卿、年三十八歳、江蘇無錫人、米國ワサストポイント陸軍大學卒業、交通部護路軍副司令、浙江軍務善後事宜督辦公署高級參謀編遣委員會編組部設計處副處長、淮北鹽務緝私局長に歴任、上海事變中アスターハウスで逮捕され我軍に取調べられたる、こゝあり。

王震 字は一亭、年六十七歳、浙江吳興人、上海における實業家で、邦人間には文人畫家として著名、日清汽船會社買辦、大連汽船碼頭公司經理、龍華孤兒院經營、上海事變前日清買辦を辭す、現に國民政府賑務委員會委員、導淮委員會委員、上海麵粉交易所理事長、上海昌明藝術專科學校校長。

王 璞 字は蘊山、年五十八歳、河北人、注音字母發明者、現に國立北平師範大學及國立北平大學女子師範學院講師。

王樹常 字は蓮午、奉天遼中人、日本陸軍士官學校及陸軍大學卒業、前河北省政府主席。

王樹翰 字は繼宙、年五十九歳、奉天人、奉天軍機製造廠長、奉天被服廠副廠長、奉天度支司科長、奉天財政廳長、吉林官銀號監理官、吉林政務廳長、吉林省長に歴任、現に國民政府委員。

王鴻年 字は魯璠、年六十歳、浙江永嘉人、東京帝國大學法學士、駐日公使館參事銜一等秘書官、フシントン會議支那代表に歴任。

王獨清 詩人。

王寵惠 字は亮疇、年五十一歳、廣東東莞人、米國エール大學法學博士、南京臨時政府外交總長、司法總長、

上海中華書局編輯、復旦大學副校長、國際聯盟及フシントン會議代表、國際司法裁判所判事、國務總理、關稅特別會議委員、治外法權調查委員會委員、教育總長、國民政府司法部長、同司法院院長に歴任、現に國民黨第四次中央監察委員、中央政治會議委員、國民政府委員、ヘーグ國際法廷に出席中。

王 瑚 字は鐵珊、年六十六歳、河北定縣人、進士、黃河水利委員會副委員長。

▲五 畫

史尙寬 字は且生、年三十六歳、安徽桐城人、日本東京帝國大學法學士、現に國民政府立法院立法委員。

史量才 名家修、年五十二歳、江蘇深陽人、現に上海申報館經營。

史維煥 字は奎光、貴州人、日本京都帝國大學法學士、現に立法院立法

委員、著書に富の研究、交通論等あり。

甘乃光 廣西人、米國シカゴ大學卒業、廣東市長、國民黨第二期中央執行委員、中央政治會議委員に歴任、著作に先秦經濟思想史等あり、現に國民黨第四次中央執行委員。

甘介侯 江蘇寶山人、米國ハーバード大學哲學博士、上海大夏大學政治學教授、國民政府外交部秘書、外交部次長に歴任。

田 漢 字は壽昌、湖南人、日本留學生、上海中華書局編輯、國立暨南大學大夏大學戲劇教授、上海南園藝術院主任、復旦大學戲劇教授に歴任、著作に田漢戲典集等あり。

白崇禧 字は健生、年四十歳、廣西桂林人、保定軍官學校卒業、現に國民黨第四次中央執行委員廣西政府委員、西南政務委員會委員で、廣西實力派の一人。

白雲梯 字は巨川、内蒙古人、北京蒙藏學校卒業、國民黨第二期中央執行委員、中央政治會議委員に歴任、現に蒙藏委員會委員。

包 容 字は伯度、年四十歳、浙江人、日本鹿兒島高等農林卒業。

石友三 字は漢章、吉林人、陸軍第二十四師長、河南省政府委員、安徽省政府委員兼主席、討逆軍第十三路總指揮に歴任。

石青陽 字は蘊光、年五十四歳、四川人、日本蠶絲專門學校卒業、現に蒙藏委員會委員長。

▲六 畫

伍光建 字は昭展、年六十五歳、廣東新會人、英國留學生、出使日本大臣隨員、外國政治視察大臣一等書記官、海軍處顧問、軍糧司司長、財政部顧問、鹽務署參事等に歴任、現在では外國文學の譯著に努力、哲學、

歷史、文學譯著多し。

伍連德 字は星聯、年五十三歳、廣東台山人、英國ケンブリッジ大學醫學博士、獨佛兩國研究生、天津北洋軍醫學校校長、北滿防疫處處長兼總醫官、大總統府醫官、外交部醫官、英國阿片會議代表、中國醫學會會長、國民政府軍政部陸軍署軍醫司長、衛生部技監等に歴任し、現に禁煙委員會委員、全國海港防疫處處長。

伍愛蓮 伍連德の女、先驅的映畫女優。

伍朝樞 字は梯雲、年五十一歳、廣東新會人、英國倫敦大學法學士、湖北外交司長、衆議院議員、海軍部編纂員政事堂參議、外交部參事、巴里講和會議廣東政府代表、廣東政府外交部長、廣東市長、國民政府委員兼駐米公使に歴任、現に第四次中央執行委員、西南政務委員會委員。

朱光沐 字は秀峰、年三十六歳、浙江紹興人、北京大學卒業。

朱兆萃 字は鼎青、年五十五歳、廣東花縣人、米國コロンボヤ大學卒業、駐伊公使、國際聯盟支那代表、國民政府外交部政務次長、廣東政府委員廣東海關監督兼外交部特派廣東交涉員に歴任、今春故人となる。

朱家驊 字は驥先、年四十一歳、浙江吳興人、獨逸柏林大學地質學博士、北京大學教授、廣東省政府委員兼民政廳長、國民黨廣東政治分會委員、浙江省政府委員兼民政廳長、國立中央大學副校長、國立中山大學校長、中央政治會議候補委員、國立中央大學校長に歴任、現に國民政府教育部長。

朱 深 字は博淵、年五十四歳、河北永清人、日本東京帝國大學法學士、法典編纂會纂修、京師總檢察廳檢察官、約法會議議員、總檢察廳檢察長

内務總長、司法總長、京師警察總監に歴任。

朱良紹 字は一民、年四十三歳、福建閩侯人、日本陸軍士官學校砲兵科卒業、現に陝西省政府主席。

朱培德 字は益之、年五十三歳、雲南寧寧人、雲南講武堂卒業、大元帥府參軍長、中央直轄第一軍軍長、國民革命軍第三軍軍長、第五路總指揮、第一集團軍前敵總指揮、國民政府軍事委員會常務委員、國民黨中央政治會議委員、江西省政府委員兼主席、國軍編遣委員會常務委員、現國民黨第四次中央執行委員、國民政府委員、參謀總長。

朱章實 字は隱青、浙江金華人、日本帝國大學文學士及中央大學法學士、現に上海法政學院教授、大夏大學教授。

朱義農 上海新聞報經濟部長。
朱綬光 字は蘭蓀、年四十七歳、湖

北蕩陽人、日本陸軍士官學校砲兵科卒業、現に河北省政府委員。

朱 熙 字は環甫、年五十四歳、湖南漢壽人、日本陸軍士官學校卒業、現に安徽省政府委員兼民政廳長。

朱慶淵 字は子橋、年五十九歳、浙江紹興人、陸軍第三十三協協統、鎮安右將軍、黑龍江巡按使、廣東省長、東支鐵道護路總司令兼特別區行政長官に歴任、現に國民政府賑務委員會委員、監察院監察委員、内戰廢止大同盟委員、東北義勇軍後援會長。
朱應鵬 浙江永康人、現に上海市黨部監察委員、上海申報編輯、中國公學秘書長兼總務長。

朱鶴翔 字は鳳干、年四十五歳、江蘇寶山人、外交部政務司司長、平津衛戍總司令部參議に歴任。
江亢虎 年四十九歳、安徽旌德人、日本、米國留學生、現にカナダムキイ大學支那學院院長。

八

江洪杰 現に駐日公使館一等秘書。
江 庸 字は翊雲、年五十五歳、福建長河人、日本早稻田大學政治經濟科卒業、司法次長、司法總長、日本留學生監督、修訂法律館總裁、國立北京法政大學校長、故宮博物院古物館館長、東方文化事業總委員會委員に歴任。

江華本 字は鑑源、年五十歳、湖北鄂城人、日本東京帝國大學法科卒業、湖北外交司副司長、外交部主事、僉事、政務司幫辦、國民政府外交部亞洲司第二科科長、國際司幫辦に歴任、現に駐日公使館參事官。

▲七 畫

何公敢 名は崧齡、年四十五歳、福建閩侯人、日本東京帝國大學經濟學士、上海商務印書館編輯、福建教育廳長、國民革命軍總司令部總政治部宣傳處長、福建鹽運使に歴任、現に

福建省政府委員兼財政廳長、福建財政特派員、著作に公債、譯著財政總論などあり。

何世楨 字は思毅、年三十九歳、安徽望江人、米國ミシガン大學法學博士、第三次國際辯護士協會支那代表、上海公共租界臨時法院長に歴任、現に上海持志大學校長。

何成濬 字は雲竹、年五十二歳、湖北隨縣人、日本陸軍士官學校步兵科卒業、南京臨時政府陸軍部副官處長、南京留守府總務廳長、湖北靖安處主任、國民革命軍總司令部總參議、軍事委員會委員、討逆軍第九軍軍長、第三軍團總指揮、國民政府參軍長、湖北省政府委員兼主席、討逆軍第五路總指揮に歴任、現に國民黨第四次中央執行委員。

何其鞏 字は克之、年三十四歳、安徽桐城人、國民黨北平政治分會委員、北平特別市市長に歴任。

何思敬 名は長、浙江杭縣人、日本帝國大學法學士、現に廣東國立中山大學法科主任。

何香凝 故廖仲愷夫人、廣東人、國民黨第二期中央執行委員、中央政治會議委員、國民政府委員に歴任、年四十五、六歳。

何柱國 山海關警備司令たり山海關事件起り後辭す、現に東北陸軍步兵第三旅旅長。

何輯五 貴州興義人、何應欽の弟、現に中國航空公司董事兼理事長。

何 鍵 字は芸樵、年四十六歳、湖南醴陵人、保定軍官學校卒業、湖南暫編陸軍第十四旅旅長、國民革命軍第八軍第二師師長、第三十六軍軍長、陸軍第十九師師長、新編第七師師長、陸軍第十五師師長、討逆軍第四路總指揮に歴任、現に湖南省政府主席、剿匪西路總司令たり。
何應欽 字は敬之、年四十四歳、貴

州興義人、日本陸軍士官學校步兵科卒業、貴州陸軍第五混成旅旅長、貴州全省警務處處長、廣東黃埔軍官學校總教官、國民革命軍第一軍第一師師長、第一軍軍長、第一路總指揮、軍事委員會常務委員、浙江省政府委員兼主席、國軍編遣委員會常務委員、中央黨部訓練部副部長等に歴任、現に中央政治會議委員、國民政府委員、軍政部長、訓練總監部總監、國民黨第四次中央執行委員、建設委員會委員にして且つ北平軍事分會委員長たり、蔣介石の右腕として國民政府部内に重きをなす。

何豐林 字は茂如、年五十九歳、山東平陰人、天津武備學校卒業、かつて滬滬護軍使たり。

何競武 かつて平漢鐵道管理局長たり。
余上沅 湖北江陵人、米國コロンビヤ大學研究員、上海新月書店の經理

九

たりしことあり、現に國立北京大學英文科講師。

余日章 年五十一歳、湖北武昌人、上海セントゲヨン大學、米國ハーバード大學卒業、武昌文華大學堂長。副總督府外交官、上海中華基督教青年會長、ワシントン會議に基督教徒代表として出席、上海共同租界支那側顧問を経て、現に中國青年會全國協會長、太平洋會議支那主席。

余井塘 字は倫、年三十六歳、江蘇興化人、米國カリフォルニア大學卒業、現に考試院考選委員會委員。

余雲岫 字は巖、年五十三歳、浙江鎮海人、日本大阪醫科大學卒業、現に東方文化事業部上海委員會委員、上海雲岫醫院長、日本人には余殿氏として知られてゐる。

余楠秋 名は箕傳、湖南長沙人、米國留學生、現に上海復旦大學文學院院長兼西洋文學科及び歴史學科主任

中國公學教授、國立暨南大學講師。余漢謀 現に廣東軍第一軍長兼第三師長。

克希克圖 字は仲養、年四十四歳、蒙古人、日本明治大學及び高等警察學校卒業、衆議院議員、蒙藏院科員臨時參議院議員に歴任。

吳山 年四十八歳、四川人、日本大學卒業、廣東政府司法次長、代理部長に歴任、現に全國鐵道協會幹事長。

吳天放 年三十八歳、浙江奉化人、國立北京大學法學士、かつて國民政府外交部情報司幫辦兼第三科科長。吳文藻 年三十五歳、江蘇江陰人、米國コロンビア大學哲學博士、現に北平燕京大學社會學教授、國立清華大學社會人類學科講師。

吳光新 字は自堂、年五十二歳、安徽合肥人、日本陸軍士官學校砲兵科卒業、陸軍二十師師長、長江上游總

司令、四川查辦使を経て段内閣の陸軍總長、陸軍訓練總監に歴任、段祺瑞の妹婿、安徽派の要人。

吳玉璋 國民黨中央執行委員、十六年國民政府委員、同七月共產黨籍にあるの故を以て除名。

吳佩孚 字は子玉、年六十一歳、山東蓬萊人、北洋武備學堂卒業、第三師師長、直魯豫巡閱副使、兩湖巡閱使、直魯豫巡閱使に歴任。

吳南如 字は炳文、年三十六歳、江蘇宜興人、現に外交部情報司長。吳南軒 名は冕、江蘇儀徵人、米國カリフォルニア大學哲學博士、現に國立清華大學校長。

吳思豫 字は立凡、浙江嘉興人、日本陸軍士官學校歩兵科卒業、現に南京警察廳長。

吳貽芳 女士、米國哲學博士、現に南京金陵女子學院院長。吳開先 現に國民黨上海市黨部執行

委員兼組織部長。

吳凱聲 江蘇宜興人、佛國巴里大學法學博士、現に國際聯盟支那代表部秘書長。

吳毓麟 字は秋舫、年六十五歳、河北天津人、北洋水師學堂卒業、交通總長たりしことあり。

吳經熊 字は德生、年三十五歳、浙江鄞縣人、米國法學博士、かつて上海公共租界臨時法院代理院長として名あり、現に上海東吳大學法學院院長兼教授、憲法草案の起草者。

吳敬恒 字は稚暉、年六十九歳、江蘇武進人、舉人、日本宏文學院卒業、英佛留學、現に國民黨第三期中央監察委員、中央政治會議委員、建設委員會委員、導淮委員會委員。

吳鼎昌 字は達銓、年五十歳、四川華陽人、日本東京高等商業學校卒業、現に上海四行準備庫總理。吳醒亞 安徽民政廳長代理、安徽省

政府委員兼主席代理、湖北省政府委員兼民政廳長に歴任、現に上海市社會局長。

吳藻華 江蘇宜興人、日本陸軍士官學校歩兵科卒業、陸海空軍撫卹委員會委員、江蘇省政府委員に歴任。吳鶴齡 字は梅軒、卓索圖盟人、現に蒙藏委員會蒙事處長。

吳鐵城 年四十八歳、廣東中山人、米國留學生、廣東大元帥府參謀、廣東香山縣縣長、廣東市公安局長、廣東全省警務處長、廣東軍第一路司令、廣東憲兵總司令、武漢憲兵總司令、國民革命軍第六軍第七師師長、廣東省政府建設廳長、國民政府警察總監第三期中央執行委員、內政部政務次長に歴任、現に上海市長。

呂志伊 字は天民、年五十二歳、雲南思茅人、日本早稻田大學政治經濟科卒業、現に國民政府立法院立法委員。

宋子文 年四十四歳、江蘇上海人、米國ハーバード大學經濟學士、廣東中央銀行長、廣東國民政府財政部長に歴任、現に國民黨第三期中央執行委員、中央政治會議委員、國民政府委員兼行政院副院長、財政部長、建設委員會委員、全國經濟委員會常務委員。

宋子良 江蘇上海人、宋子文の弟、現に上海清浦局長、國貨銀行協理。宋美齡 蔣介石夫人、年三十二歳、米國ウーズレー大學文學士、江蘇上海人、現に國民政府立法院立法委員

宋哲元 字は明軒、年四十八歳、現に第二十九軍軍長、察哈爾省政府主席。宋慶齡 故孫文夫人、年四十五歳、江蘇上海人、ウーズレー大學卒業、現に國民黨第四次中央委員、國民黨の最左派。

岑春煊 字は雲階、年七十六歳、廣

西西林人、光祿寺少卿、太僕寺少卿、廣東布政使、甘肅布政使、陝西巡撫、山西巡撫、廣東巡撫、署理四川總督、兩廣總督、雲貴總督、廣東軍政府主席總裁兼內務部長。故人なる。

李大年 字は壽彭、湖南武岡人、現に國民政府行政院參事、譯著に歐洲新教育、經濟思想十二講等がある。

李文範 字は君佩、年四十八歳、廣東番禺人、日本法政大學卒業、廣東省政府參事、外交部參事、國民黨廣東政府分會委員等に歴任、現に國民黨第四次中央執行委員、中央政治會議候補委員。

李世甲 現に海軍部政次長兼總務司長。

李生達 現に第七十一師師長。

李石岑 年四十二歳、湖南醴陵人、日本留學生、上海商務印書館編譯所教育雜誌編輯主任、大夏大學哲學教授を経て現に國立勞動大學及光華大學教授。

學哲學教授。

李仲公 年四十四歳、貴州貴筑人、日本早稻田大學卒業。

李宗仁 字は德鄰、年四十三歳、廣西桂林人、廣西陸軍學堂卒業、廣西善後督辦、廣西全省靖綏處督辦、國民革命軍第七軍軍長、第三路總指揮、第四集團軍總司令、軍事委員會常務委員、中央政治會議委員、武漢政治分會委員兼主席、國民政府委員兼軍事參議院院長に歴任、現に建設委員會委員、國民黨第四次中央執行委員、廣西省政府委員、西南政務委員會委員、第九路軍軍長。

李服膺 字は真顔、現に第六十八師師長。

李 浦 字は靜派、河北磁縣人、日本明治大學法學士、現に國立北京大學經濟科講師、國立北平大學法學院教授。

李書華 字は潤章、年四十四歳、河

北昌梁人、佛國巴里大學理學博士、現に立法院立法委員。

李書城 字は小澗、年四十九歳、湖北潛江人、日本陸軍士官學校卒業、臨時大總統府秘書長、南京留守府參謀長、陸軍總長、湖北省政府委員兼建設廳長に歴任。

李烈鈞 字は協和、年五十一歳、江西武寧人、日本陸軍士官學校砲兵科卒業、安徽都督、江西都督、廣東政府參謀總長、江西省政府委員兼主席、國民政府常務委員、軍事委員會委員、僑務委員會委員、國民黨第二期中央執行委員、中央政治會議委員に歴任、現に國民黨第四次中央候補監察委員。

李培天 字は子厚、年三十八歳、雲南賓川人、日本明治大學經濟學士、現に國民政府蒙藏委員會委員、外交部條約委員會委員、雲南省政府駐京代表。

李培基 字は涵礎、前綏遠省政府委

員兼主席。

李盛鐸 字は木齊、年七十二歳、江西九江人、光緒進士、翰林院編修、國史館協修、京師大學堂總辦、江南道監察御史、出使日本國大臣、順天府府丞、太常寺卿、山西布政使、山西巡撫、大總統府政治顧問、農商總長、參議院議長、國政商權會會長に歴任。

李雲杰 現に第二十七軍軍長。

李景林 字は芳岑、年四十九歳、河北藁城人、保定軍官學校卒業、黑龍江督軍署參謀長、東北陸軍第一師師長、直隸省長、國民政府軍事委員會委員、現に中央國術館副館長。

李揚敬 現に廣東軍第三軍軍長。

李雲龍 字は虎臣、陝西人、現に湖北の新編第三師師長。

李經芳 字は伯行、年七十四歳、安徽合肥人、舉人、駐日公使、駐英公使、郵政總局局長等に歴任。

李福林 字は祭同、年五十七歳、廣東番禺人、廣東衛戍司令、廣東市長、廣東警務處長、國民革命軍第五軍軍長、國民政府軍事委員會委員に歴任。

李瑪利 女史、年四十一歳、山東萊陽人、米國イリノイ大學卒業、現に國立中央大學文學院外國文學科講師。

李德全 馮玉祥夫人。

李 銘 字は龍孫、年四十七歳、浙江紹興人、日本山口高等商業學校卒業、現に上海浙江實業銀行總經理、中央銀行監事、上海共同租界工部局經濟委員會主席、中國銀行董事長。

李 激 字は靜涵、年五十二歳、江蘇無錫人、日本明治大學商科卒業、現に上海で會計師を營む。

李調生 江蘇武進人、國民政府財政部印花稅處處長兼江蘇印花稅局局長に任じたることあり、現に財政部常務次長。

李劍華 四川人、日本大學文學士、

現に上海中國公學、復旦大學及び國立勞動大學社會學教授。

李錦綸 年四十七歳、廣東人、米國紐育大學卒業、廣東交涉署政務科長、廣東軍政府外交部政務司長、廣東海關監督兼外交部特派廣東交涉員、上海滬江大學副校長兼政治學教授、光華大學政治學教授、國民政府外交部參事、駐墨國公使、外交部政務次長に歴任、現に租界回收委員會委員長。

李 覺 現に中央銀行發行局總務。

李濟琛 字は隆潮、年四十八歳、廣西梧州人、北京陸軍大學卒業、中央直轄軍第四軍第一師參謀長、第一師師長、國民革命軍第四軍軍長、第八路總指揮、軍事委員會常務委員、廣東省政府委員兼主席、國民黨第二期中央執行委員、中央政治會議委員、廣東政治分會主席、國民政府委員兼參謀本部長に歴任。

李寶章 現に國民政府軍事參議院參

講。

李韞珩 現に第十六軍軍長。

李權時 字は雨生、年三十八歳、浙

江鎮海人、米國コロンビヤ大學哲學

博士、上海商科大學、光華大學商科

及び大夏大學商科教授に歴任、現に

上海復旦大學商學院院長、中國公

學社會學科教授、國立暨南大學政治

經濟科講師、勞動大學社會科學院教

授。

杜亞泉 年六十歳、浙江紹興人、日

本留學生、現に上海商務印書館生物

學編輯。

杜錫珪 字は慎丞、年五十八歳、福

建閩侯人、南京水師學堂卒業、海軍

第二艦隊司令、海軍總司令、海軍總

長、國務總理、國民政府特派各國視

察專門委員に歴任。

杜 鏞 字は月笙、年四十六歳、江

蘇上海人、現に陸海空軍總司令部參

謀副司令部顧問、上海佛租界總商會

主席委員、納稅支那人會監察委員、

中匯銀行董事長、上海佛租界工部局

市參事會員。

汪兆銘 字は精衛、年四十九歳、廣

東番禺人、日本法政大學卒業、廣東

都督、巴里平和會議廣東政府代表、

國民政府委員、軍事委員會委員、國

民黨中央政治會議委員、國民黨第三

期中央執行委員等に歴任、現に國民

政府行政院長兼外交部長、全國經濟

委員會常務委員、第四次中央執行委

員。

汪 東 原名東寶、字は旭初、年四

十三歳、江蘇吳縣人、日本早稻田大

學卒業、現に國立中央大學文學院支

那文學科主任兼副教授。

汪伯奇 安徽婺源人、現に上海新聞

報經理。

汪英賓 安徽婺源人、米國コロンビ

ヤ大學新聞科卒業、現に上海申報副

經理。

汪英賓 字は衷甫、年五十三歳、江

蘇吳縣人、日本早稻田大學卒業、衆

議院議員、白耳義公使、スイス公使

駐日公使歴任、今夏故人となる。

沈士遠 年五十三歳、浙江吳興人、

先に考試院考選委員會秘書長たり。

沈尹默 年五十一歳、浙江吳興人、

日本東京帝國大學卒業、現に國立北

平大學校長。

沈家彝 字は季讓、年五十一歳、江

蘇江寧人、日本東京帝國大學法科卒

業、前國民政府司法行政部參事。

沈鴻烈 字は成章、湖北天门人、日

本海軍兵學校卒業、東北艦隊司令、

第一艦隊司令に歴任、現に青島市長

沈觀鼎 字は淪新、年四十歳、福建

閩侯人、日本東京帝國大學農學士、

外交部條約司譯員、ワシントン會議

支那代表團譯員、外交部秘書、國民

政府考試院秘書に歴任、現に考試院

參事、外交部條約委員會委員、外交

部亞洲司司長。

狄葆賢 字は楚青、又平予、年五十

八歳、江蘇溧陽人、江蘇諮議局議員

上海時報館經理たりしことあり。

谷正倫 貴州安順人、日本陸軍士官

學校砲兵科卒業、貴州陸軍第二混成

旅旅長、國民革命軍第四十軍第一師

師長、首都衛戍副司令に歴任、現に

首都憲兵司令。

邢士廉 字は隅三、年四十八歳、奉

天人、日本陸軍士官學校騎兵科卒業

東北陸軍第二十師師長、蘇皖魯剿匪

司令、滬滬戒嚴司令、北京衛戍司令

阮肇昌 字は紹文、雲南人、現に陸

軍第五十五師長。

八 畫

秉 志 字は農山、年五十一歳、河

南開封人、米國カーネル大學哲學博

士、現に中國科學社生物研究所所長

兼動物部主任。

周大文 字は萃章、江蘇無錫人、前

北平市市長。

周仲良 年四十七歳、貴州黎平人、

日本早稻田大學卒業、現に國民政府

文官處秘書兼印刷局長。

周作人 字は啓明、年五十歳、浙江

紹興人、日本留學生、現に北京大學

東方文學科主任、燕京大學國文教授

著作に談龍集、談虎集、自己的園地

等あり。

周作民 年五十一歳、江蘇淮安人、

日本京都帝國大學經濟科卒業、現に

北平金城銀行總經理。

周佛海 湖南人、日本京都帝國大學

經濟學士、現に訓練總監部政治訓練

處處長、著作に三民主義之理論的體

系がある。

周 狂 前神戸總領事。

周亞衡 字は普文、年四十四歳、浙

江嵊縣人、佛國巴里陸軍大學卒業、

現に國民政府訓練總監部訓練副監。

周啓剛 字は覺庸、年四十四歳、廣

東南海人、現に國民黨第四次中央執

行委員、國民政府僑務委員會委員。

周樹人 字は豫才、筆名魯迅、年五

十三歳、浙江紹興人、日本仙台醫學

專門學校卒業、紹興師範學校校長、

教育部主事、教育部參事、國立北京

大學、國立北京師範大學、國立北京

女子師範大學國文講師、廈門大學國

文教授、廣東中山大學文科主任、著

作に吶喊、彷徨、中國小說史略等あ

り。

周建人 浙江紹興人、評論家、周樹

人、周作人と共に三人兄弟、年四十

二歳。

周龍光 字は二爲、年四十八歳、安

徽定遠人、日本東京帝國大學法學士

北京大學教授、司法部參事、北京大

學副校長、國民政府外交部亞洲司長

天津市市長に歴任。

周鯁生 名は寛、字同上、年四十五歳、湖南長沙人、現に國立武漢大學法學院教授。

居 正 字は覺生、山東人、衆議院議員、廣東軍政府參事、國民政府委員に歴任、現に國民政府司法院院長、國民黨第四次中央執行委員。

岳盛宣 字は鳴三、江蘇鎮江人、現に陸軍第四十六師長。

岳維峻 字は西峯、陝西人、陸軍第三十四師長として湖北で共産軍討伐、中民國二十年共産軍に捕はれ現に共産軍の一師長として活躍あり。

易培基 字は寅村、年五十四歳、湖南長沙人、教育總長、國立勞動大學校長、國民黨中央政治會議委員、國民政府農礦部長、北平故宮博物院古物館館長に歴任。

林知淵 福建人、前福建省政府委員、林炳勳 字は仲立、年五十五歳、福建閩侯人、日本大學卒業、現に國民

政府最高法院檢察署檢察官、

林 森 字は子超、年七十一歳、福建閩侯人、福建省長、國民政府立法院副院長、立法院長に歴任、現に國民政府主席、僑務委員會委員長、中央政治會議委員。

林雲陔 廣東人、廣東政府委員、廣東市長に歴任。

林蔚章 字は碩田、年四十九歳、福建閩侯人、日本中央大學法科卒業、國務院法制局參事、國民政府最高法院檢察署檢察官に歴任。

林翼中 現に廣東省政府委員。

林植夫 元陳銘樞の秘書。

金井羊 名は其眉、字同上、江蘇寶山人、日本早稻田大學卒業、獨逸キール大學卒業、民國二十一年七月中旬鐵道部財政司長在職中逝去。

金問泗 字は純孺、年四十二歳、浙江嘉興人、米國コロンビヤ大學卒業、前國民政府實業部參事。

金會澄 字は湘帆、年五十二歳、廣東番禺人、日本廣島高等師範學校卒業、現に廣東省政府委員兼教育廳長。

金漢鼎 字は鶴九、年五十四歳、雲南人、現に雲南省政府委員。

門致仲 字は靖原、年四十五歳、吉林人、綏遠全區警務處處長、寧夏省主席たりしこあり。

▲九 畫

俞作柏 廣西北流人、廣西省主席たりしこあり。

俞飛鵬 字は樵峯、浙江奉化人、現に交通部政務次長。

俞濟時 現に陸軍第八十八師長。

俞鴻鈞 年三十七歳、廣東新會人、上海セントヤロン大學卒業、現に上海市政府參事兼秘書長。

姜 琦 字は伯韓、年四十七歳、浙江永嘉人、日本東京高等師範學校卒業、米國コロンビヤ大學卒業、現に

廈門大學教育學院教授。

施存統 日本早稻田大學卒業、在日中共産黨的色彩を帯びたるため日本官憲より放逐さる、陳公博派。

施肇基 字は植之、年五十七歳、浙江杭縣人、米國カーネル大學卒業、吉林交涉使、外務部左丞、交通總長駐英公使、巴里和平會議代表、ワシントン會議代表、駐米公使、更に駐英公使等に歴任、駐英公使當時一九三一年聯盟支那代表として活躍、現に駐米公使。

柏文蔚 字は烈武、年五十八歳、安徽鳳陽人、安徽都督、國民革命軍第三十三軍軍長、國民政府委員、中央政治會議委員に歴任。

柯劭忞 字は鳳孫、年七十八歳、山東膠縣人、進士、日本東京帝國大學は名譽文學博士の學位を贈れり、今夏故人となる。

段祺瑞 字は芝泉、年六十九歳、安

徽合肥人、北洋武備學堂卒業、獨逸留學、江北提督、建威上將軍兼將軍府事務管理、陸軍總長、國務總理、臨時執政に歴任。

段錫朋 字は書治、年三十六歳、江西永新人、米國コロンビヤ大學、英國ロンドン大學、獨逸柏林大學、佛國巴里大學卒業、現に國民政府教育部次長。

洪 深 字は伯駿、年四十歳、江蘇武進人、米國ハーバード大學卒業、上海大夏大學戲曲教授、國立暨南大學外國語文學科主任、復旦大學英文學及び戲曲教授、天津市政府秘書長等に歴任、現在では上海のトッキー映画會社明星公司に關係。

胡世澤 字は壽曾、年三十九歳、浙江吳興人、佛國巴里大學卒業、外交部條約司科長、國民政府外交部秘書兼總務司交際科長、外交部亞洲司長に歴任。

胡宗鐸 字は今于、年四十一歳、湖北黃梅人、保定軍官學校卒業、湖北省政府委員、陸軍第十六師師長、武漢衛戍司令等に歴任。

胡祖同 字は孟嘉、年四十五歳、浙江鄞縣人、英國バークミンガム大學卒業、現に交通銀行總經理兼上海分行經理、上海市銀行理事、上海銀行公會主席員、上海公共租界市參事會員。

胡若愚 年三十八歳、安徽合肥人、國立北京大學法學士、北京崇文門稅務監督、青島市長に歴任。

胡庶華 字は春漢、年四十八歳、湖南攸縣人、獨逸柏林工業大學卒業、現に國立同濟大學校長、中國工程學會會長。

胡 適 字は適之、年四十三歳、安徽績溪人、米國コロンビヤ大學哲學博士、國立北京大學哲學教授、英文學科主任兼教務長、努力週報總編輯、上海光華大學哲學教授、吳淞中國公

學校長兼文理學院院長を経て現に文化教育基金委員會幹事兼編譯委員會委員長、著作に中國古代哲學史、白話文學史、胡適文存等あり。

胡漢民 字は展堂、年四十九歳、廣東番禺人、日本法政大學卒業、廣東都督、南京臨時大總統府秘書長、廣東省長、大元帥府總參謀、國民黨中央政治會議主席、國民政府外交部長、軍事委員會委員、國民政府委員兼立法院長に歴任、現に國民黨第四次中央執行委員、中央政治會議委員、西南政務委員會委員。

胡霖 字は政之、年四十八歳、四川人、日本東京帝國大學卒業、現に天津國聞通訊社長兼總編輯。

胡鴻基 字は叔威、年四十歳、江蘇無錫人、米國留學生、現に上海市政府衛生局長。

范石生 雲南人、現に陸軍第五十一師長、民國二十一年七月共產軍討伐

に従事中沙市東北方にて共產軍に包圍され重傷。

范其務 現に福建省政府財政廳長。

范熙績 字は紹陵、湖北黃陂人、日本陸軍士官學校騎兵科卒業、現に陸軍第二十六軍長。

范壽康 字は允藏、年三十七歳、浙江上虞人、日本東京帝國大學文學士、上海商務印書館編輯、上海大夏大學教授、國立第一中山大學教授兼秘書長に歴任。

郁達夫 名は文、年三十七歳、浙江富陽人、日本東京帝國大學經濟學士、創造社同人、著作に達夫全集、迷羊などあり。

香翰屏 現に廣東軍第二軍長兼第六師師長。

徐永昌 字は次長、年四十五歳、山

十畫

西輝縣人、陸軍大學卒業、綏遠省政府主席、河北省政府主席、陸軍第三十二師師長に歴任、現に第三十三軍長。

徐世昌 字は菊人、年七十六歳、河北天津人、佛國巴里大學名譽文學博士、國務卿、中華民國大總統に歴任

徐庭瑤 現に陸軍第四軍長。

徐淑布 年三十九歳、廣東人、米國コロンビヤ大學哲學博士、現に北平燕京大學政治學科主任。

徐悲鴻 年三十九歳、江蘇宜興人、佛國巴里美術學校卒業、現に國立中央大學教育學院藝術專修科副教授。

徐新六 字は振飛、年四十四歳、浙江杭州人、英佛留學生、現に上海浙江興業銀行總經理、上海公共租界工部局市參事會員。

徐源泉 湖北人、現に陸軍第四十八師師長。

徐謙 字は季龍、年六十二歳、遼

士廣東政府司法部長、天津北京益世報總編輯、國民黨第二期中央執行委員中央政治會議委員に歴任。

徐謨 字は叔謨、年四十一歳、江蘇吳縣人、米國ワシントン大學卒業、現に外交部政務次長。

恩克巴圖 字は子榮、年四十五歳、內蒙古人、日本留學生、現に國民黨第三期中央監察委員、立法院立法委員蒙藏委員會委員。

殷汝耕 字は亦農、年四十四歳、浙江永嘉人、日本早稻田大學法學士、國民政府交通部航政司長たりしことあり、現に陸海空軍總司令部參議、戰區接收委員。

殷汝熊 浙江永嘉人、日本留學生、浙江高等法院長、山東高等法院院長に歴任、現に上海で辯護士開業。

殷汝驥 字は鶴夫、年五十歳、浙江永嘉人、日本早稻田大學卒業、衆議院議員、財政次長、福建鹽運使に歴

任。

唐生智 字は孟藩、年四十八歳、湖南寶慶人、保定軍官學校卒業、國民革命軍第八軍軍長、湖南省政府主席、國民政府軍事參議院院長に歴任。

唐有任 現に外交常務次長。

唐海安 現に上海海關監督。

唐悅良 年四十三歳、廣東中山人、米國留學生、國民政府外交部常任次長たりしことあり、夫人は馮玉祥夫人の姉。

唐紹儀 字は少川、年七十四歳、廣東中山人、米國コロンビヤ大學卒業、郵傳部大臣、國務總理、外交總長、廣東軍政府總裁兼財政部長に歴任、現に國民政府高級顧問。

夏斗寅 字は靈炳、湖北黃岡人、前陸軍第十三師師長。

夏奇峯 年四十五歳、江蘇泰縣人、現に國民政府外交部顧問。

孫桐崗 年二十六歳、第二十師師長孫

桐萱の弟、政府から派遣され獨逸で航空機の研究をなしユンケル工場で實習一年、本年六月二十六日獨逸から飛行機で歸國、各地訪問飛行をなし歓迎さる。

孫希文 現に廣東省政府委員。

孫良誠 字は紹雲、河北天津人、國民革命軍第二集團軍第一方面總指揮、山東省政府委員兼主席。

孫科 字は哲生、年四十三歳、廣東中山人、米國コロンビヤ大學卒業、廣東市長、廣東省建設廳長、財政廳長、國民政府交通部長、財政部長、鐵道部長等に歴任、現に國民黨第四次中央執行委員、立法院長、全國經濟委員會常務委員。

孫洪伊 字は伯蘭、年六十三歳、河北天津人、衆議院議員、教育總長、內務總長に歴任。

孫傳芳 字は馨遠、年四十八歳、山東歷城人、日本陸軍士官學校歩兵科

卒業、陸軍第二師師長、長江上游總司令、督辦福建軍務善後事宜、閩浙巡閱使等に歴任。

祝枕江 現に河北大學教授。

袁良 字は文欽、年五十一歳、浙江杭縣人、日本留學生、國務院秘書長、全國水利局總裁、國民政府駐日代表、外交部第二司司長、上海市政府秘書長、上海市公安局局長に歴任、現に北平市長として黃郛を助けて活躍してゐる。

郝夢齡 現に陸軍第五十四師師長。

馬良 字は相伯、年九十三歳、江蘇丹陽人、舉人、江蘇都督府外交司長政務長、北京大學校長、約法會議議員、參政院參政に歴任。

馬君武 名は和、年五十二歳、獨逸伯林大學工學博士、農商次長、參議院議員、廣東政府交通部長、廣西省長、司法總長、上海大夏大學校長、廣西大學校長、中國公學校長等に歴任

馬伯援 湖北人、日本及び米國留學留日學生監督。

馬宗榮 現に大夏大學教授。

馬寅初 年四十九歳、浙江嵊縣人、米國コロンビヤ大學哲學博士、國立北京大學教授、教務長、上海浙江興業銀行顧問、北京中國銀行總管理處紙幣發行部主任、浙江省政府委員を経て、現に國民政府立法院立法委員兼經濟委員會委員長、國立中央大學法學院經濟學科主任兼教授、著作に中國國外匯兌、中華銀行論、馬寅初講演集あり。

馬福祥 字は雲亭、甘肅導河人、前蒙藏委員會委員長。

馬鴻逵 字は少雲、甘肅導河人、馬福祥の子、現に山東省政府委員、第十五路總指揮。

高一涵 年四十八歳、安徽六安人、日本明治大學政治科卒業、國立北京大學教授、上海中國公學社會科學院

院長を経て現に監察院監察委員。

高紀毅 字は仁旉、年四十五歳、奉天人、元東北交通委員會委員長、現に北山(山海關)鐵路管理局長。

▲十一畫

高魯 字は曙青、年五十三歳、福建長樂人、前駐佛公使。

商震 字は啓宇、年四十八歳、河北保定人、北洋大學卒業、現に第三十二軍長。

崔士傑 字は景三、年四十五歳、山東臨淄人、日本東京帝國大學法學士、現に膠濟鐵路管理委員會委員。

張人傑 字は靜江、年六十歳、浙江吳興人、現に國民黨第四次中央監察委員、中央政治會議委員、國民政府建設委員會委員長。

張之江 年五十一歳、河北鹽山人、現に江蘇綏靖督辦。

江海鹽人、進士、中央教育會會長、學部副大臣、上海商務印書館編輯所長監理に歴任。

張作相 字は輔忱、年五十一歳、奉天錦縣人、東三省保安副司令、吉林省主席、東北邊防軍副司令官に歴任

張貞 福建人、現に陸軍第四十九師長、國民黨第四次中央執行委員。

張治中 四川成都人、現に陸軍第五路軍總指揮。

張宗昌 字は敦坤、年五十三歳、山東掖縣人、東北陸軍第二師師長、安國軍副司令、山東督辦に歴任、昨年末濟南で暗殺さる。

張東蓀 字は聖心、年五十一歳、江蘇吳縣人、日本留學生、大中華雜誌及正誼雜誌主筆、時事新報總編輯、中國公學代理校長、上海光華大學哲學教授に歴任。

張羣 字は岳軍、年四十五歳、四川華陽人、日本陸軍士官學校砲兵科

卒業、陸軍第二十三師長、大元帥府參軍、國民革命軍總司令部總參議、國民政府軍事委員會委員、上海兵工廠長、同濟大學校長、上海市長に歴任、現に國民黨第四次中央執行委員湖北省政府主席。

張惠長 年三十五歳、廣東中山人、米國航空學校卒業、廣東航空局局長、國民政府國政部航空署長に歴任、民國二十一年廣東で陳濟棠に自己の空軍を抑留さる。

張發奎 字は向華、廣東人、保定軍官學校卒業、第四軍軍長、第四師師長に歴任。

張資平 年三十八歳、廣東梅縣人、日本東京帝國大學卒業、小説家、上海で二三の大學の教授としてゐる。著作に小説多し。

張學良 字は漢卿、年三十三歳、奉天海城人、東三省陸軍講武堂卒業、作霖の子、東北保安總司令、國民政

府委員、陸海空軍副司令、東北邊防軍司令長官、東北政務委員會委員長たりし、こあり、今は外遊中。

張學銘 年二十五歳、奉天海城人、日本陸軍士官學校卒業、天津市長たりし、こあり。

張繼 字は溥泉、年六十歳、河北滄縣人、日本大學卒業、參議院議長、國民黨中央執行委員、中央政治會議委員、北平政治分會主席、國民政府司法院副院長に歴任、現に北平故宮博物院文獻館館長

張競仁 字は心毅、年五十四歳、浙江海寧人、日本東京帝國大學卒業、財政部公債科主任、財政次長に歴任

張競生 廣東澄海人、佛國巴里大學哲學博士、國立北京大學教授たりし、こあり、性史發行の元祖。

張輝會 字は榕西、年四十九歳、雲南大理人、日本早稻田大學法學士、司法總長、法權討論會會長等に歴任

現在上海で辯護士開業。

曹浩森 江西南昌人、現に軍政部常務次長。

梁冠英 字は子超、河南人、現に第二十五路總指揮。

梁得所 年二十八歳、廣東人、齊魯大學卒業、現に頁友圖書公司頁友雜誌編輯。

梁實秋 浙江杭縣人、米國ハーバード大學卒業、現に國立青島大學英文教授。

梅光羲 字は顯雲、年五十三歳、江西南昌人、日本早稻田大學卒業、現に最高法院檢察署檢察官。

章宗祥 字は仲和、年五十七歳、浙江吳興人、日本東京帝大卒業、法制局長、大理院院長、司法總長、農商總長、駐日公使に歴任。

章炳麟 字は太炎、年六十七歳、浙江餘杭人、統一黨總裁、大總統府顧問東三省籌邊使に歴任、著作に章氏

叢書數十種あり。

章錫琛 字は雪村、年四十五歳、浙江紹興人、現に上海開明書店經理。

莫德惠 字は柳忱、年五十歳、吉林雙城人、奉天財政廳長、農商次長代理、關稅特別會議委員、奉天省長、農商總長、東北交通委員會委員長に歴任。

許世英 字は俊人、年六十二歳、安徽秋浦人、大理院院長、司法總長、交通總長、内務總長、安徽省長に歴任に國民政府賑務委員會主席。

許崇智 字は汝爲、年五十三歳、廣東番禺人、日本陸軍士官學校步兵科卒業、廣東軍總司令、第二軍軍長、東路討賊軍總司令に歴任。

郭心崧 字は仲岳、浙江平陽人、日本京都帝國大學經濟學士、現に國民考試院參事。

郭汝棟 字は松雲、四川人、現に陸軍第二十六師師長。

郭秉文 字は鴻聲、年五十三歳、江蘇江浦人、米國コロンビア大學卒業、現に實業部貿易局長。

郭沫若 年は四十一歳、四川人、日本九州帝國大學醫學士、上海大夏大學文學教授、廣東中山大學文科主任、國民革命軍總司令部總政治部科長、副主任等に歴任、現に日本にあつて著述にかゝつてゐる、著作に中國古代社會研究その他文學書多數あり。

郭泰祺 字は復初、年四十五歳、湖北武穴人、米國ペンシルバニア大學卒業、外交部參事、巴里平和會議支那代表團專門委員、廣東元帥府參事、廣東政府外交次長、國立武昌商科大學校長、國民政府外交次長兼外交部特派江蘇交涉員、國民政府立法院立法委員、上海停戰會議支那正式代表に歴任、現に駐英公使。

陳大齊 字は百年、年四十七歳、浙江海鹽人、日本及び獨逸留學、現に

國民政府考試院秘書長。

陳友仁 年は五十五歳、廣東人、英國留學、國民政府外交部長に二度就任。

陳中孚 青島特別市市長、江蘇省政府委員に歴任。

陳公博 年四十三歳、廣東南海人、米國紐育大學文學士、國民黨第二期中央執行委員、中央政治會議委員を経て現に國民政府實業部長たり。

陳立夫 名は祖燕、年三十四歳、浙江吳興人、米國留學、國民革命軍總司令部辦公處機要科長、國民政府訓練總監部政治訓練處長、中央黨部秘書長に歴任、現に第四次中央執行委員中央黨部組織部長。

陳立廷 年三十九歳、山東福山人、米國エール大學卒業、現に上海青年會幹事長。

陳布雷 年四十四歳、浙江慈谿人、中央黨部宣傳部副部長、教育部常務

次長に歴任。

次長に歴任。

陳果夫 名は祖燕、浙江吳興人、現に國民黨第四次中央執行委員、國民政府委員兼監察院副院長、江蘇省政府主席。

陳季良 福建人、現に海軍第一艦隊司令。

陳抱一 廣東人、日本美術學校卒業洋畫家。

陳望道 浙江義烏人、日本中央大學文學士、現に復旦大學文學院支那文科主任兼教授。

陳策 字は壽碩、廣東人、廣東海防司令、廣東海軍司令、現に海軍第四艦隊司令なるも民國二十一年六月陳濟棠の海軍改編問題から追れて實際的に海軍を奪はる。

陳誠 現に第十八軍軍長。

陳紹寬 字は厚甫、年四十四歳、福建閩侯人、現に海軍部長。

陳銘樞 字は真如、年四十二歳、廣

東運縣人、日本留學生、國民革命軍第四軍團長、廣東民政廳長、廣東省政府主席に歴任。

陳儀 字は公俠、年五十一歳、浙江紹興人、日本陸軍士官學校砲兵科卒業現に軍政部政學次長兼兵工廠長

陳調元 字は雪暄、年四十八歳、河北安新人、北洋武備學堂卒業、前安徽省政府主席、第一路軍長。

陳樹人 年四十九歳、廣東人、日本京都美術學校、京都帝國大學卒業、廣東政府内務部總務廳長、國民黨第二期中央執行委員に歴任。

陳獨秀 字は仲甫、年五十四歳、安徽懷寧人、日本及び佛國留學、現に入獄中。

陳濟棠 字は伯南、年四十三歳、廣東防城人、廣東軍官學校卒業、現に國民黨第四次中央候補執行委員。第八路總指揮、西南實力派の巨頭。

陳衡哲 任鴻雋氏夫人、江蘇武進人

一一三

米國シカゴ大學卒業、現に國立北京大學史學科教授。

陳壁君 汪兆銘氏夫人、廣東人、國民黨第二期中央監察委員。

陶百川 現に上海市黨部執行委員。陶知行 安徽歙州縣人、現に中華圖書館協贊執行委員。

陶孟和 名は履恭、年四十六歲、河

北天津人、現に北京大學政治科教授。鹿鍾麟 字は瑞伯、年四十八歲、河北定縣人、京畿警衛總司令、國民革命軍第二集團軍第九方面總指揮兼第十八軍軍長、國民黨中央政治會議委員等に歴任、馮玉祥の懐刀云はれたもの。

▲十二畫

傅式説 浙江樂清人、日本東京帝國大學工學士、現に上海大夏大學會計主任兼數學教授、全國無線電管理局會計監理、中華學藝社執行委員會主

席

勞勉 字は少勉、年五十二歲、廣東南海人、日本明治大學卒業、現に山北鐵道管理局副局長。

屠孝實 字は正叔、江蘇武進人、日本早稻田大學卒業、現に國立武漢大學哲學教授。

稽鏡 字は滄生、年五十六歲、江蘇無錫人、日本早稻田大學卒業、前國民政府外交部國際司長。

會仲鳴 福建閩侯人、佛國ホルドウ大學卒業、リヨン大學文學博士、現に國民政府鐵道部次長。

湯中 字は愛理、年五十一歲、江蘇武進人、日本留學、教育部參事、教育部代理次長、交通部參事に歴任。

湯玉麟 字は開臣、年六十一歲、河北朝陽人、察哈爾都統、熱河都統、熱河保安司令熱河省政府主席に歴任。

湯爾和 年五十六歲、浙江杭州人、獨逸柏林大學醫學博士、教育次長、

教育總長、財政總長兼鹽務監督辦に歴任。

焦易堂 字は希孟、年五十四歲、陝西武功人、現に國民政府立法院立法委員兼法制委員會委員長。

程天放 年三十四歲、江西新建人、米國留學現に中央黨部宣傳委員會委員。

覃振 字は理鳴、年五十歲、湖南桃源人、日本早稻田大學卒業、衆議院議員、廣東省政府參事、國民政府委員に歴任。

賀國光 字は元清、年四十八歲、湖北蒲圻人、北平陸軍大學卒業、前訓練總監部步兵監、現に南昌行營秘書長。

賀耀祖 字は貴殿、年四十四歲、湖南寧鄉人、日本陸軍士官學校輜重兵科卒業、現に國民政府參謀本部次長。

鈕永建 字は惕生、年六十歲、江蘇松江人、日本及獨逸留學、現に考試

院副院長、立法院委員。

馮友蘭 字は芝生、年四十歲、河南唐河人、米國コロンビヤ大學哲學博士、現に國立精華大學文學院院長兼哲學科主任。

馮玉祥 字は煥章、年五十三歲、安徽巢縣人、西北軍總司令、國民革命軍第二集團總司令、國民黨第三期中央執行委員、行政院副院長、軍政部長編遣委員會遺置部主任に歴任。

馮自由 年五十歲、廣東南海人、日本早稻田大學卒業、廣東軍政府內務部司長、上海新々公司總理に歴任。

馮庸 字は天錫、年三十四歲、奉天人、馮庸大學校長で所謂馮庸大學義勇軍を率ひ奉露戰に参加したり抗日運動をしたりして支那教育界の名物男。

黃炎培 字は任之、年五十五歲、江蘇川沙人、日本留學生、現に上海申報館設計部長。

黃金榮 年は六十六歲、江蘇上海人、現に上海榮記地産公司經理、上海佛租界工部局顧問、上海大世界の經營主。

黃郛 字は魯白、年五十一歲、江蘇上海人、日本東京陸軍測量學校卒業、北伐軍兵站總監、江蘇都督府參謀長大總統府顧問、華府會議支那代表團顧問、外交總長、教育總長、上海特別市市長、國民政府外交部長に歴任現に導匯委員會副委員長、北平政務整理委員會委員長として北支收拾に活躍してゐる。

黃紹雄 字は季寬、廣西人、現に國民政府內政部長。

黃強 年四十六歲、廣東人、英佛留學生、現に十九路軍參謀長。

▲十三畫

楊虎 字は嘯天、安徽寧國人、上海警備司令たりしことあり、現に上

海保安處處長

楊虎城 現に討逆軍第十七路總指揮楊杰 字は耿光、年四十四歲、雲南大理人、日本陸軍士官學校步兵科卒業、現に長江要塞司令。

楊建平 廣東六埔人、現に廣東中央銀行副行長。

楊樹莊 字は幼京、年五十歲、福建閩侯人、海軍部長、福建省政府主席たりしことあり。

葉恭綽 字は譽虎、年五十三歲、廣東番禺人、京師大學卒業、前國民政府鐵道部長。

葉楚傖 年五十歲、江蘇吳縣人、上海民國日報總編輯、中央黨部宣傳部長を経て現に國民政府委員。

葛光庭 字は精岑、雲南蒙城人、日本陸軍士官學校砲兵科卒業、現に膠濟鐵路管理委員會委員長。

葛敬恩 字は湛侯、年四十四歲、浙江嘉興人、日本陸軍大學卒業、浙江

陸軍第一師參謀長、徐州總司令部參謀長、國民革命軍總司令部參謀處長、青島特別市市長に歴任

虞和德 字は治卿、年六十七歳、浙江鎮海人、上海和蘭銀行買辦、上海總商會會長、滬滬商埠會辦、上海公共租界支那人納稅者會主席、上海總商會執行委員を経て現に中央銀行監事

公共租界市參事會員、三北汽船公司總經理、上海證券物品交易所理事長

賈士毅 字は果伯、年四十七歳、江蘇宜興人、日本明治大學卒業、現に國民政府財政部賦稅司長、國立中央大學經濟學科教授、著作に民國財政史關稅と國權等あり

鄒魯 字は海濱、年五十一歳、廣東大埔人、廣東法政學堂卒業、衆議院議員、兩廣鹽運使、國立廣東大學校長國民政府委員に歴任、現に廣東中山大學校長

靳雲鵬 字は薦青、年五十五歳、山東濟寧人、北洋武備學堂卒業、現に國民政府軍事參議院參議

靳雲鵬 字は翼青、年五十七歳、山東濟寧人、北洋武備學堂卒業、山東都督、陸軍總長、國務總理に歴任、現在では國家主義青年黨に關係ありと言はる

▲十四畫

熊式輝 字は天翼、年四十歳、江西安義人、日本陸軍大學卒業、第一師師長、第十三軍長兼三十七師師長、陸軍第五師長、滬師滬警備司令に歴任、現に江西省政府主席

熊希齡 字は秉三、年六十八歳、湖南鳳凰人、財政總長、熱河都統、國務總理に歴任、現に國民政府賑務委員會委員

聞一多 年三十五歳、湖北蕪水人、米國シカゴ大學卒業、現に青島大學文學教授

趙戴文 字は次龍、年六十七歳、山西五台人、晋北鎮守使、察哈爾都統國民政府內政部長、國民黨第三期中央執行委員、中央政治會議委員、國民政府委員兼監察院院長に歴任

趙觀濤 現陸軍第八軍軍長

▲十五畫

劉大白 年五十三歳、浙江紹興人、國民政府教育部常任次長、同政務次長たりしこあり

劉大鈞 字は季陶、年四十四歳、江蘇鎮江人、米國留學、國民政府工商部工商訪問局長、立法院統計局長を経て、現に主計處主計官兼統計局長中國評論編輯

劉文島 字は塵蘇、年四十歳、湖北廣濟人、日本帝國大學法學士、佛國巴里大學法學士、漢口市市長、湖北省政府民政廳長、駐獨公使を経て、現に駐伊公使

劉文輝 字は自乾、年三十九歳、四川大邑人、保定軍官學校卒業、前四川省政府主席兼民政廳長

劍光 字は君實、江蘇江都人、現に國民政府參謀本部第一廳長

劉和鼎 現に陸軍第五十六師師長

劉峙 字は經扶、年四十二歳、江西吉安人、保定軍官學校卒業、現に國民黨第四次中央執行委員、國民政府委員、第二軍團總指揮、河南省政府主席

劉紀文 年四十三歳、廣東東莞人、日本及び英國留學、國民革命軍總司令部經理處長、南京特別市市長、江蘇關監督に歴任

劉建緒 現に陸軍第二十八軍軍長

劉復 字は半農、年四十四歳、江蘇江陰人、佛國巴里大學文學博士

劉湛恩 年三十七歳、湖北漢陽人、米國コロンビヤ大學哲學博士、現に上海滬江大學校長、上海職業指導所

主任

劉鴻生 年四十六歳、浙江定海人、上海セント・ジョン大學卒業、現に上海公共租界工部局市參事會員、大中華マツチ公司總經理

劉蘆隱 年四十二歳、江西永豐人、米國カリフォルニア大學卒業、現に國民黨第四次中央執行委員、中央黨部宣傳委員會委員、國民政府編譯處長

樊光 字は震初、浙江縉雲人、現に外交部參事

樊仲雲 「社會與教育」主幹

潘公展 年三十八歳、浙江吳興人、上海セント・ジョン大學卒業、現に上海市黨部執行委員、上海市政府社會局長

潘公弼 江蘇嘉定人、現に上海時事新報館經理

潘光旦 江蘇寶山人、米國コロンビヤ大學卒業、上海時事新報館編輯、

光華大學文學院院長、國立暨南大學講師を経て現に上海新月書店經理、週報「華年」主幹、著作多し

蔡元培 字は子民、年六十六歳、浙江紹興人、米國紐育大學法學博士、佛國リオン大學文學博士、教育總長大學院院長、國立北京大學校長、現に國民黨第四次中央監察委員、中央政治會議委員、國民政府委員、國立中央研究院院長

蔡廷楷 現に第十九路軍軍長、福建綏靖公署代理主任

蔣中正 字は介石、年四十七歳、浙江奉化人、日本東京振武學堂、廣東黃埔軍官學校校長、國民革命軍總監國民革命軍總司令、第一集團軍總司令、中央黨部組織部長、中央政治會議主席、國民政府主席、陸海空軍總司令に歴任、現に軍事委員會委員長中央軍官學校校長、剿匪總司令

蔣方震 字は百里、年五十三歳、浙

江海寧人、日本陸軍士官學校步兵科卒業、保定軍官學校校長、大總統府參謀、將軍府將軍に歴任

蔣光鼐 現に第十九路軍總指揮、福建省政府主席

蔣作賓 字は雨岩、年五十四歳、湖北應城人、日本陸軍士官學校步兵科卒業、陸軍次長、參謀次長、國民政府委員、駐獨公使に歴任、現に駐日公使

蔣夢麟 年五十歳、浙江餘姚人、米國コロンビア大學哲學博士、國民政府教育部長、浙江大學校長に歴任、現に國立北京大學校長

鄧澤如 廣東人、現に國民黨第四次中央監察委員、西南政務委員會委員

鄭貞文 字は心南、年四十三歳、福建長樂人、日本東京帝國大學理學士、上海商務印書館編譯所化學編輯を経て現に福建省政府委員

鄭洪年 字は韶覺、年五十九歳、現

に實業部政務次長、國立暨南大學校長

鄭伯奇 現に夏友圖書公司編輯

鄭振鐸 年三十六歳、福建長樂人、現に上海商務印書館小説月報編輯主任、著作に中國文學史あり

鄭毓秀 女史、年三十九歳、廣東寶安人、佛國巴里大學法學博士、現に上海法政學院院長

▲十六畫

錢大鈞 字は慕伊、年四十一歳、江蘇吳縣人、日本陸軍士官學校卒業、武漢北區塞司令、第十三軍軍長を経て現北平軍事分會委員

錢方同 字は疑古、年四十七歳、浙江吳興人、日本早稻田大學卒業、現に國立清華大學支那文學科講師

閻錫山 字は百川、年五十一歳、山西五台人、山西省政府主席、第三集團軍總司令、國民政府委員、平津衛

成總司令に歴任、現に國民黨第四次中央執行委員

▲十七畫

蕭之楚 現に陸軍第四十四師長

蕭佛成 字は鐵橋、年七十一歳、福建人、現に國民黨第四次中央監察委員、西南政務委員會委員

薛篤弼 字は子真、年四十一歳、山西解縣人、山西法政學堂卒業、內務次長、司法次長、甘肅省長、國民政府衛生部長に歴任

薩鎮冰 字は鼎銘、年七十五歳、福建閩侯人、英國グリニチ海軍大學卒業、北洋海軍統領、廣東水師提督、海軍統制吳淞商船學校校長、海陸軍大元帥統率辦事處辦事員、海軍總長兼國務總理代理、福建省長に歴任

謝六逸 貴州人、日本早稻田大學文學士、現に吳淞中國公學文理科學長兼文學科主任、復旦大學新聞學科主

任兼教授

謝持 字は慧生、年五十八歳、四川富順人、現に國民政府委員

韓復榘 字は向方、河北藁縣人、國民革命軍第二集團軍第三方面總指揮兼第六軍軍長、國民政府軍事委員會委員、河北省政府委員、河南省政府主席、陸軍第二十師師長、討逆軍第一軍團總指揮に歴任、現に國民政府委員、山東省政府主席、魯豫濟鄆督辦

韓湘政 女史、年三十二歳山東人、米國シカゴ大學卒業、現に國立中央大學文學院外國語文科副教授

▲十八畫

戴民權 現に陸軍第四十五師長

戴戟 第十九路軍第六十一師師長

戴傳賢 字は季陶、年四十四歳、浙

江吳興人、日本早稻田大學卒業、上海民權報及民立報主筆、廣東大元帥府秘書長、國民革命軍總司令部政治訓練部主任、國民黨中央黨部宣傳部長、廣東中山大學校長に歴任、現に國民黨第四次中央執行委員、中央政治會議委員、國民政府委員兼考試院院長著作に日本論、青年之路あり

顏惠慶 字は駿人、年五十七歳、江蘇上海人、米國パーシニヤ大學卒業、商務印書館編輯、外交次長、獨逸、デンマーク、駐在公使、外交總長、國務總理、財政整理委員會會長、農商總長、內務總長、關稅特別會議委員會委員、中國紅十字會會長に歴任、現に國際聯盟支那代表、駐露大使

▲十九畫

羅介夫 年五十一歳、湖南瀏陽人、日本法政大學卒業、現に國民政府監

察院監察委員

羅文幹 字は鈞任、年四十五歳、廣東番禺人、英國牛津大學卒業、司法次長、司法總長、大理院院長、財政總長、外交總長、東北邊防軍司令官公署參議、國民政府外交部長に歴任、現に新疆巡按使として新疆視察中

羅隆基 字は努生、江西安福人、米國大學コロンビア哲學博士、英國倫敦大學卒業、吳淞中國公學政治經濟科主任、暨南大學政治經濟科講師

譚平山 年四十六歳、廣東高明人、國民黨第二期中央執行委員、武漢政府農林部長、共產黨に加はり、共產黨より又追はる

關炯 字は炯之、湖北漢陽人、現に江蘇印花煙酒稅局局長

▲二十畫

蘇梅 女史、字は雪林、筆名綠漪

安徽太平人、佛國リヨン大學卒業、
現に安徽大學教授、女流作家

南人、日本留學生、排日屋

(民國二十二年九月調査)

▲二十一畫

顧孟餘 名は兆熊、年四十六歲、河
北人、獨逸伯林大學卒業、國民黨第
二期中央執行委員、中央政治會議委
員、國民政府教育部長に歷任、現に鐵
道部長

顧祝同 字は墨三、江蘇連水人、江
蘇省政府主席を最近辭して六省北路
剿匪總司令なる

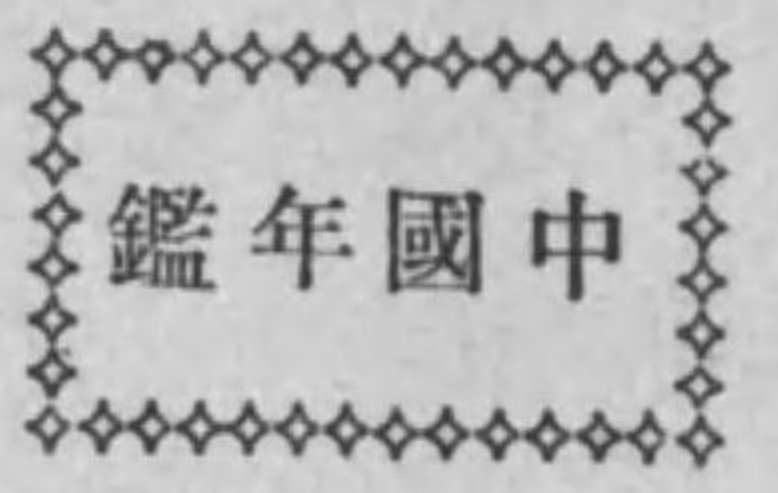
顧維鈞 字は少川、年四十七歲、江
蘇嘉定人、米國コロンビヤ大學哲學
博士、巴里平和會議支那代表、華府
會議支那代表、駐英公使、外交總長
財政總長、國務總理、聯盟調查團支
那參與員に歷任し現に駐佛公使

▲二十二畫

龔德柏 字は次筑、年四十三歲、湖

昭和八年十一月卅日印刷
昭和八年十二月十日發行

「中國年鑑」
定價銀一弗五十仙



(付 奧)

編輯者兼 波多收

印刷所 上海海寧路三〇〇號 蘆澤印刷所

印刷者 上海海寧路三〇〇號 蘆澤民治

發行所 上海白保羅路三、四號 上海日報社調查編纂部

上海郵政私書函三〇一六
電話編輯局四、六五〇八
營業局四、六五〇九
振替福岡五七三四

營業 一般輸出入業
 準頭倉庫業
 保險代理業



大倉商事株式會社

本店 東京市京橋區銀座二丁目

上海出張所 上海九江路一號

電話一、〇八〇六番

不益昌碼頭 浦東

電話一六四四六番

支店 日本 大阪、名古屋、橫濱、神戸、
 橫須賀、吳、舞鶴、門司、佐
 世保、京城、台北
 大連、奉天、新北京、哈爾濱、
 青島、天津、北京、上海、漢
 口、倫敦、巴里、柏林、紐育
 出張所 海外 斯士尼

營業種目

電線、電纜、電池、銅板、
 銅條、銅棒、アルミ線、
 アルミ板、真鍮線、真鍮板、
 真鍮條、ベイント、機械類



古河公司

上海仁記路三二號

電話一、三三三〇番

本店 東京
 資本金 貳千萬圓

營業課目

棉花、綿糸
綿製品、米穀

上海漢口路八號(日信洋行)

日本綿花株式會社

本店 大阪市北區中之島二丁目十番地

電話	
支店長	一八二二八
綿花係	一〇八七一
綿絲係	一七六一八
綿布係	一四八五一
會計係	一五七五五
船舶係	一四六七二
受渡並 夜間	一八二二七
支那人用	一四九一五

China Offset Printing Co., Ltd.

特許BB寫真整版
高級色彩印刷

精版印刷株式會社

上海出張所

華名 中國橡皮版印版公司

上海齊々哈爾路九二〇號

電話	
五五五	五〇〇
五〇〇	五五五
五五五	五八〇
五八〇	五八〇

不動產有價證券
一般金融業

泰和銀公司

上海九江路三號
電話一〇三六一

營業課目

耐火煉瓦、耐火粘土、屋根瓦、衛生陶器
タイル、硬質土管、石粉類

仁記路三十五號

山東窯業株式會社

上海出張所
電話一二七九二

營業種目

賣藥醫藥工業
藥品雜貨織機
輸出入業

東亞公司

上海河南路三三九號

電話一九一七三四

山下鑛業株式會社

四川路五五六號
電話二一三六八七番

隆華洋行

金銅鹿藏
九江路五號
電話事務所 一四〇七九
試驗所 五一九三九

建築請負並二
材料販賣業

淡海洋行

上海靜安寺路八〇號
電話事務所 一三三二二
工場 五〇七五七

瑞寶洋行

上海油脂工業株式會社
事務所 河間路八號
工場 昆明路一一八號

輸出入業

永和洋行

廣東路九號
電話 一一二七七五



株式會社
大同洋紙店

(華名) 大同公司

本店 大阪市東區安土町二丁目三七番地
支店 東京、京都、名古屋、熊本
出張所 大連、天津、青島、香港、門司、台北、新京

總代理 大工業株式會社 一手販賣店
鴨綠江製紙株式會社
大日本人造肥料株式會社
富士製紙株式會社
川村喜十郎商店 特約販賣店

營業種目 紙類及パルプ
工業藥品 印刷インキ

上海英租界江西路一〇五號

土木建築請負
運輸業

華成營造廠

山口九州男

事務所

上海閩行路角田ビル内

電話 四、〇七七二
住宅

上海麥加利克路光裕里七七

建築設計
土木監督



河野建築創作所

上海閩行路廿五號角田ビル地階B號室

電話 四〇四六五

河野健六

一般貨物通關運送取扱
日本各地滿鮮支那奧地連絡
運送市内運搬荷造支那解請負

樋口通關所

奧川馬之輔

上海百老匯路百綠坊A卅七號

電話 四、〇二六三
四、三三七四

迅速確實に取扱ますから
精々御用命を願上ます

營業課目
電氣材料
通關業



須藤洋行

上海文路七七號

電話 四二二八六五
四二二八六九

各種塗料顏料製造販賣

上海文路十三號



滿洲ペイント株式會社上海支店

華名 瑞祥洋行

電話四一八一三

本社 大連市裕野町五十三番地

各種印刷用インキ、ワニス
印刷用諸材料、金銀粉洋紙

上海文路十五號

諸星油墨公司

電話四一五五九

酒、ビール、醬油
其ノ他罐詰類

卸賣商

上海蓬路K二二六九號



源泰洋行

電話四、〇五一〇六

工業藥品
化學藥品
其ノ他一般輸出入業

本店 漢口日本租界成忠街



株式會社漢口銀行
支店文路七十四、六號
上海支店

漢口居留民團金庫

諸預金、諸貸付金

送金、代金取立

日本全國、漢口、北平、天津、青島、大連及滿洲各地

營業時間 午前九時ヨリ午後四時迄 土曜正午迄

預金送金 〇九七三番
貸付係 四四九〇番
支配人席 四三二八番
北四川路 四六一二番
出張所 四六一二番
專屬倉庫 四三二八番
共益積立 四五九〇番

土木、建築、設計、監督

岡野建築事務所

岡野重久

上海狄思威路四六五號
電話四六二七七番

營業種目

土地家屋賣買

貸貸借及金融

仲立業

日本エレベーター製造

株式會社上海代理店

上海興業株式會社

上海文路角田第二ビル内
電話四一九五一番



當社の製品

サクラビール
 特製サクラビール
 サクラ黒ビール
 瓶詰サクラ生ビール
 サクラスタウト

櫻井 麥酒 株式會社
 岩 井 洋 行
 釀造 輸入

上海漢口路九號A

營業課目

標準式華文打字機	高速度自動鑄造機
華英文兩用打字機	華文自動鑄造機
華文作表打字機	橡皮版印刷機
證券用華文打字機	活版用高級銅模
各種英文打字機	鋅版銅版高級活字
高級事務用品	製版化學藥品

日本タイプライター株式會社

上海支店

華名大普公司

上海北四川路阿瑞里二十四號
 電話四五九九七番

寫真銅版、亞鉛凸版
 優美迅速製作

上海美術工藝製版社

上海吳淞路大興里九〇〇號

電話四、一一七二番

專門製作
 紡績機械附屬品
 高級齒車類
 傳動裝置
 七ミスチール鑄造

株式會社
 公興鐵廠

上海韜朋路七一〇號

電話一五五〇四四二二六八番

アサヒビール



サツポロビール



釀造元
 大日本麥酒株式會社
 代理店
 三井物產株式會社



南滿洲鐵道株式會社

上海事務所

上海黃浦灘正金銀行三樓

本社大連

終